

2 0 0 3

授業概要

【シラバス】

教養科

白梅学園短期大学

SHIRAPUIME GAKUEN COLLEGE

目次（教養科）

●現代保育教養コース教養教育科目（1年）	1
ヒューマニズム論	3
総合科目・人間	4
総合科目・生命	5
現代とヒューマニズムⅠ（近代国家と戦争）	6
現代とヒューマニズムⅡ（消費社会と欲望）	7
現代とヒューマニズムⅢ（科学技術と生命）	8
人物研究Ⅰ〔和泉式部〕	9
人物研究Ⅱ〔柳田国男〕	10
人物研究Ⅲ〔有島武郎〕	11
心理学入門Ⅰ〔心のしくみ〕	12
心理学入門Ⅱ〔性格と人間関係〕	13
体の不思議	14
生物の世界と人間	15
人間と環境	16
生と死を考える	17
人間の生と性	18
生活と健康	19
教養体育（実技）	20～21
教養体育（講義）	22
外国語Ⅰ	23～27
外国語Ⅱ	28～32
海外語学研修	33
選択外国語 英会話（基礎）	34
選択外国語 ビジネス英語	35
選択外国語 時事英語	36
選択外国語 異文化コミュニケーション	37
言語とコミュニケーション	38
手話入門	39
文学芸術・フィクションと人間	40
造形美術とイメージーション	41
話し言葉の伝承	42
絵本・絵巻と物語表現	43
源氏物語の世界	44
近現代の日本文学	45
庶民の生活文化	46
現代の文化と風俗	47
現代英米の文学	48
世界の児童文学	49
比較文化論・近代文明と日本人	50
国境を越える民俗学	51
現代社会と人権	52
憲法と私たち（日本国憲法）	53
日本とアジアの近現代史	54
現代社会と教育	55
社会福祉の考え方	56

男と女・ジェンダーを考える	57
現代世界とマイノリティー	58
女性労働の問題	59
地域生活と家族	60
●現代保育教養コース専門科目（1年）	61
基礎ゼミナール	63
日本語の表現	64
情報科学（情報処理入門）	65
ゼミナールⅠ	追加1
保育内容・指導法演習	66
現場で学ぶ幼児教育	67
●現代教養コース専門科目（1年）	69
ゼミナールⅠ	差替1、72
現場で見る文芸	73
歴史・民俗遺跡を歩く	74
博物館の現場（博物館実習）	75
日本語の表現	76
ヒューマニズム論	77
総合科目・人間	78
総合科目・生命	79
現代とヒューマニズムⅠ（近代国家と戦争）	80
現代とヒューマニズムⅡ（消費社会と欲望）	81
現代とヒューマニズムⅢ（科学技術と生命）	82
人物研究Ⅰ〔和泉式部〕	83
人物研究Ⅱ〔柳田国男〕	84
人物研究Ⅲ〔有島武郎〕	85
情報科学（情報処理入門）	86
コンピュータ基礎演習	87
言語とコミュニケーション	88
外国語Ⅰ	89～92
外国語Ⅱ	93～96
海外語学研修	97
選択外国語 英会話（基礎）	98
選択外国語 ビジネス英語	99
選択外国語 時事英語	100
選択外国語 異文化コミュニケーション	101
造形美術とイマジネーション	102
手話入門	103
文学芸術・フィクションと人間	104
話し言葉の伝承	105
絵本・絵巻と物語表現	106
源氏物語の世界	107
比較文化論・近代文明と日本人	108
近現代の日本文学	109

現代英米の文学	110
世界の児童文学	111
考古学の世界	112
国境を越える民俗学	113
日本とアジアの近現代史	114
近代女性史	115
社会福祉の考え方	116
家族福祉論	117
地域生活と家族	118
男と女・ジェンダーを考える	119
女性労働の問題	120
現代社会と人権	121
憲法と私たち（日本国憲法）	122
現代世界とマイノリティー	123
現代の企業	124
時事・社会特講	125
家庭介護総論	126
家庭介護演習	127
家庭介護実習	128
発達心理学Ⅰ	129
教育学概論	130
庶民の生活文化	131
現代の文化と風俗	132
現代社会と教育	133
博物館を学ぶ	134
心理学入門Ⅰ [心のしくみ]	135
心理学入門Ⅱ [性格と人間関係]	136
体の不思議	137
生物の世界と人間	138
人間と環境	139
生活と健康	140
生と死を考える	141
人間の生と性	142
労働・健康特講	143
教養体育（実技）	144～145
教養体育（講義）	146
●現代保育教養コース教養教育科目（2年）	147
海外語学研修	149
選択外国語 英会話（応用）	150
選択外国語 フランス語会話	151
選択外国語 ドイツ語会話	152
選択外国語 英文購読	153

●現代保育教養コース専門科目（2年）	155
メディア社会と子ども	157
子どもの育ちと文化	158
子育て支援論	159～160
子どもと人権	161
多文化社会と子ども	162
児童文学の世界	163
女性労働と子育て	164
うた・おとの世界	165
幼児の身体表現	166
運動遊びの指導	167
伝承遊び入門	168
幼児の絵画指導	169
遊びの造形	170
児童文化演習	171
児童文学演習	172
ゼミナールII	追加2～追加4
保育内容・指導法演習	173
●現代教養コース専門科目（2年）	175
ゼミナールII	177～179
卒業研究	180
博物館の現場（博物館実習）	181
ビジネスの現場	182
ヒューマニズム論	183
総合科目・人間	184
総合科目・生命	185
現代とヒューマニズムⅠ（近代国家と戦争）	186
現代とヒューマニズムⅡ（消費社会と欲望）	187
現代とヒューマニズムⅢ（科学技術と生命）	188
人物研究Ⅰ〔和泉式部〕	189
人物研究Ⅱ〔柳田国男〕	190
人物研究Ⅲ〔有島武郎〕	191
情報ネットワーク論	192
視聴覚教育メディア論	193
言語とコミュニケーション	194
海外語学研修	195
応用英語Ⅰ	196
応用英語Ⅱ	197
選択外国語 英会話（応用）	198
選択外国語 フランス語会話	199
選択外国語 ドイツ語会話	200
選択外国語 英文購読	201
選択外国語 ビジネス英語	202
選択外国語 時事英語	203
選択外国語 異文化コミュニケーション	204

造形美術とイマジネーション	205
手話入門	206
文学芸術・フィクションと人間	207
話し言葉の伝承	208
絵本・絵巻と物語表現	209
源氏物語の世界	210
児童文学の世界	211
比較文化論・近代文明と日本人	212
近現代の日本文学	213
現代英米の文学	214
世界の児童文学	215
国境を越える民俗学	216
日本とアジアの近現代史	217
社会福祉の考え方	218
地域生活と家族	219
男と女・ジェンダーを考える	220
女性労働の問題	221
現代社会と人権	222
憲法と私たち（日本国憲法）	223
現代世界とマイノリティー	224
ビジネス実務を知る	225
家庭介護総論	226
家庭介護演習	227
家庭介護実習	228
子どもの育ちと文化	229
子育て支援論	230～231
多文化社会と子ども	232
生涯学習概論	233
庶民の生活文化	234
現代の文化と風俗	235
現代社会と教育	236
心理学入門Ⅰ [心のしくみ]	237
心理学入門Ⅱ [性格と人間関係]	238
体の不思議	239
生物の世界と人間	240
人間と環境	241
生活と健康	242
生と死を考える	243
人間の生と性	244

現代保育教養コース
教養教育科目（1年）

【授業科目】 ヒューマニズム論	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p style="text-align: center;">「ヒューマニズムは間違っている！」と言う人は多くはないが、 では、なぜ「ヒューマニズム」は「正しい」のか。</p> <p>「人間を大切にするのはアタリマエだ」では、「自分の思想」にも「学問」にもならない。そういう発想は、「世間的通念」に流されているだけなのではないか。「人間中心主義」こそが地球を危機に陥れた、とさえ言われている現在、「ヒューマニズム」は、本当に我々の「支え」になりうるのか。つまり、「現代におけるヒューマニズム」は、可能なのか。</p> <p>「ヒューマニズムの精神」は、白梅学園「建学の理念」ともされているが、その「理念」自体も、自由な学問的立場で検証されなければならない。</p> <p>本講では、上記のような問題意識のもと、「近代以後の人間のあり方」を考えることを出発点として、現在、<u>何によって人間が圧迫されているか</u>、<u>何に抗って「人間を大切にする」のか</u>、というアクティブな問題に迫っていきたいと思っている。大学生になった諸君が、知的に、根源的に「自分自身と世界」を考えるための、一つのキッカケになれば、と願っている。</p>	
【テキスト】 用いない。必要に応じてプリントを配布する。	
----- 【参考書】 必要に応じ、講義中に紹介する。	
授 業 計 画	
<p>おおむね、以下のような順序で講義する予定だが、諸君の興味・問題意識・理解度によって、途中で変更することもありうる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「根源的（ラディカル）に考える」態度について <ol style="list-style-type: none"> ① 「根源的に問う」こと ② 「自己」と「世界」 ③ 何が「人間」を価値づけるか——「神のある世界」と「神の無い世界」 2 我々の状況——近代における「人間」の問題 <ol style="list-style-type: none"> ① 近代と前近代——「人間」の問題として ② 「神・超越性」と近代人 ③ 近代的「人間」観と、その問題点 ④ 「近代ヒューマニズム思想」について ⑤ 何に抗って「人間を大切に」するのか 3 現代の状況と人間 <ol style="list-style-type: none"> ① 「国家」と人間 ② 「資本」と人間 <p>ノートをしっかり取りながら聞いていれば、（予備知識が全く無くても）分かるはずである。大学での講義ノート・メモの取り方には慣れていないと思われるので、最初はメモの要点も指示しながら進める。大切なことは「知識」や「結論」ではない。疑問を持つこと、考えること。諸君の中に「問題意識」を喚起することを最大の目標にしたい。</p>	
【評価方法】 学期末に、ノート（そのほか何でも）持ち込み可の、記述式テストを行う。それと、出席点を加味して評価する。ノートをしっかり取っていることが大切だ。	

【授業科目】総合科目・人間「言語活動と人間」	【担当者】東・中島・佐々
【開講期】一年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>東：人間とことば。</p> <p>中島：文学作品を通して、言語が人と人との関係をどのように作り出しているかを見る。</p> <p>佐々：生活の中で生きていく言語を扱い、その方向を探れるようにする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>東・中島：プリントを使用　佐々：使用しない。適宜プリントを配布する</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】東・中島：授業中に紹介する</p> <p>佐々：筆者の著書『コミュニケーション能力弱者のQOL援助』ほか</p>	
授　業　計　画	
<p>東→中島→佐々　の順で授業する。</p> <p>東：次の順で講義する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 人類の起源と言葉の創造 (2) ことばの役割 (3) ことばの功罪 (4) 「場」の民主性と言語表現 <p>中島：次の順で講義する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 『ジョイ・ラック・クラブ』に見る、世代間の言語と言語間の強弱 (2) 欲望と権力：『ソフィーの選択』（アウシュヴィッツ） (3) 沈黙と歴史：『ピラヴド』（アメリカ黒人奴隷制） (4) まとめとして：作家の言語（『月と六ペンス』） <p>佐々：計画</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) ことばの正体を探る (2) 見えないことばを読む (3) ことばを育てる筋道を考える (4) ことばを育むプログラムの検討 	
<p>【評価方法】東：ペーパーテスト（60分）実施（参照可）。</p> <p>中島：出席点とレポート</p> <p>佐々：平常点の重視、レポートによる評価</p>	

【授業科目】総合科目 生命	【担当者】柳下登・近藤正樹・明渡陽子
【開講期】後期	
<p>【授業目標】半年間に3人の教員が担当するオムニバス形式の総合科目である。20世紀後半に発展した分子生物学は、従来の生物学・農学・医学を包括した形で生命現象を分子レベルで理解する生命科学を成立させた。この生命科学に、物理・化学的アプローチが加わることで、21世紀に入り、「生命」の概念が大きく変貌しつつある。30数億年前に生まれた生命、その由来から高度科学技術文明が作り出した生命操作に至るまで、地球上に生存してきた「生命」に対する理解を通して、地球に生きる多様な生命の中の一つにすぎない人類の位置づけを考察する。さらに農学・生物学・医学を background にもつ3人がそれぞれの視点で、21世紀の生命科学の課題を学生諸君と共に考えたい。</p>	
<p>【テキスト】 柳下登：プリントを使用 近藤正樹 明渡陽子：プリントを使用</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【参考書】 柳下登：どこまで描ける生物進化 宇佐美正一郎（新日本出版社）生命の塵 植田充美訳（翔泳社）自然の恩恵をひきだすために 柳下登（たたら書房）遺伝子組み換え作物に未来はあるか 柳下登（本の泉社） 近藤正樹 明渡陽子：生命とは何か（岩波新書）</p>	
授 業 計 画	
<p>以下のスケジュールに沿って行う予定。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生命とはなにか：明渡陽子 2. 生命の由来（物質の由来・太陽系・地球・生命体）：柳下登 3. 地球生物と進化：柳下登 4. 地球生物と環境：近藤正樹 5. 地球生物と種の保存（自己保存・自己増殖・自動制御）：近藤正樹 6. 生命科学の誕生と生命：明渡陽子 7. 21世紀の課題：生命はどこへゆくのか。（それぞれの専門分野から） 柳下登 近藤正樹 明渡陽子 	
<p>【評価方法】 柳下登：出席状況と筆記テスト 近藤正樹 明渡陽子：出席状況と筆記テスト</p>	

【授業科目】 現代とヒューマニズムⅠ

【担当者】 平賀明彦

【開講期】 1年前期

【授業目標】

戦争と平和の問題を通じてヒューマニズムについて考える。平和という言葉の定義も含め、平和であるということはどのような状態を言うのか、また、そうなるためにはどういった取り組みが必要であるかを検討する。

【テキスト】

とくに定めない。

【参考書】

多数あるのでその都度紹介する。

授 業 計 画

平和の定義と意味を考える上で、まずは、平和的でない状態、平和の対局にあると考えられる戦争の問題を通して検討してみたい。その際、一昨年9月11日の同時多発テロ以降の動きを素材に、何故あのような事態が起こったのか、その解決に向けての方法は適切であったのかを検討してみることは重要なてがかりとなるだろう。また、現在緊張が高まっているイラクや朝鮮民主主義人民共和国情勢（2003年1月時点）についても、そのような事態に立ち至った原因と今後の行方について検証することも有効だろう。

そうした時、現代の戦争や地域紛争の発生原因として民族や宗教の問題、あるいは「文明の対立」といった形で説明されることがあるが、果たしてそのようなとらえ方は妥当であろうか。近代における国民国家の成立やナショナリズム形成の問題としてとらえる視点は有効ではないだろうか。これらを具体的に検討してみたい。

戦争のない状態＝平和とは言えず、それ以外にも平和的でない状態を生み出す諸要因がある点も見逃してはならないだろう。

戦争を回避し、平和を求める取り組みはこれまでも蓄積され、また今現在も続けられている。近代の平和思想の歴史をふりかえりながら、その足跡を辿り、有効性を検証することも試みたい。

以下のような柱立てを考えている。

- ◇同時多発テロは何故起きたか－歴史的経過を探る意味
- ◇報復戦争の意味するもの－テロへの対応は「戦争」か
- ◇「悪の枢軸」というレッテルが意味するもの－アメリカの世界戦略
- ◇現代の戦争、地域紛争とその原因－民族、宗教、「文明の対立」を検討する
- ◇国民国家形成とナショナリズム－フランス、イギリス、ドイツ、そして後発国日本の場合
- ◇近代の平和思想の歴史－『永遠平和のために』、パリ不戦条約の系譜
- ◇不戦への挑戦、その可能性は－日本国憲法、コスタリカの挑戦、国連改革、国家を超える
- ◇構造的暴力の問題－貧困、飢餓、差別、人権侵害を生み出す社会構造
- ◇平和への課題－人権・福祉そして平和

【評価方法】

学期末にレポートを課す。授業中に適宜小レポートの提出を求めることがある。

<p>【授業科目】現代とヒューマニズムⅡ (消費社会と欲望)</p>	<p>【担当者】 大岡 聡</p>
<p>【開講期】1年前期</p>	
<p>【授業目標】 「最新のファッションに身を包むととても気分がいい!」「人が持っていないバッグをもっているとなんだか鼻が高いなあ」「ちょっと食べ過ぎちゃった、ダイエットしなきゃ」「バーゲンで洋服買い過ぎちゃったので、お昼はマクドの59円バーガーで我慢しよう」…これらは「豊かな」日本社会に暮らす私たちの日常の一幕。でも「何だか変だ」と思うことはないですか? 「豊かな」モノとひきかえに何か失っていませんか? モノに振り回されていませんか? 「豊かな」私たちの一方で、飢えた人もいるのはなぜ? 「地球にやさしい」暮らし方ってなんだろう? この講義を通じて消費社会といわれる現代の、私たちのくらしと社会を反省的に考察してみましょう。</p>	
<p>【テキスト】 テキストは用いません。毎回プリントを配ります。</p>	
<p>【参考書】 とりあえず、辻信一『スロー・イズ・ビューティフル』(平凡社)、大平健『豊かさの精神病理』(岩波書店)、エリック・シュローサー『ファーストフードが世界を食い尽くす』(草思社)、島村志津『スローフードな人生』(新潮社)は入門書としてオススメです。手にとって気に入ったものを1冊以上読んでみてください。 もっと深く勉強したいひとは、上野千鶴子『<私>探しゲーム』(筑摩書房)、見田宗介『現代社会の理論』(岩波新書)、ナオミ・クライン『ブランドなんか、いらない』(はまの出版)、ジュリエット・B・ショア『浪費するアメリカ人—なぜ要らないものまで欲しがるか』(岩波書店)、スーザン・ジョージ『なぜ世界の半分が飢えるのか』(朝日新聞社)、山本武利・西沢保編『百貨店の文化史』(世界思想社)をお薦めしておきます。</p>	
<p style="text-align: center;">授 業 計 画</p>	
<p>講義では、まず日本における消費社会の形成過程(消費社会化の歴史)をたどるなかで、現代消費社会を相対化する歴史的視点と、消費社会を考察する基本的視点の獲得を目指します。それに続き現代消費社会の問題点を考察し、あるべき消費社会とかしい消費者像を展望します。 構成は以下の通り。</p> <p>オリエンテーション・イントロダクション (1)リサイクル社会としての江戸 (2)身分制の解体と文明開化 (3)百貨店の誕生①—小売業の革新 (4)百貨店の誕生②—消費社会の演出者 (5)近代家族と文化生活—消費の主体 (6)生存から生活へ (7)美と健康—消費と身体 (8)戦争と生活 (9)高度成長と大衆消費社会の確立 (10)現代消費社会と人間—さまざまな問題点 (11)消費社会と世界—なぜ世界の半分は飢えるのか? (12)かしい消費者になろう!—消費社会の彼方へ</p> <p>プリントのほかビデオモニターなども使用します。 毎回コメントカードに、講義の感想や自分の意見を書いてを提出してください。その一部は次の講義で紹介することがあります。</p>	
<p>【評価方法】 毎回コメントカードを提出してください(出欠を兼ねます)。 学期末にレポートを提出してもらいます。出欠状況とレポートの成績により総合的に評価します。</p>	

【授業科目】 現代とヒューマニズム III (科学技術と生命)	【担当者】 柳下登・明渡陽子
【開講期】 前期	
【授業目標】 高度科学技術文明といわれる現代文明の基盤となっている科学技術は、人間の自然を理解する「科学」という営みから生まれ、その成果を日常の経験世界から広大な宇宙・微細な物質の世界にまで応用しつつ進歩をとげ、それらから人類は多くの恩恵を受けた。しかし同時に、それは地球規模でより多大な問題を引き起こしてきた。この授業では、物理学、生物学、医学などの近代科学と技術が相互に影響し合いながら創り上げた科学技術の過程を知ること、現代文明の一つの横顔の理解を計る。さらに、クローン人間という言葉に代表されるように、人間生命が科学技術の対象となる「生命の技術化」を可能にした現代文明の問題点を探る。	
【テキスト】 柳下登 : プリントを使用 明渡陽子 : プリントを使用	
【参考書】 柳下登 : 新編自然科学入門 甲斐義幸 (学術図書) 科学の考え方・学び方 池内了 (岩波書店) 世界のたね E. ニュート (NHK 出版) 未来のたね 左に同じ 遺伝子組み換えに未来はあるか 柳下登ら (本の泉社) 明渡陽子 : 上記の参考書類の中のどれか。	
授 業 計 画	
以下のテーマに沿って行う予定。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 私達が生きている高度科学技術文明とはいかなる文明か 2. 科学技術はどのように生まれたか (発想・思考の原点) 3. 道具や方法はどのように科学技術の発展に寄与したか (発想・思考の作用ベクトル方向) 4. 近代科学 (天文学・力学などの物理学・数学・生物学・医学など) と科学技術の発展との相互作用 5. 近代科学の発展と先端技術—その光と影— 6. 人間生命と科学技術のゆくえ 	
【評価方法】 柳下登 : 出席状況と筆記テスト 明渡陽子 : 出席状況と筆記テスト	

【授業科目】	人物研究Ⅰ（和泉式部）	【担当者】	久保木 寿子
【開講期】	後期		
【授業目標】	<p>紫式部に「けしからぬ」所があると評された、和泉式部をとりあげる。 和泉は「あらざらむ此の世のほかの思ひ出に今ひとたびの逢ふこともがな」（百人一首）や「黒髪の乱れも知らずうち伏せば先ずかき遣りし人ぞ恋ひしき」などの歌で知られ、情熱の歌人とか恋多き歌人と言われる平安時代の女性であるが、その和歌の世界は、「恋」にのみ止まらないスケールを持っている。和歌という短詩が持つ可能性や彼女の創作方法について考えたい。またそのテーマと実人生との関わりを問題にしていく。 時代のモラルと苦闘しながらも、冷徹なまなざしで自己の思いを和歌に結晶させていった一人の女性芸術家の軌跡を追い、その現代的な意味を明らかにしていきたい。</p>		
【テキスト】	プリントを配布		
【参考書】	<p>山中裕 著 人物叢書『和泉式部』吉川弘文館 増田繁夫著 『冥き途一和泉式部伝一』世界文化社 清水好子著 王朝の歌人6『和泉式部 恋歌まんだら』集英社 久保木 著 日本の作家13『実存を見つめる 和泉式部』新典社 ほか</p>		
授 業 計 画			
<p>以下のようなことをテーマに、講義をしたいと思っています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 悪女の評判さまざま すでに彼女が生きていた頃から、その評判は宜しくはないが、平安以降はどうだったのか。様々な文献から、各時代の人々が思い描いた和泉式部の人物像を見ていく。 2, 実人生を辿る 少女期の環境 最初の結婚と破綻 冷泉皇子兄弟との恋愛と死別 後宮出仕 再婚 娘との死別 3, 実体験から和歌表現へ 4, 恋歌と死の歌のあわい 恋歌を超える眼差し 5, 実存のテーマと方法・ 和歌の時空 「自己客体視」の方法 連作の方法 6, 歌集と日記 7, 仏教的心性の問題 8, 和泉式部和歌の評価をめぐる問題 <p>* 古文が読めなくても、大丈夫です。</p>			
【評価方法】	出席と、毎回のメモを重視。それと定期試験時のレポートによる。		

【授業科目】人物研究Ⅱ・「柳田国男」	【担当者】東 喜 望
【開講期】1・2年後期	
【授業目標】柳田(旧姓・松岡)国男(明治8年—昭和37年)は、貧しい医師の子として兵庫県神崎郡福山町で生まれた。大学を卒業してのち彼は、それまで問題にもされなかった民衆の生活とその文化を調査・研究し日本民俗学の基礎礎を築いた。この授業では、柳田の生涯の行跡をたどりながら、激動の「近代」における彼の学問の成果と思想の意義を明らかにしていきたい。	
【テキスト】資料プリント集を配布する。スライド・ビデオ上映。	
【参考書】牧田茂『柳田国男』(中公新書)・中村哲『柳田国男の思想』(法政大学出版局)・谷川健一『柳田国男の民俗学』(岩波新書)・鹿野政直『近代日本の民間学』(岩波新書)	
授 業 計 画	
<p><u>講義の概要</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. <u>生いたち</u> <ul style="list-style-type: none"> ・「日本一小さい家」-----松岡家の一つの不幸。 ・利根川畔・布川徳満寺絵馬の衝撃。-----濟世救民の志 2. <u>就学と詩人松岡国男</u> <ul style="list-style-type: none"> ・伊良湖山岬への旅と島崎藤村「椰子の実」 3. <u>民俗学の夜明け</u> <ul style="list-style-type: none"> ・農政学から民俗学へ——『後狩詞記』・『遠野物語』 4. <u>官界から言論界へ</u> <ul style="list-style-type: none"> ・旅と学問——大正デモクラシーと民衆文化の発掘 5. <u>日本民俗学の石確立</u> <ul style="list-style-type: none"> ・『海上の道』——壮大なる仮説——日本民族の南方起源説 6. <u>まとめ</u>——柳田の学問と思想は「近代」を超えることができるか。 	
【評価方法】定期試験時の筆記試験による。(配布プリント集・ノート・参考書等参照可)	

<p>【授業科目】 人物研究Ⅲ（有島武郎）</p>	<p>【担当者】 栗田廣美</p>
<p>【開講期】 1年後期</p>	
<p>【授業目標】 「時代の中で、誠実に生きようとする」とは、どういうことか。 有島武郎（ありしまたけお、1878-1923）という人物は、「情熱の芸術家」でもあり、「革命的思想家」でもあるが、それ以前に、時代の現実を深く見詰め、「人間」を圧迫するものと闘い続けようとした「一人の人間」だ。</p> <p>資産家・大農場主の家に生まれながら、やがて、小作人に、無償で農場を解放した有島。 自殺未遂の果てにクリスチャンになりながら、やがて「信仰」と訣別した有島。 アメリカ留学中も「近代文明」の歪みを見詰め「新たな人間らしい文明」を求めつづけた有島。 ロシア革命を擁護しながら、同時に、革命政権の独裁制を厳しく批判し、闘おうとした有島。 日露戦争に反対し、朝鮮の植民地化に反対し、諸民族の自由と連帯を希求した有島。</p> <p>こうした闘いの中で孤立し、やがて、夫のある女性との激しい恋愛に命を燃やし、二人で共に自殺すること——「心中」に追い込まれていった有島。</p> <p>有島武郎の遺した日記や手紙、彼が生きた当時の札幌やアメリカ、ヨーロッパの資料、作品や評論を紹介しながら、「誠実に時代の歪みと闘い続けた人間」としての有島武郎を語りたい。</p> <p>我々は、有島の「自殺（心中）＝挫折（玉砕）」を、どうしたら乗り越えることが出来るか、いかにしたら、有島の遺志を継いで「人間を圧迫するもの」と闘うことが出来るか、という問題を考えていければ、と願っている。</p>	
<p>【テキスト】 用いない。必要に応じてプリントを配布する。</p>	
<p>【参考書】 高原二郎著『人と作品・有島武郎』清水書院 刊 栗田廣美著『死と飛躍・有島武郎の青春』右文（ゆうぶん）書院 刊 栗田廣美著『亡命・有島武郎のアメリカ』右文（ゆうぶん）書院 刊 ——本学図書館に何冊か置いてもらう予定。近所の公立図書館にも、どしどし「リクエスト」しよう！</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>おおむね、以下のような順序で講義する予定だが、諸君の興味・問題意識・理解度によって、途中で変更することもありうる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生い立ちと、札幌での青春 <ol style="list-style-type: none"> ① 「特権階級の優等生息子」から、いかに「脱出」するか。 ② 「神」と「人間」——自殺未遂とキリスト教入信 ③ 「家」と「国家」——反抗と訣別 2 アメリカ・ヨーロッパでの思想形成 <ol style="list-style-type: none"> ① 「アメリカ＝巨大な近代文明」と「日露戦争」の重圧 ② キリスト教からの離脱と、個性的な思想の形成 ③ 中世ヨーロッパと「自由なコンミュニオン」への憧れ 3 日本での闘いと挫折 <ol style="list-style-type: none"> ① 芸術・思想・革命・自由 ② 農場解放の理想と現実 ③ 恋愛と死 <p>ノートをしっかり取りながら聞いていれば、（予備知識が全く無くても）分かるはずである。大切なことは「知識」や「結論」ではない。興味を持つこと、考えること。有島を通して、諸君の中に「人間」への問題意識を喚起することを、最大の目標にしたい。</p>	
<p>【評価方法】 筆記試験（ノート・プリント等、何でも参照可）。講義に基づいて書く形式。しっかりノートをとって、講義を聴いていけば大丈夫。出席点を加味して、総合的に評価する。</p>	

【授業科目名】 心理学入門Ⅰ[心のしくみ]	【担当者】 心理学科専任教員
【開講期】 1年前期	
【授業目標】 心理学という学問の歩みやそれぞれの分野でのトピックを通して、人間を心理学的な視点から見る態度を養います。	
【テキスト】 【参考書】 個々の授業の中で紹介します。	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 心理学の歴史と基本的立場-----金子 2. 知覚心理学-----金子 3. 実験心理学-----多喜乃 4. 学習心理学-----荻野 5. 発達心理学(青年心理学)-----林 6. 人格心理学-----金 7. 臨床心理学-----林 8. 健康心理学-----金 9. 生理心理学-----多喜乃 10. 社会心理学-----倉澤 11. 心理学の研究法-----荻野 12. 心理学と社会-----倉澤 <p>※授業の順序は多少入れ替えられることがあります。</p>	
【評価方法】 出欠席と期末試験(マークシートによる客観テストを予定)により評価します。	

【授業科目】 心理学入門Ⅱ [性格と人間関係]	【担当者】 林 潔
【開講期】 教養教育1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>サブタイトル <性格について></p> <p>併せて今日の心理学の基本的な考え方について紹介します。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>なし</p>	
<p>【参考書】</p> <p>随時紹介します。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>いろいろなタイプの人がありますね。 同じ事についても受け取り方は、人によってさまざまです。 どうしてなのでしょう。 なぜ人は、その人なりのやり方で行動するようになるのでしょうか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 行動についての心理学の見方 <ol style="list-style-type: none"> (1)経験を重視する (2)ものの見方を重視する (3)過去の経験、特に幼児期の経験を重視する 2. 「血液型と性格」は？ 3. 今日の性格についての考え方 4. 人間関係について考える <p>質問歓迎です。Mailも使ってください。 hayashi@shiraume.ac.jp</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点、指定図書レポート、期末試験で評価します。</p>	

【授業科目】 体の不思議	【担当者】 村田 務				
【開講期】 1年後期					
<p>【授業目標】</p> <p>1) 人間の身体と生命活動に対する知的探求心を喚起し、身体の特徴的なしくみと働き、外界との繋がりに関する基礎知識について理解させる。</p> <p>2) 自らの体の不思議さと巧みさを知ることによって、「生命活動の主体」として自分自身を認識する基盤を形成させる。</p>					
【テキスト】 使用せず					
<p>【参考書】</p> <p>菊池俊英：人間の生物学、理工学社、1976年。 香原姿勢：人類生物学入門、中公新書、1975年。 佐藤方彦：人間と気候、中公新書、1987年。 藤田紘一郎：共生の意味論、講談社ブルーバックス、1997年。 宮城重二：女性はなぜ長生きか、講談社ブルーバックス、1996年。ほか</p>					
授 業 計 画					
<p>今日、いじめや児童虐待、自殺、薬物使用、買春、売春など、他人や自分自身の生命及び健康、人権に関わる諸問題が社会的問題としてクローズアップされてきている。これら背景には様々な事柄が考えられている。その1つとして「自他の体に対する尊厳の念が希薄で、自他の体や命を大切にするという意識が薄れているのではないか」という指摘もされている。</p> <p>教科目「体の不思議」では、人間の体の仕組みと働きの理解を通して、「ヒトの体の不思議さ」や「人間のからだのすばらしさ」に触れる。そして、人間の、自分自身や他人の生命や健康、人権の大切さについて考える契機とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="vertical-align: top; width: 50%;"> <p>1 温度に対する恒常性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜゾウは水浴びをするか ・なぜヒトは汗をかくか ・なぜヒトは鳥肌が立つか </td> <td style="vertical-align: top; width: 50%;"> <p>2 気候と人類の適応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜラクダは砂漠で強いのか ・なぜヒトの体温は37℃か ・なぜヒトは人種によって体型が違うか </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>3 外敵から体を守るしくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜヒトはばい菌の中で生きていけるか ・なぜ寄生虫が減るとアレルギーが増えるか ・なぜ心配事があると胃が痛むのか </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>4 男女の不思議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ女性は長生きか ・なぜ男と女がいるの ・なぜヒトは異性を求めるか </td> </tr> </table>		<p>1 温度に対する恒常性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜゾウは水浴びをするか ・なぜヒトは汗をかくか ・なぜヒトは鳥肌が立つか 	<p>2 気候と人類の適応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜラクダは砂漠で強いのか ・なぜヒトの体温は37℃か ・なぜヒトは人種によって体型が違うか 	<p>3 外敵から体を守るしくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜヒトはばい菌の中で生きていけるか ・なぜ寄生虫が減るとアレルギーが増えるか ・なぜ心配事があると胃が痛むのか 	<p>4 男女の不思議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ女性は長生きか ・なぜ男と女がいるの ・なぜヒトは異性を求めるか
<p>1 温度に対する恒常性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜゾウは水浴びをするか ・なぜヒトは汗をかくか ・なぜヒトは鳥肌が立つか 	<p>2 気候と人類の適応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜラクダは砂漠で強いのか ・なぜヒトの体温は37℃か ・なぜヒトは人種によって体型が違うか 				
<p>3 外敵から体を守るしくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜヒトはばい菌の中で生きていけるか ・なぜ寄生虫が減るとアレルギーが増えるか ・なぜ心配事があると胃が痛むのか 	<p>4 男女の不思議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ女性は長生きか ・なぜ男と女がいるの ・なぜヒトは異性を求めるか 				
<p>【評価方法】 平常試験（レポート又はペーパーテスト。学習意欲と出席を重視する。）</p>					

【授業科目】 生物の世界と人間	【担当者】 近藤正樹
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>人間は生き物（生物）の一種にすぎません。パスカル（哲学者）が言ったように「考える」ことのできる生物です。生物としての共通点とヒト（生物の一種）としての特異点を再確認した上で私たち「人間」の生き方を見直していくことを主な目標としています。その中で科学的な考え方、態度にふれて頭の使い方の練習（思考訓練）も上達するようにします。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>なし</p>	
<p>【参考書】</p> <p>なし</p>	
授 業 計 画	
<p>1. 生物と無生物</p> <p style="padding-left: 2em;">気体の世界、流体の世界、流体という考え方、固体と結晶、ポーリング説を展開して</p> <p>2. 生物の紀元</p> <p style="padding-left: 2em;">①流体の中での変性、高分子化への道、solとgel、表面膜の特化</p> <p style="padding-left: 2em;">②単純から複雑へ、未分化から分化へ、発達と退化</p> <p>3. 生物の種類と分類</p> <p style="padding-left: 2em;">分類すること、系統分類法、世界共通の名称（学名）世界で繁栄した生物とその原因</p> <p>4. 個体維持と種族維持</p> <p>5. 集団（個体群）としての人間集団</p> <p>6. 集団（群集）の中の人間の位置と役割</p> <p>7. 昆虫の社会と高等動物の社会</p> <p>8. 動物の社会と人間の社会</p> <p>9. 「考える」動物としての長所と限界</p> <p>10. 人間はこれから何を努力しなければならないか</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポートと定期試験</p>	

【授業科目】 人間と環境	【担当者】 吉川 研二
【開講期】	
【授業目標】 35億年前の海の中で最初の原始生物が誕生したといわれている。以後、地球環境の全体システムは、様々な生物と密接に関係しながらいく度かの大変革を経て現在の姿を作りあげてきた。私たち人間を含めた地球上のあらゆる生物は、周囲の大気や水や土壌といった環境と微妙な均衡を保ちながら生活しているのである。 様々な環境汚染、自然破壊、種の消滅などは、このシステム全体の単純化につながり、ヒトの生存をも危うくする。私たちひとりひとりの生活のあり方が問われている。	
【テキスト】 プリントなど	
【参考書】 授業中に適宜紹介する	
授 業 計 画	
1. 宇宙の中の地球 宇宙のこと 銀河系のこと 太陽系のこと そして地球 2. 地球環境の変遷 原始地球の姿 生命の誕生 生物の進化と地球環境 3. 地球環境系と生命 生命を育む天体地球 地球を作る物質 太陽エネルギー 大気の働き 水の働き 二酸化炭素やオゾンなど化学物質の働き 4. 生態系の構造と機能 生態系とは 非生物的要素と生物の群集 物質の循環とエネルギーの流れ 5. 地球環境悪化と生態系 地球温暖化 温室効果ガス・温暖化の影響 森林の現象 熱帯雨林の破壊と生物の多様性の崩壊 様々な人工化学物質の氾濫 環境ホルモン 水の汚染・大気の汚染・土壌の汚染 オゾン層の破壊 紫外線と生物 6. 生活の中の環境問題 資源 消費 廃棄 自然生態系でのリサイクル 人工生態系でのリサイクル 7. ふたつのエコ 環境倫理	
【評価方法】 平常点＋筆記試験	

【授業科目】生と死を考える	【担当者】嶋根 久子
【開講期】1年 前期	
<p>【授業目標】人は死に直面した時、生きているという実感を一層強くもつと言われている。しかしながら、核家族化が進行する中で、寿命が飛躍的に延び、加えて病院で死を迎える昨今、我々は死を体験する機会が非常に減少している。従って、この講義では、人のもつ「追体験」という能力をフルに活用して、より充実した生を目指して、様々な角度から、死について考えてみたいと思います。</p>	
【テキスト】	
<p>-----</p> <p>【参考書】『死の社会学』副田義也編、岩波書店、『死ぬ瞬間』キュープラ・ロス、読売新聞社、『生と死を考える』アルフォンス・デーケン、春秋社など。</p>	
授 業 計 画	
<p>(1) 死の諸相 ①病死②事故死③災害における死④自死⑤自然死</p> <p>(2) 家族と看護、あるいは死の看取り ①死の諸相による家族の影響②子供の死③親の死④高齢者の死⑤配偶者の死</p> <p>(3) 死者の年齢別に見た、残された家族の問題 ①配偶者の死②子供の死③親の死</p> <p>(4) 死の受容の諸形態 ①死にゆく人②残された家族</p> <p>以上のことを主なテーマとするが、その際、より一層の理解を深めることを目的として、視聴覚教材を援用しながら、講義を進める。</p>	
<p>【評価方法】評価はレポートとする。授業期間中に見たビデオについて、そのつどレポートを提出し、それらと最終レポートとを合わせて評価を決める。</p>	

【授業科目】	人間の生と性	【担当者】	浅井 春夫
【開講期】	1年 後期		
【授業目標】	性を明るく、おおらかに、そして科学的に語れる基礎的な力をつけてもらいたいと願っている。具体的には、①人間の性に関するミニマム・エッセンスを学ぶことを通して、性的自立と性的共生能力をはぐくんでいくことを大切にする。私たちが自分らしく、そしてお互いを大切に生きる上でどのような性行動を選択するかが問われているからである。②セクシュアル・マイノリティの人権の現実を学ぶ。性に関する偏見をなくしていくことは共生の重要な条件であるからである。③タイムリーな性に関する問題を討論できる場を設けたい。この時代に生きる一人ひとりの生と性を見つめ直す機会としたいからである。人間の生と性の科学的な理解と性をめぐる人間関係を真摯に学んでほしい。		
【テキスト】	浅井春夫『セクシュアル・ライツ入門』（十月舎、2000年、2500円+税）		
【参考書】	浅井春夫・伊藤悟・村瀬幸浩共編『日本の男はどこから来て、どこへ行くのか』（十月舎、2001年、2500円+税） 浅井春夫『子ども虐待の福祉学』（小学館、2002年、1700円+税）		
授 業 計 画			
<p>テキストをもとに以下のような計画をたてているが、タイムリーな問題を取りあげて講義することもある。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 本授業での問題意識と授業の運営についての共通確認 ② セクシュアリティに関する基本的な用語の説明 ③ マイノリティ（ゲイ、トランス・ジェンダー、インターセックス e t c）のセクシュアル・ライツ—いまも平然と行われる差別と偏見、それは性と政をめぐる問題 ④ 子どものセクシュアル・ライツの現状—わが国と世界の現実から— ⑤ 子どもの性的発達の特徴と性をはぐくむ課題—とくに男性形成の問題を考える ⑥ 避妊を学ぶ—妊娠と避妊のしくみ、女性用コンドーム、ピル ⑦ 恋愛のスズメ—恋愛を発展させる方法、グループ討論「こんな場合、どうする？」 ⑧ 性器の生理学—男と女の性器はもとは同じだった！性器の構造を学ぶ ⑨ 性交の人間学—性交は人間にとって、二人の関係にとってどのような意味をもっているのか。二人の関係性を反映した性交の現実を考える ⑩ 生殖医療の最前線（体外授精、代理母など）をめぐる討論—あなたは賛成？反対？ ⑪ エイズの政治学—その南北問題としての側面 ⑫ セクシュアリティの過去・現在・未来—性の主体者として生きるために 			
<p>キーワード</p> <p>セクシュアル・ライツ（性的人権）、セクシュアリティ（その人らしい性のあり方）、性の多様性、セクシュアル・オリエンテーション（性的指向）、同性愛（ゲイ、レズビアン）、トランス・ジェンダー、Aセクシュアル、インターセックス、避妊、ピル</p>			
【評価方法】	定期試験		

【授業科目】生活と健康	【担当者】明渡陽子
【開講期】後期	
<p>【授業目標】</p> <p>健康の概念理解と健康であることの意義（個人のレベル・社会の一員としてのレベルなどで）を考える。さらに、加齢と言う生理現象を背景として、一生健康である（健康維持・健康増進）ために必要な知識の習得と健康な生活設計の方法の習得をめざす。また、最近の健康問題についても、その背景・原因の理解とその対策を学ぶ。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>栄養、健康科学シリーズ 健康管理概論（南江堂）とプリントを使用</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>以下の内容についての講義を行う予定。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康の概念 <ol style="list-style-type: none"> ① 健康の定義 ② 個人・集団の健康指標 ③ 健康成立条件（vs 疾病とは＝疾病の成り立ちと疾病予防の段階・対策など） 2. 高齢社会とわが国の健康水準 3. 最近の健康問題 <ol style="list-style-type: none"> ①生活習慣病（癌・脳血管障害・虚血性心疾患・糖尿病など） ②アレルギー疾患 ③その他（エイズ・狂牛病・環境ホルモン・フロンとオゾン層の破壊・精神ストレス問題等） 4. 健康管理法（健康生活設計法の習得） <ol style="list-style-type: none"> ① 食事 ② 運動 ③ 休養とストレス ④ 飲酒・喫煙の健康への影響について 5. 女性の医学（加齢と性機能・月経のしくみとホルモン・性病などの主な婦人科疾患の理解・人工妊娠中絶と避妊について） 6. わが国の保健医療体制 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況と筆記テスト</p>	

【授業科目】教養体育（実技）テニス	【担当者】野田達也
【開講期】1年前期、2年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>テニスについて学習し、実践していくことで「健やかに生きるための基盤」を得ることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特になし。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>特に指定しない。</p>	
授 業 計 画	
<p>自分たちが、練習の計画を立て、自分たちだけでスムーズにゲームが進められるよう、以下のよ うな技術について学んでいく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ボール、ラケットに慣れる。 2) フォアハンドボレー 3) バックハンドボレー 4) フォアハンドストローク 5) バックハンドストローク 6) ストロークラリー 7) サービス、レシーブ 8) 試合の進め方 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席を重視する。授業期間における技術の進歩、積極性、協調性などを評価する。</p>	

【授業科目】 教養体育(実技)	【担当者】 松岡由紀子
【開講期】 2年前期	
【授業目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツをすることによって運動不足を解消し、体力の保持増進をはかり、精神的ストレスを解放する。 ・ 運動技能と知識の習得。 	
【テキスト】	
----- 【参考書】	
授 業 計 画	
【バドミントン】 技能練習とゲーム 1、グリップとシャトル慣れ 2、ストロークの練習 <ul style="list-style-type: none"> ・ フォアハンドストローク ・ バックハンドストローク ・ クリアー (ハイクリアー) ・ ドロップ ・ ドライブ ・ ヘアピン ・ プッシュ ・ スマッシュ 3、サービスの練習 <ul style="list-style-type: none"> ・ ロングハイサービス ・ ショートサービス 4、集団技能の練習 5、ゲームとルール、審判法 <ul style="list-style-type: none"> ・ ダブルス ・ シングルス 	
【評価方法】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 平常点 (出席重視) ・ 授業中に採点する。 	

【授業科目】教養体育（講義）	【担当者】野田達也
【開講期】1年後期前半	
<p>【授業目標】</p> <p>健康な身体の維持、増進に対して運動が持つ効果について学習し、自分自身が健康な身体を獲得していくとともに、周りの人間に対してもアドバイスできるよう正しい知識を得ることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特になし。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>特に指定しない。</p>	
授 業 計 画	
<p>人間が健康な身体を維持し、生活していくためには体力が必要となる。また、生活習慣病（肥満、糖尿病、高血圧症、心筋梗塞）や、骨粗鬆症などを引き起こさないためには、運動を実践することが必要となってくる。健康な身体の維持、または増進に対して運動が持つ効果について、生理学的な面から学習する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 体力についての概念 2) エネルギー摂取量・消費量 3) 体脂肪率の判定 4) 骨量、骨粗鬆症 5) 全身持久力 6) 運動処方 7) 運動療法 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席を重視する。ペーパーテストおよび学習意欲についても評価の対象とする。</p>	

【授業科目】外国語 I	【担当者】川口淑子
【開講期】前期	
<p>【授業目標】</p> <p>英語の文献の購読やリスニングを通して、総合的な英語力を養成することを目的とする。</p>	
【テキスト】Simply 名作シリーズ Jane Eyre (シャーロット・ブロンテ、南雲堂、¥854+税)	
----- 【参考書】	
授 業 計 画	
<p>著名な作品を英語で読むことが中心となるが、リスニングや基本的な英作文なども取り入れてゆく予定。物語を楽しみながら、英語の表現や文化的背景などを知る機会としてもらいたい。授業では、精読のみでなく、英語の文献から情報を効率的に読みとって理解することを学んでゆく。テキストの他に英語のビデオやプリントで、文字のみでは得られない知識を補足する。</p>	
【評価方法】平常点、試験、レポートなどから総合的に判断し評価する。	

【授業科目】 外国語Ⅰ	【担当者】 長尾主税
【開講期】 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>あらためて基礎から英語の学習方法を考えなおしていく。 ごく基本的な知識から復習し、英語によって意志の疎通がはかれるよう訓練する。 辞書類を道具として使いこなせるようにする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>Hear It! Say It! (金星堂)</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>訳語が載っているだけでなく、用法、例文が豊富な英和辞典、文法書等 授業中に指示する。</p>	
授 業 計 画	
<p>基本的な発音知識をまずブラッシュアップする。 ごく初歩的な文法知識を得る。</p> <p>基本動詞を中心に運用能力を高める。</p> <p>テキストを使ってリスニングと読解、リスニングと発音の関係づけを行い、自分のものとして使える言葉を着実にふやしていく。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>期末の試験の成績に平常点を加味して成績評価を行う。平常点とは、各章のまとめ、担当項目の発表などについての成績をさす。ていねいな復習が必要。</p>	

【授業科目】 外国語 I (中国語)	【担当者】 陳 志華
【開講期】 1 年 前期	
【授業目標】 この授業の目標は、①中国語の発音、②中国語の日常会話、③中国語の基本文法、を身につけることである。	
【テキスト】 方如偉・王智新・鏡屋一著 『新版 中国語 10 課』白水社。	
【参考書】 必要に応じて紹介する。	
授 業 計 画	
<p>1、中国語の発音及び文法を基本から学習する。</p> <p>2、簡単な日常会話を基礎とした内容を反復しながら、対話する練習を積み重ねていく。</p>	
【評価方法】 平常点（出席、小テスト）と 期末テストで評価する。	

【授業科目】外国語Ⅰ（フランス語）	【担当者】森佳子
【開講期】1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>1：フランス語の発音の美しさに親しむ</p> <p>2：名詞、冠詞、形容詞の特徴を知る</p> <p>3：基本的な動詞の使い方を知り、活用が自在にできるようにする</p> <p>4：疑問文、否定文の作り方、使い方を知る</p>	
【テキスト】数藤ゆきえ・酒井由紀代著 『モン フランセ ひとりで学ぶフランス語』駿河台出版社	
----- 【参考書】	
授 業 計 画	
<p>1：フランス語の発音 アルファベと綴り字記号、発音</p> <p>2：名詞 男性名詞、女性名詞、単数、複数、不定冠詞、定冠詞、部分冠詞</p> <p>3：形容詞 形容詞の性と数、形容詞の位置、特殊な変化をするもの、名詞の女性形と特殊な複数形、指示形容詞、所有形容詞</p> <p>4：動詞 フランス語の8つの主語、動詞 être の現在形、動詞 avoir の現在形</p> <p>5：疑問文、否定文 疑問文の作り方、否定文の作り方、前置詞 à、de と定冠詞の縮約</p> <p>6：規則動詞 er 動詞、ir 動詞、代名動詞</p> <p>7：不規則動詞 aller と venir、近い未来と近い過去、その他の不規則動詞、命令法</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況、提出物、定期試験などをもとに、後期と総合して評価する。</p>	

【授業科目】 外国語 - I (ドイツ語)	【担当者】 田中 安行
【開講期】 1年前期	
【授業目標】 1. ドイツ語の基礎を学ぶ。簡単な会話と文法、表現の仕方などの基礎を得させる。 2. 現代のドイツの人々の生活や風物に触れ、ドイツ語とドイツへの親しみを増すようにする。 3. ドイツの歴史や文化と社会に対する正しい知識と理解を通して国際的教養を身につける。 4. 和やかな雰囲気での授業を目指し、ドイツ語の知識だけでなく、ドイツ文化に触れる機会を多くする。	
【テキスト】 開講時に説明する。	
----- 【参考書】 開講時に説明する。	
授 業 計 画	
【授業計画】 1. 音声訓練——ビデオ教材やテープを利用して、ドイツ語の音声に慣れ、理解できるような訓練を行う。 2. 音声表現——教材の重要表現を習得して、音声による自己表現もできるように学習する。 3. ドイツ語による会話——会話を学びながらドイツ人の生活や考え方などを理解する。 4. ドイツ語の文構造理解——ドイツ語会話の文を元にしてドイツ語の文構造と文法を理解する。 5. 文化理解——ドイツ文化およびドイツの歴史や現状に対して正しい知識と認識を得る。ドイツの詩や歌も学んでドイツ人の感情も理解する。 6. 文章理解——辞書の使い方を学びながら、やさしいドイツ語の物語を使って、文構造の理解をすすめ、さまざまなドイツ語の文に慣れていくようにする。 【授業方法】 1. 毎時間前半は簡単なドイツ語会話や詩や歌を覚えて、自然にドイツ語で話し聞くことに慣れていく。 2. やさしい会話表現を通してドイツ人の生活や考え方などドイツ文化を理解する。 3. 会話文の練習問題を行って、その文を分析してドイツ語の文構造のルールを発見する。文法を受け身でなく、自分から積極的に発見して身につけて使えるようなものにする。 4. ドイツの地理、歴史、文学、音楽などの資料（ビデオ・スライド・写真など）を使って自分たちでさまざまなものを発見出来るような学習活動をして、ドイツの歴史や現状に対して正しい知識と理解を得る 5. ビデオやインターネットなどのメディアを通して、現代のドイツの人々の生活や風物に触れ、ドイツ語をより身近に感じられるようにする。 6. 小グループを作っていつもそれを中心にして、ドイツ語の発音練習や会話、その他の学習活動を進めて、なごやかな雰囲気です充実した学習ができるようにする。	
【評価方法】 ふだんの学習状況や発言などの平常点と口頭による質疑応答や小テストとレポートおよびテストなどで総合的に評価する。	

【授業科目】外国語Ⅱ	【担当者】川口淑子
【開講期】後期	
<p>【授業目標】</p> <p>英語の文献の購読やリスニングを通して、総合的な英語力を養成することを目的とする。</p>	
【テキスト】Simply 名作シリーズ Jane Eyre (シャーロット・ブロンテ、南雲堂、¥854+税)	
----- 【参考書】	
授 業 計 画	
<p>著名な作品を英語で読むことが中心となるが、リスニングや基本的な英作文なども取り入れてゆく予定。物語を楽しみながら、英語の表現や文化的背景などを知る機会としてもらいたい。授業では、精読のみでなく、英語の文献から情報を効率的に読みとって理解することを学んでゆく。テキストの他に英語のビデオやプリントで、文字のみでは得られない知識を補足する。</p>	
【評価方法】平常点、試験、レポートなどから総合的に判断し評価する。	

【授業科目】 外国語 II	【担当者】 長尾主税
【開講期】 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>前期に読み、聴き、話し、書くことについて学んだ知識ををばらばらのまま放置せず、具体性を持たせることで有機的に結びつけ、自分の表現に生かしていく。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>Hear It! Say It! (金星堂)</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>訳語が載っているだけでなく、用法、例文が豊富な英和辞典、文法書等授業中に指示する。</p>	
授 業 計 画	
<p>前期に使用したテキスト、テープのほかにDVDやビデオを利用する。 すでに習得した基礎知識をもとに、映画の会話を観察し会話の成り立ちを学ぶ。 引き続き基本動詞（およびそれに付随する重要な言葉）について学び、映画で確認される表現の豊富さを自分のものにしていく。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>期末の試験の成績に平常点を加味して成績評価を行う。平常点とは、各章のまとめ、担当項目の発表などについての成績をさす。ていねいな復習が必要。</p>	

【授業科目】	外国語Ⅱ(中国語)	【担当者】	陳志華
【開講期】	1年 後期		
【授業目標】	この授業の目標は、①中国語の基本文法の理解力、②中国語の会話能力、③中国語文章の読解力、をさらに高めることである。		
【テキスト】	方如偉・王智新・鏡屋一著 『新版 中国語10課』白水社。		
【参考書】	必要に応じて紹介する。		
授 業 計 画			
<p>1、中国語の日常会話をさらに練習し、中国語文章の読解及び簡単な文章づくりを行う。</p> <p>2、中国文化及び急激に変化している中国民衆生活の実態を学びながら、中国語の教養を深める。</p>			
【評価方法】	平常点(出席、小テスト)と 期末テストで評価する。		

【授業科目】外国語Ⅱ（フランス語）	【担当者】森佳子
【開講期】1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>1：フランス語を通して、フランス文化を理解する</p> <p>2：過去形、未来形の作り方、使い方を知る</p> <p>3：いろいろな疑問文や比較級の作り方、使い方を知り、さらに幅広い表現力をつける</p> <p>4：フランス語特有の代名詞の使い方を知る</p>	
【テキスト】数藤ゆきえ・酒井由紀代著 『モン フランセ ひとりで学ぶフランス語』駿河台出版社	
----- 【参考書】	
授 業 計 画	
<p>8：過去形 複合過去、avoir+過去分詞、être+過去分詞、代名動詞の複合過去</p> <p>9：未来形 単純未来、前未来</p> <p>10：いろいろな疑問文 疑問副詞、疑問代名詞、疑問形容詞、非人称構文</p> <p>11：比較 比較級、最上級</p> <p>12：代名詞 補語人称代名詞、強勢形人称代名詞、所有代名詞、指示代名詞、中性代名詞</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況、提出物、定期試験などをもとに、前期と総合して評価する。</p>	

【授業科目】外国語 - II (ドイツ語)	【担当者】田中 安行
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ドイツ語の基礎を学ぶ。簡単な会話と文法、表現の仕方などの基礎を得させる。 2. 現代のドイツの人々の生活や風物に触れ、ドイツ語とドイツへの親しみを増すようにする。 3. ドイツの歴史や文化と社会に対する正しい知識と理解を通して国際的教養を身につける。 4. 和やかな雰囲気での授業を目指し、ドイツ語の知識だけでなく、ドイツ文化に触れる機会を多くする。 <p>注： 外国語 - II (ドイツ語) は、外国語 - I (ドイツ語) 修得者又はその学力のある者が履修できる。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>開講時に説明する。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>開講時に説明する。</p>	
授 業 計 画	
<p>【授業計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 音声訓練——ビデオ教材やテープを利用して、ドイツ語の音声に慣れ、理解できるような訓練を行う。 2. 音声表現——教材の重要表現を習得して、音声による自己表現もできるように学習する。 3. ドイツ語による会話——会話を学びながらドイツ人の生活や考え方などを理解する。 4. ドイツ語の文構造理解——ドイツ語会話の文を元にしてドイツ語の文構造と文法を理解する。 5. 文化理解——ドイツ文化およびドイツの歴史や現状に対して正しい知識と認識を得る。ドイツの詩や歌も学んでドイツ人の感情も理解する。 6. 文章理解——辞書の使い方を学びながら、やさしいドイツ語の物語を使って、文構造の理解をすすめる、さまざまなドイツ語の文に慣れていくようにする。 <p>【授業方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 毎時間前半は簡単なドイツ語会話や詩や歌を覚えて、自然にドイツ語で話し聞くことに慣れていく。 2. やさしい会話表現を通してドイツ人の生活や考え方などドイツ文化を理解する。 3. 会話文の練習問題を行って、その文を分析してドイツ語の文構造のルールを発見する。文法を受け身でなく、自分から積極的に発見して身につけて使えるようなものにする。 4. ドイツの地理、歴史、文学、音楽などの資料 (ビデオ・スライド・写真など) を使って自分たちでさまざまなものを発見出来るような学習活動をして、ドイツの歴史や現状に対して正しい知識と理解を得る 5. ビデオやインターネットなどのメディアを通して、現代のドイツの人々の生活や風物に触れ、ドイツ語をより身近に感じられるようにする。 6. 小グループを作っていつもそれを中心にして、ドイツ語の発音練習や会話、その他の学習活動を進めて、なごやかな雰囲気ですすんだ学習ができるようにする。 	
<p>【評価方法】</p> <p>ふだんの学習状況や発言などの平常点と口頭による質疑応答や小テストとレポートおよびテストなどで総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 海外語学研修	【担当者】 中島好伸
【開講期】 1 年前期・2 年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>イギリスに約 4 週間滞在することによって、生の英語に接し、英語運用能力を高める。また、イギリスで生活し、名所旧跡を訪ねることによって、イギリスの生活習慣や文化を肌で感じ体得する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用しない。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要に応じて紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>授業の中心は 8 月 2 日出国、イギリスはリーズ市にあるリーズ・メトロポリタン大学の語学センターで 3 週間実施される語学研修にホームステイしながら参加、8 月 27 日帰国のイギリス滞在にある。しかし、出発に備えて、前期に 5 回の事前指導を行う。パスポートの取得から、渡航手続きをこの期間に行い、あわせて現地での基礎情報や生活情報、そして必要最低限の英語の学習を行う。参加費は、別に配布されるチラシを参照のこと。英語力については、一切問わず、ゼロからでも現地の先生が懇切丁寧に指導してくれ、帰国するときには、英語の面白さが身にしみてわかるだろう。全期間担当者が同行する。なお、最低催行人数に達しない場合は、実施されないこともあるので注意。</p> <p>予定内容（あくまでも予定）</p> <p>5 回の事前指導</p> <p>8 月 2 日 成田出発 直行便にてロンドン</p> <p>8 月 3 日 ロンドンからリーズへ</p> <p>8 月 3 日—8 月 24 日 ホームステイして、メトロポリタン大学の語学センターにて研修</p> <p>8 月 24 日 リーズからロンドンへ</p> <p>8 月 25 日 ロンドン市内観光</p> <p>8 月 26 日 ロンドン・ヒースローから帰国の途</p> <p>8 月 27 日 成田帰国</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点、出席点に現地での課題成績を加味して評価する</p>	

【授業科目】 選択外国語 英会話 (基礎)	【担当者】 サラ ブロック (Sarah Brock)
【開講期】 1年前期・1年後期	
【授業目標】 日常会話をやさしく紹介する。相手を理解する能力と返事ができるスタミナ(?)を一年かけて身につける。自分のことや文化についてコミュニケーションがしたい意欲が芽生える授業にする	
【テキスト】 プリント (将来まとめてテキストにします)	
【参考書】 電子辞書、紙の辞書 (パックス講談社) など	
授 業 計 画	
〔前期〕 (1-3 週) 自己紹介のプリント、どうやって学校に来る?自分の近所はどういうところ?現在形と現在進行形中心の授業にする。 (4-8 週) 話題の範囲を広げて、テレビやアニメなど現代日本の文化について話す。「以前はこうだったけど今はこうなっている」、文章をながくして会話する。 (8-12 週) 東京では洋服店、喫茶店、ケーキ屋さんなどは世界一の数。どうやってよい店を見つけ出す?情報交換や意見交換の会話をします。 (13-15 週) インタビューテストの受け方について説明し、実行する。日本語を一切使わない会話ができる?もちろん場所の名前や英語で開設する日本語は認める。(大丈夫、緊張しない、やさしくするから)。 〔後期〕 (1-3 週) 夏休みの課題は、スケジュール手帳の中に夏の出来事について、日本語でメモる。このメモをベースに夏休みについて会話をする。過去の夏(子供のとき)と今の夏ってどう違う?今年苦勞したところは?将来夏休みで旅行したい?などの話題も含む。 (4-8 週) ペットについて・自然について・学校生活について・旅行について、様々な話題を取り上げる。分野が変わるにつれ語彙も増える。辞書を忘れないで持ってきて。 (8-12) セルフォーン、DVD、コンピューター、どんどんテクノロジーが日常生活にはいり、その生活を急変することもある。自分はこの渦の中で何を考えている?意見を述べる力を身につける。 (12-15 週) 自分の色・自分の名前・自分の夢を、自分らしく、そして相手が納得し感動するよう、言葉や声の使い方を調整し、完全版を提出する。できればインタビューテストもする。	
【評価方法】 課題やレポートの提出、プリントの提出、インタビューテストなど。授業の中でテストが行う。	

【授業科目】 選択外国語 ビジネス英語	【担当者】 田中 安行
【開講期】 前期	
【授業目標】 1. 基本的なビジネス英語を速く、正確に、深く読む力をつける。 2. 英語で書かれた世界の生活、文化、歴史などに関する文章や時事問題、英詩、エッセイ、物語などに触れながら、英語を理解する力をつける。 3. 上記を通して 21 世紀に生きる人間としての広い教養と国際的なものの見方や考え方を学び、21 世紀の人間に必要な生き方を身につけられるような学習を目指す。	
【テキスト】 開講時に指示する。	
【参考書】 開講時に指示する。	
授 業 計 画	
【授業計画】 1. 文章理解 ビジネスに必要なさまざまな形式の英文を使って、チャンク毎に文の構造を理解させながら、パラグラフ・リーディングや要約、速読などの方法を通して文章の内容理解ができるようにする。 2. 国際的なビジネス問題の理解 現代世界の経済や政治など時事問題などの英語教材を用いて広い視野で学び、世界のビジネスにおける文化や歴史的背景を理解し、世界の様々な分野で活動するための基礎的な英語力と教養を身につける。 3. 音声訓練 ビジネスで使う基本的な英会話のパターンに慣れるように音声教材を使いながら、練習をする。 4. 音声表現 視聴覚教材や読み物教材の重要表現を習得して、対話や会議で用いる英語を音声で表現できる力をつける。 【授業方法】 1. ビジネスに必要な平易な E-mail の英文の読み方、書き方を学び、実際に送受信してみる。 2. 保育、福祉、一般事務などさまざまな分野の実務的な英会話の基本を学び、訓練する。 3. それぞれのジャンルの英文について読み方や書き方の基本と応用を演習する。 4. 語句や意味の奥にある意味や発想の仕方を理解しながら外国人とのビジネスにおいて基本的に重要なコミュニケーションや異文化理解の方法を学ぶ。 5. さまざまな場面で自己表現するための話し方や書き方を身につける。	
【評価方法】 ふだんの学習状況や発言などの平常点、口頭による質疑応答および小テストとレポートおよびテストなどで総合的に評価する。	

【授業科目】 選択外国語 時事英語	【担当者】 田中 安行
【開講期】 後期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代の生活、文化、環境、心理、保育、福祉問題などに関する時事的な英語を通して、21世紀に生きる人間としての広い教養と国際的なものの見方や考え方を学び、今後の社会で活躍する人間に必要な生き方を身につけられるような学習を行う。 2. 深く英語文化を理解するために、単に時事的な問題だけに限定せず、その背後にあるものの考え方や感じ方にも触れるように、英詩やエッセイなどにも触れて幅広い人間的な力をつける。 3. 時事的な英語を聞き、話す力をつける。英語の音声と基本的な表現に慣れて、さまざまな場面で相手の言うことを理解し、自己表現できる力をつける。 4. 時事英語の英文を用いて速読に慣れるようにする。 	
<p>【テキスト】</p> <p>開講時に指示する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>開講時に指示する。</p>	
授 業 計 画	
<p>【授業計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 文章理解 英字新聞など身近な内容の英文を使って文の構造をチャンク毎に理解させながら、パラグラフ・リーディングや要約ができる文章の内容理解の方法を学ぶ。 2. 国際的な文化理解 現在の世界の生活、文化、環境、心理、保育、福祉、平和問題などを取りあげた自作英語教材の“The Real Times”を用いて、世界の多くの文化や歴史的背景を理解できる中広い視野を身につける。 3. 音声訓練と音声表現 ビデオ教材やテープ、インターネットを利用して、英語の音声に慣れ、理解できるような対話練習を行い、重要表現を習得して、音声による自己表現力もつける。 <p>【授業方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英字新聞やインターネットからの時事英語やエッセイ、英詩などを教材に使う。 2. 時事的な英文について聞き方、話し方、読み方、書き方の基本と応用を演習する。 3. 語句や意味の奥にある意味を理解することを通して異文化理解の方法を学ぶ。 4. 英字新聞“The Real Times”やインターネットでの英文を読解するためのルールを身につける。 5. さまざまな場面で自己表現するための話し方や書き方を身につける。 6. 自分でインターネットを使って英文ニュースを作ったり、自己表現文を作って実践的な英語力を身につける。 	
<p>【評価方法】</p> <p>ふだんの学習状況や発言などの平常点と口頭による質疑応答や小テストとレポートおよびテストなどで総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 選択外国語 異文化コミュニケーション	【担当者】 瀧口 優
【開講期】 1 年 後期：教養教育・教養科（現代教養）	
【授業目標】 1. 異文化とは何かを学ぶ 2. 異文化相互のコミュニケーションのあり方を実践的に学ぶ	
【テキスト】 必要に応じて指示する	
【参考書】 必要に応じて指示する	
授 業 計 画	
1. 映像を通じて写し出される他国の文化を認識する（4カ国程度）。 2. 日本の文化と比較してその特徴を分析する。 3. とりわけ言語についての理解を深める。 4. 以上を踏まえて異文化間のコミュニケーションをとるために何が重要であるかを学ぶ。 ＊ 外国語と言われるものには様々なものがあり、この授業では少しでも新しい言葉に触れる機会をつくりたいと考えている。	
【評価方法】 ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行うことを原則とするが、必要に応じてテストを行う。	

【授業科目】言語とコミュニケーション	【担当者】佐々 加代子
【開講期】1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>日常生活はさまざまな人間関係のなかでのコミュニケーションの場面がある。その方法もさまざまにある。言語はその代表格である。コミュニケーションが円滑にすすんでいくということについての基礎理論から始め、コミュニケーション関係における阻害要因と促進要因を抽出することで、生活において言語を媒介としたコミュニケーション関係のすすめかたについての方策が見出せるようにする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>佐々加代子、コミュニケーション能力弱者のQOL援助、犀書房</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>筆者の著書でいずれも犀書房。言語習得と人間関係、子どもからの贈りもの、発達臨床相談</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 言語の特性 2. コミュニケーションにおける言語 3. コミュニケーションの基本的過程 <ul style="list-style-type: none"> ことばのキャッチボール、ことばとキャッチボール 媒介となる距離—信号行動系 4. コミュニケーションの対象児・者の特性のとらえかた 5. 対象児・者別によるコミュニケーション関係 <ul style="list-style-type: none"> 乳児、幼児、障害児、障害者、失語症、介護を要する人、痴呆性老人、重病患者、異文化の人 6. コミュニケーションにおける共通項としてあげられる内容 7. 両者の関係とQOL 8. コミュニケーション関係、人間関係において機能していく言語の内容を育むこと <ul style="list-style-type: none"> ここでの1—8の数字は講義の内容を区分したもので、回数を示してはいない。 情報機器類も用いながら、できるだけ具体的場面を想定できるように工夫をこらしていく。 グループでの討論も加えていく。 	
<p>【評価方法】平常点を重視する。</p> <p>最終的には、平常点、授業内でのミニレポート、レポートで評価する。</p>	

【授業科目】手話入門	【担当者】細田恵子
【開講期】1年 後期	
<p>【授業目標】 初級程度の手話技能を修得し、聴覚障害者の生活等を知ることによって、自分の内面を見つめる一助とする。それとともに、障害者と共生できる街作りにどう関わっていくかを模索する。</p>	
【テキスト】随時プリントを配布する	
----- 【参考書】講義中に紹介する	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. まず、聴覚障害を持つ講師との意志疎通を図る方法について知る。 2. 挨拶・自己紹介等の日常よく使用する手話を身につける。 3. 聴覚障害問題について学ぶ。 4. 聴覚障害とはどんな障害なのかを実体験する。(疑似体験) 5. 聴覚障害者と健聴者が共生していくためには、どうしたらいいのか、かつ、授業で学んだことをこれからどういかしていくか、考え、実践して欲しい。 <p>* 毎回レポートを提出していただきます。</p>	
【評価方法】 レポートと授業態度により評価する。	

【授業科目】文学芸術・フィクションと人間	【担当者】中島好伸
【開講期】1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>文学作品はどのように出来上がっているのだろうか、作られた世界（フィクション）である文学作品は現実世界を生きる私たち読者にどんな影響を与えるのか、そもそも文学作品とは何か、以上のことを考えて、文学作品を読む有意義性を探る。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを使用</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要であれば、授業内で紹介する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>文学作品をただ活字を追うようにして読むだけでは、その作品が読者に与えてくれるさまざまな喜びやメッセージを引き出すことはできない。その結果、読む作業を疎んじている人はいないだろうか。実は、文学作品は、確かにつくられた世界（フィクション）だが、現実の世界に生きる私たち読者にさまざまな影響を与えている。作られた世界であることを知りながらも、読み終えて感動を覚えた経験を持つ人は多いだろう。それでは、文学作品はどのように作られていて、現実世界に生きる私たち読者にとってそれは何なのか。この点をさまざまな角度から考えてみよう。一回きりしかない人生を何倍にも楽しむ方法、それが文学であり、実は私たちの人生だって、物語になっていることに気づくはずだ。次のような内容で講義を進めていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「わたし」と他者 2) 視点と語り手 3) 語り手の言語と無意識 4) 表現か内容か 5) 小説世界内とプロット 6) 小説の蓋然性 7) 作者の死 8) 読者・印象批評 9) 読みのあれこれ 10) 人生とフィクション 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席点とレポートで評価する</p>	

[授業科目名] 造形美術とイメージーション

[担当者] 八木 紘一郎

[開講期] 2年・後期

[授業目標]

人間にとってイメージーション(想像)をめぐる営みの意味を考える。できるだけ身近な日常的な造形美術、例えば、招き猫やキャラクターグッズ、ミッキーマウスやプーさんなどのディズニーキャラ、節分の鬼や、七夕、クリスマスやサンタクロースの由来や摩訶不思議な異界のこと、太古の昔の女性像や、身近な信号やさまざまな記号などを通じたイメージーション活動を実態を扱い、イメージーションをめぐることの今日的意味と課題を検討する。

[テキスト・参考書]

授 業 計 画

- 1) 古代における初めての彫刻は女性像だった。なぜ女性像はつくられたか。だれが製作したか。
- 2) 人はなぜ小さなキャラクター造形物を身近におくのか。なぜ「かわいい」造形美術キャラを好むのか。かばんや携帯電話につけているキャラクター人形の意味を考える。
・招き猫や置き物を考える。
- 3) 色彩を通して考える。白と黒の世界。なぜ、日本や東洋の絵画には背景が白の余白をたっぷり使われるが、ヨーロッパ絵画の背景には黒が多用されていることが多い。どうしてか。
- 4) 身近な生活デザイン(衣服など)に使用されている色彩を通して、人間や行動心理を考える。
- 5) 異界との出会いをイメージーションしている造形美術を通して考える。
例えば、教会、寺院寺社などの宗教建築や絵画や彫刻等を通してして、人間が異界世界をどれだけイメージーションしてきたかを具体的に考える。実存しない異界の生き物(妖怪・妖精・お化け・化け物など)の存在をイメージーションした造形美術をとりあげ、いかに人間は異界の生き物や世界と交流しながら生きているかを考える。
- 5) クリスマスツリーやサンタクロース、なまはげや鬼などの造形美術を通して異界を考える。
- 6) 相撲、コマ、凧などと異界との交流史を考える。
- 7) デパートや生活用品に記載された記号、天気図記号、交通標識などの諸記号に込められた意味やメッセージの解釈を通して、いかに記号の世界に生きているかを考える。

[評価方法]

平常点

【授業科目】話言葉の伝承	【担当者】東 喜 望
【開講期】1・2年前期	
【授業目標】ここにいう「伝承」とは、「伝承文化」をさす。この授業では、その中の「伝承文芸」を対象とする。即ち口づてに話言葉によって語り伝えられた話(神話・伝説・昔話など)を対象とする。日本本土と南西諸島・近隣アジアの説話を事例としながら大陸や環太平洋諸地域との関連も積極的に考察する。	
【テキスト】『沖縄・奄美の説話と伝承』(おうふう刊) 他に資料プリントを配布する。スライド等上映。	
【参考書】適宜発表。	
授 業 計 画	
<p><u>講義概要</u></p> <p>1. <u>序</u> (1)わが国をニッポンというのなせか。 (2)国号と環太平洋の太陽神話</p> <p>2. <u>「神話」・「伝説」・「昔話」とは何か。</u></p> <p>3. <u>説話伝承の起源</u> (1)自然と人間の意識 (2)信仰と「語り」—個人・村落(ムラ)レベルから国家レベルへ (3)神話の発展—伝説・昔話へ</p> <p>4. <u>伝承文芸の現代的意義</u></p>	
【評価方法】定期試験時の筆記試験(テキスト・ノート・配布プリント参照可)	

【授業科目】 絵本・絵巻と物語表現	【担当者】 久保木 寿子
【開講期】 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>絵本や絵巻には、絵と物語を同時に鑑賞していくという特徴があります。「見る」ことから生じるイメージと、ことば（語り）が創り出すイメージの〈交響〉が目指される訳です。</p> <p>この授業では、さまざまな絵や絵巻を通じて、「見ること」と「ことば」によるイメージの形成について考え、どのような時に、感動や共感呼び起こす〈交響〉が成り立つのか考えたいと思います。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリント配布</p>	
<p>【参考書】</p> <p>授業時に指示</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>I 次のような物を素材に、絵とことばのさまざまな結合の形・枠組みについて考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 絵巻 源氏物語絵巻・信貴山縁起絵巻・（竹取物語）などを例に 2, 絵解き 「刈萱道心と石童丸」などを例に 3, お伽草子 『鉢かづき』『物くさ太郎』（奈良絵本竹取物語）などを例に 4, 絵本 『スーホの白い馬』『100まんびきのねこ』『あおくとときいろちゃん』『あり』（竹取物語）などを例に 5, 紙芝居 6, アニメーション 高畑・宮崎作品を例に <p>II 上記Iを通して、次のような問題に注目したい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 絵の視座・物語の視座 2, 絵の空間表現・物語の空間表現 3, 絵の時間表現・物語の時間表現 4, 見聞く人の位置と語り手の位置 <p>III 絵とことばの響き合いについて考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 絵によるストーリー性・イメージ喚起の条件について 2, ことばによるストーリー性・イメージ喚起の条件について 2, 絵・ことばの響き合いについて <p>注意：絵本の読み聞かせや語り聞かせのノウハウを、伝授する授業では、ありません。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席と、毎回のメモを重視。それと定期試験時のレポートによる。</p>	

【授業科目】 源氏物語の世界	【担当者】 久保木 寿子
【開講期】 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>日本文化の真髄を表すものとして、源氏物語はいまや世界の人々に読まれている。1000年の昔の作品ながら、現代に通じる問題が豊かに形象されているからであろう。</p> <p>一体、何がこの作品の魅力なのだろうか。絵巻や漫画・ビデオなどを使いながら作品構造を読み解き、制約の多い社会で、<どう生きるか>に苦闘する男女の姿を中心に見ていく。</p> <p>文法の細部にとらわれず、『源氏物語』が、“すごい”ことを知ってほしい。物語のおもしろさを知ることが、古典への第一歩である。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを配布</p>	
<p>【参考書】 大和和紀『あさきゆめみし』 現代語訳源氏物語：瀬戸内寂聴訳など 源氏物語絵巻・アニメその他のビデオ etc</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1, 紫式部とその時代について 何故、紫式部は源氏物語を書いたのだろうか？作者の生涯と人物像を、その歌集と日記によって見ておく。また物語が書かれた時代の特徴にも簡単に触れたい。 2, 全54帖の全体構造を知る。 授業で読み通す訳にはいかないが、そのスケールと主題について、概容を理解したい。 3, 様々な男女の結びつきについて考える。 光源氏は、葵の上と政略結婚・若紫を略奪の上結婚・藤壺（父帝の寵妃）を強姦と、現代社会で言えば、正真正銘の犯罪者である。一夫多妻制のもとで、彼に対した女たちは何を考え、どう生きようとしていたか。 4, 忍従と自立をめぐる問題について考える。 身分差・結婚制度の制約の中で、多くの女たちが忍従し妥協していく。一方、自分らしく生きたいと願う女たちは、苦闘の末破れていく。 ① 明石の君・②紫の上・③浮舟 etc について、それぞれの人物像を探っていく。 5, 権力構造をめぐる問題について考える。 恋愛沙汰に隠されているが、この作品は、光源氏が天皇のようなそうでもないような地位に上り詰めるまでの、予言の謎解きといった要素を持つ。 上り詰めた後の、無惨な光源氏の衰退までを書いてしまったのだが。 人間にとっていったい何が重要なことなのか、考えたい。 6, 物語のリアリティについて考える。 言うまでもなく『源氏物語』は平安時代に作られたフィクションであるが、光源氏を実在の人と思っている人が結構いる。 何故だろうか。作品に、きわめてリアリティがあることも一因であろう 虚構された時代設定、モデルとされる人物、作品の舞台の虚実などについて考える。 7, 源氏物語の笑いについて考える。 8, 物語表現の美しさについて考える。 9, 源氏物語の古代性と現代性について考える。 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席と、毎回のメモを重視。それと定期試験時のレポートによる。</p>	

【授業科目】 近現代の文学	【担当者】 高 原 二 郎
【開講期】	
<p>【授業目標】 文学作品など読むヒマはもと役に立つことないの？ 作家なんてホントはなにしてるんだろ。 文学史なんてのやらされてアタシタメイワクなだけ！ でも基礎知識くらいはシカタナイのもね。 などと、いじ悪くホントで言ってみようではないか。</p>	
【テキスト】 持に指定はしない。	
【参考書】 展開の中で紹介する。	
授 業 計 画	
<p>(概略)</p> <p>上記のように、「文学入門」的な狙いと含んだ作品理解、作家論、課題論、文学史等を扱います。従って、(1) 時々の社会と作品主題の構構意味。(2) 社会に対する作家の姿勢や思想性。この二点とひとまず踏まえた上で下記の課題に発展させてみます。</p> <p>(a) 知識を基としてゆく上での大まかな課題に読み振けてゆく試み。 (b) 作家や作品を時代的・歴史的に位置付けてゆく試み。</p> <p>(具体的な展開)</p> <p>近代日本の開化から太平洋戦争を経ての現代まで、主要な課題を掲げて作家作品を扱います。例えば、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開化と西洋 (鴎外、漱石、荷風、光太郎) 2. 個人・ヒューマンイズム・エコ (漱石、白樺派、龍之介) 3. 愛と人間性 (武部、自然主義-私小説、太宰治) 4. 自然と人間 (独歩、武部、賢治) 5. 社会制度と人間 (労働文学) 6. 伝統と近代 (潤一郎、康成) 7. 科学と人間 (新崎と文学) 8. 疎外と人間 (石牟礼道子) <p>(なお時々の都合では変更、省略もあり得ます)</p> <p>具体的な作品は展開の中で予告しますが、予習読書は強制しません。</p>	
【評価方法】 レポート評価の予定。	

【授業科目】庶民の生活文化	【担当者】高橋徹
【開講期】1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>私たちの親の世代や、祖父祖母の世代の人々は、どのような暮らしをして、どのようなものに感動し、どのような感じ方や考え方をしてきたのでしょうか。この授業では、第二次世界大戦後の日本人の生活の歴史を理解し、また、みなさんが自分自身の生活についても、考えるきっかけを得ることを目的としています。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは使いません。資料を配布する予定です。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業の中で紹介していきますが、とりあえず『暮らしの世相史』（加藤秀俊、中公新書、2002年）をあげておきます。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>生活文化といっても、「衣食住」に限るのではなく、もう少し広く考えていきたいと思っています。例えば、映画や音楽を楽しむことも、私たちの生活の一部でしょう。この、広い意味での生活文化の歴史を理解するために、時代をたどりながら、テーマに沿った、古い映画やドキュメンタリーなどをビデオで見て、それについて議論したり、考えたことを小レポートにまとめたりしながら、授業を進めていく予定です。</p> <p>テーマとしては、次のようなものを予定しています（資料の関係で、変更になることもあります）。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 生活史をつくる (2) 『映像の世紀』で見る 20 世紀の日本 (3) 第二次世界大戦の時代 (4) 戦後復興と闇市 (5) 戦後民主主義と女性 (6) 太陽族と「新しい」若者文化 (7) 家電製品の普及 (8) 高度経済成長時代のサラリーマン (9) 東京オリンピックがもたらしたもの (10) ビートルズ現象 (11) 旅行の時代 (12) 歌謡曲で聴く昭和 	
<p>【評価方法】</p> <p>授業内の小レポート、期末試験をあわせて評価します。</p>	

【授業科目】 現代の文化と風俗	【担当者】 先川 直子
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>わが国の文化や風俗には、若者たちがその中心的な役割を担ったものが少なくない。特に、昭和30年代の高度成長期以降は、生活が豊かになるとともに、消費とマスメディアに結びついた若者文化が誕生し、若者たちが風俗やファッションを創り出していくようになった。</p> <p>本講義では、その中でも特に若い女性たちが主導権を持って関わったものに焦点を当てて、時代を追いながら見ていき、現在直面している問題点についても考える。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用しない。必要に応じてプリント資料を配付する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>佐々井啓・篠原聡子・飯田文子編著『生活文化論』（朝倉書店）</p> <p>小池三枝・柴田美恵『日本生活文化史—近現代の移り変わり—』（光生館）他</p>	
授 業 計 画	
<p>時代順に次のようなテーマを設定し、各テーマについて順次講義をおこなう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ハイカラさん—洋風の導入と和風との折衷— 2. モダンガール 3. あこがれのアメリカ文化—自由で豊かな生活の象徴— 4. 昭和30年代の生活文化革新 <ul style="list-style-type: none"> 団地の誕生と核家族の増加 家庭裁縫から既製服へ 3種の神器と3C—家電製品の普及— インスタント食品の登場 5. 女性の高学歴化と女子学生亡国論 6. 「若者」がつくる新しい文化 <ul style="list-style-type: none"> ミニスカート—街角から生まれた若者のファッション— ジーンズ—労働着から反抗・反体制のシンボルへ— 新人類文化とDCファッション ディスコ文化とボディコン・ギャル コギャル文化と携帯電話の普及 7. 大量生産・大量消費への反省—「もの」とどう向き合うか— 8. 高度情報化社会のもたらしたものと問題点 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末の試験・授業時の課題レポート類・出席状況・授業態度などによる総合評価</p>	

【授業科目】現代英米の文学	【担当者】中島好伸
【開講期】1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>19世紀から20世紀にかけてのイギリス、アメリカの代表的な小説を紹介し、作品の歴史的背景や文化的情報を取り込みながら、作品の解釈を試みる。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを使用</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業内で紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>イギリスの小説を6作品、アメリカの小説を6作品、1講義に1作品ずつ取り上げていく。それぞれの講義は、まずは時代背景、そしてその時代の文学的特徴、作家紹介、作品紹介、さらに、作品の解釈へと進めていく。文学作品は読まなければ意味がないので、できるだけ多くの作品を読んでほしい。少なくとも、最後にレポートを書くために、イギリスの作品を一作品、アメリカの作品を一作品、合計2作品は読むこと。次の順番で講義していく。</p> <p>イギリス第1回 J.K.ローリング『ハリー・ポッター』シリーズ イギリス第2回 エミリー・ブロンテ『嵐が丘』 イギリス第3回 トーマス・ハーディ『テス』 イギリス第4回 オスカー・ワイルド『ドリアン・グレイの肖像』 イギリス第5回 D.H. ロレンス『チャタレイ夫人の恋人』 イギリス第6回 サマセット・モーム『お菓子とビール』 アメリカ第1回 ナサニエル・ホーソン『緋文字』 アメリカ第2回 マーク・トウェイン『ハックルベリー・フィンの冒険』 アメリカ第3回 セオドア・ドライサー『シスター・キャリー』 アメリカ第4回 F.スコット・フィッツジェラルド『グレート・ギャッツビー』 アメリカ第5回 ウィリアム・フォークナー『八月の光』 アメリカ第6回 アリス・ウォーカー『カラー・パープル』</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席点とレポートで評価する。</p>	

【授業科目】 世界の児童文学	【担当者】 瀧口 優
【開講期】 1 年 後期：教養教育・教養科（現代教養）	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 世界の児童文学を紹介しながらその思想を学ぶ。 2. 子ども観を豊かに育てる。 	
<p>【テキスト】</p> <p>「児童文学を英語で読む」（岩波ジュニア新書）</p>	
<p>【参考書】</p> <p>「英米児童文学の系譜」こびあん書房</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 世界の児童文学を国別にとりあげ、歴史や発展をとらえる。 2. 世界の児童文学を国別、作品別に紹介し、その一部をいっしょに読んでいく。 3. 関連する作品を読んだり、映像によって理解を深める。 4. なぜ児童文学が多く読まれるのかを考えていく。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 「アラビアンナイト：アラジン」（アラビア） 2) 「秘密の花園」（イギリス） 3) 「オズの魔法使い」（アメリカ） 4) 「あしながおじさん」（アメリカ） 5) 「モモ」（ドイツ） 	
<p>【評価方法】</p> <p>ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行うことを原則とするが、必要に応じてテストを行う。</p>	

【授業科目】比較文化論・近代文明と日本人

【担当者】高原二郎

【開講期】1年後期

【授業目標】

私たちがものごとを考えたり判断したりするときの拠りどころ、物差し、尺度。日常生活をとり囲み、私たちの見方や考え方や生き方を、いつの間にか左右する大きな枠組み。つまりは皆さん一人ひとりが、それへ向けて衝き当り、悩み、そして切り拓いてゆくよりない「価値観」といったもの。その「価値観の在りよう」について、各自が自己衝突を開始することを以て授業の目標とします。

【テキスト】

用いません。

【参考書】

展開の中で示します。読書は義務としません。

授 業 計 画

(概要)

- ・授業の視点は、文学に関わる立場から、とします。
- ・日本の近代化、それに伴う価値観の衝突や混乱や、さらには科学技術に支えられる今の社会をどのように考えるかなど、下記の項目を目安に展開します。一緒に考えてゆきましょう。なお「ヒューマニズム」については、特にしっかりと考えましょう。

(内容)

1. 日本の近代化と西洋
 - (1) 文明の先進と後発
 - (2) 新旧混乱期の実情
 - (3) キリスト教、儒教、武士道
 - (4) 文学者の西欧体験
2. 近代的な考え方へのアプローチ
 - (1) 個人、人格、エゴ
 - (2) 愛、ヒューマニズム、慈悲、仁
3. 自然と人間と近代
 - (1) 西洋の自然
 - (2) 東洋の自然
 - (3) 日本の自然
 - (4) 自然と人間へのヒント
4. 自然科学と人間
 - (1) 自然科学をどのように考えるか
 - (2) 自然科学と制度
 - (3) 「科学者らしくあること」と「人間らしくあること」
 - (4) 戦争
5. 現代社会と人間疎外 —水俣病をめぐって—

ノートは、問題点を中心に要点をメモできるよう、板書を活用します。

【評価方法】

各自が最低一つ、何らかの自己衝突をつかまえてレポート。授業出席を大切にするとともに、思考のひらめきをも大いに期待します。

【授業科目】国境を越える民俗学	【担当者】東 喜 望
【開講期】1・2年前期	
【授業目標】古来、社会の基底を支えてきたのは名もなき民衆である。かつて、彼らの多くは文字を知らず、その生活に必要な技術や文化を口づてに肉体を通して伝えてきた。この授業では古来、民衆が大切に守り伝えてきた生活の基層の文化や民衆の精神のあり様、生活の実態などを対象にして考察を進める。特に、既に実地踏査した中国や東南アジアの島々・日本の「国境を越えて、生きた人々の生活を重視したい。	
【テキスト】民俗事例の資料として『沖縄・奄美の説話』(おらふう刊)を使用。	

【参考書】適宜指示する。映像資料(スライド・ビデオ・グラフィア)を使用。	
授 業 計 画	
<u>講義概要</u>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 「伝承」「民俗」とは何か。 2. 西欧民俗学・日本民俗学の発生と展開 3. 人類の知恵と技術と生活文化(食・住・衣) 4. 国境なき人々の原初の暮らし(非定住の生活) <ol style="list-style-type: none"> (1) 山人—日本の山人(マタギ・サンカなど)・ユーラシア大陸の遊牧民・アジアの狩猟民(中国・台湾・東南アジア) (2) 海人—日本の海人と家船・アジアの海人(中国の蛋民・東南アジアの漂海民など) 5. 原初の定住生活—日本、アジアにおける焼畑農耕から稲作農耕へ。 6. ムラの形成とその基本構造 7. 村落祭祀と通過儀礼 8. 民俗社会をつなぐ「^ち結い」 	
【評価方法】定期試験時の筆記試験(テキスト・ノート・配プリント参照可)。	

【授業科目】 現代社会と人権	【担当者】 武藤 健一
【開講期】 1年 後期 木曜日 1時限	
<p>【授業目標】</p> <p>1年半後に、主に女性である皆さんが実際に社会に出て行って、自分が女性であることから遭遇するかもしれない事柄・問題について検討し、自分の今後のこと・将来のことを考えるきっかけを得られるようにすることを目的とします。</p>	
<p>【テキスト】 レジューメ配布</p>	
<p>【参考書】 伊田広行「シングル単位の恋愛・家族論」(世界思想社)、山田昌弘「パラサイト・シングルの時代」(ちくま新書)、伊田広行「シングル単位の社会論」(世界思想社)、福島瑞穂「結婚と家族」(岩波新書)、落合恵美子「21世紀家族へ」(有斐閣選書)</p>	
授 業 計 画	
<p>現代の日本社会で女性がどのような状況におかれているかを理解するために、女性労働と恋愛・結婚・家族について、様々な統計的資料やその分野に関わる法律の内容を検討し、現代社会における女性の人権の有様を明らかにしたいと思います。</p> <p>具体的には労働では、① M字型雇用 ② セクシュアル=ハラスメント ③ 派遣労働 ④ 育児・介助休暇 ⑤ パート労働</p> <p>恋愛・結婚では、⑥ 恋愛観・結婚観 ⑦ 結婚 ⑧ 家事・育児 ⑨ 夫・恋人の暴力(DV) ⑩ 子どもの虐待 ⑪ 離婚</p> <p>という11項目の中からいくつかを取り上げていきたいと考えています。</p> <p>注1) 受講者数によってですが、講義・ディスカッション等のどの形式になるかを受講者と相談して決めたいと思います。</p> <p>2) 一方的なつまらない授業にはしたくないので、学生の皆さんの積極的な授業参加を願っています。</p> <p>3) 飲食など、授業や他の人の迷惑にならない事は、自由にしてもらって構いませんが、おしゃべり・遅刻(15分過ぎ)などは絶対に許されません。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席・平常点を重視し、試験点を加える形で成績をつけます。</p> <p>出席点：学期末試験＝2：1</p>	

【授業科目】 憲法と私たち	【担当者】 武藤 健一
【開講期】 1年前期 木曜日 1・2時限	
<p>【授業目標】</p> <p>日本国憲法の人権規定の解釈論を中心にしながらも、実際の社会で人権がいかに保障されているかという点を踏まえ、労働に関する諸権利と私的生活における権利を重視する「ジェンダー憲法学」としての人権論を展開する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p style="text-align: center;">レジュメ配布</p>	
<p>【参考書】</p> <p style="text-align: center;">特に必要なものはないので、必要な時に紹介したいと思います。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1 人権原理 ～まずは、人権全体に関わる様々な原理・原則を検討する。</p> <p>(1) 人権保障の類型 (2) 人権の享有主体 (3) 「公共の福祉」と二重の基準論 (4) 人権規定の効力 (5) 平等</p> <p>2 基本的人権 ～人権類型論を基礎として人権規定を分類して検討する。</p> <p>① 包括的人権 ② 精神的自由 ③ 経済的自由 ④ 社会権等 ⑤ 刑事手続き ⑥ 受益権 ⑦ 参政権 ⑧ 前提的権利 ⑨ 義務 ⑩ 人権のまとめと人権体系論</p> <p>なお、1・2で述べた項目に対して、以下の3・4の様な追加・修正があります。</p> <p>3 裁判・社会問題</p> <p>(1) 女性労働 (2) 家族の多様化 (3) 教科書検定 (4) 婚外子差別 (5) 環境権訴訟 (6) 死刑廃止 (7) 夫婦別姓 (8) セクシュアル=ハラスメント</p> <p>4 ジェンダー憲法学による修正</p> <p>① 公的領域と私的領域の二元構造 ② 家族単位と個人単位 ③ 近代家族論 ④ 労働権の重視 ⑤ ジェンダー論・フェミニズムとの遭遇 ⑥ 性的自己決定権 ⑦ 子どもの人権 ⑧ ポジティブ=アクション ⑨ 社会保障と家事・育児の社会化</p> <p>* 注1) 半年で上記の項目をすべて扱えることはありえないので、その中からいくつか扱うこととなります。</p> <p>2) 授業の支障となること以外は何をやっても構いませんが、お喋りや10・15分以上の遅刻などはまったく許されません。また、積極的な授業参加を望みます。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>ペーパー試験より、授業参加(レスポンス=シート)を重視します。</p> <p>出席点：学期末試験=2：1</p>	

【授業科目】日本とアジアの近現代史	【担当者】佐藤いづみ
【開講期】1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>近代日本は、その歩みを始めたときからアジアとの大きなかかわりを持っていました。この授業では、アジアに向けた日本のまなざしに焦点を当てて、日本とアジアの近現代史を学びます。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用しません。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業中に紹介します。</p>	
授 業 計 画	
<p>次の内容で授業を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 高杉晋作が見た太平天国運動下の上海・・・明治維新を醸成した植民地化への危機感 * 「征韓論」と台湾出兵・・・誕生したばかりの維新政府は、なぜ初めから対外膨張政策を採ったのか。 * 福沢諭吉の「脱亜論」・・・「脱亜論」で展開した福沢の中国観、朝鮮観とともに、台湾論に注目。 * 潘佩珠の『ヴェトナム亡国史』・・・日露戦争がベトナムとビルマに広げた波紋とその行方。 * 3.1 独立運動と関東大震災の事件・・・朝鮮植民地化と朝鮮人に向けられた市井の人々の暴力。 * 満州帝国の建設・・・大陸へ渡った青年、花嫁、家族。そして土地を奪われ「匪賊」と呼ばれた中国の人々。 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末に、レポートを提出してもらいます。</p>	

【授業科目】 現代社会と教育	【担当者】 民 叙 言
【開講期】 前期	
【授業目標】 現代社会は、多様な相をみせ、大きく変化してきている。その なかで私たちは生活する、充実した毎日を送るためには「教育」は欠か せない。本講では幼児教育(保育)に限定し、社会との切りかわりを考えていく。	
【テキスト】 平成14年版 ハンドブック 教育・保育・福祉関係法令集 北大路書房	
【参考書】 講義の中で必要に応じて指示する	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間にとって「教育」はどのような意味をもつか 2. 乳幼児期の「教育」としての保育の意味 3. 現代社会の特徴 (1) 家族生活 4. 同 上 (2) 地域生活 5. 現代社会における保育の意味 (1) 幼稚園 6. 同 上 (2) 保育所 7. 同 上 (3) 学童保育所 8. 現代社会における「教育」 (1) 福祉と教育 9. 同 上 (2) 国際化と教育 	
【評価方法】 ペーパーテストと出席点による	

【授業科目】社会福祉の考え方	【担当者】山路憲夫
【開講期】1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>社会福祉とはなにか。ここでは広義の社会福祉を考えたい。広義の社会福祉とは、公共政策一般、社会政策、狭義の社会福祉(私的社会事業、公的社会事業)が含まれる。最近の社会福祉は多様化、複合化する一方だ。利用者の立場からとらえ直すという意味でも、広義の社会問題対策として幅広くとらえ、それぞれ制度を理解すると共に、各領域の関連を明らかにしたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>「日本の社会保障」(広井良典、岩波新書)</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<ul style="list-style-type: none"> I 広義の社会福祉とはなにか <ul style="list-style-type: none"> - 社会福祉、社会保障、社会政策の特徴と関連性 II 社会福祉の成立の背景 III 社会福祉の各制度の現状と問題点 <ul style="list-style-type: none"> - 公的年金制度、医療保険、公的介護保険、生活保護、社会福祉制度 IV 21世紀の課題 <ul style="list-style-type: none"> - 少子高齢化と負担と給付の現代的問題 V まとめ 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席と試験(持ち込み可)</p>	

【授業科目】男と女・ジェンダーを考える	【担当者】富永静枝
【開講期】1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>ジェンダー概念を理解し、これまでの社会制度や性別役割意識の問題点をジェンダー視点からとらえなおし、男女共同参画社会に向けての新しい社会システムのあり方や男女の関係性をさぐり、「男らしさ」「女らしさ」の呪縛から開放される態度を養成する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは使用しない。必要に応じて授業時に資料プリントを配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業時に随時紹介する</p>	
授 業 計 画	
<p>今日、家族や女性を取り巻く社会的状況は大きく変化した。男女共同参画社会が志向され、男女雇用機会均等法の改正や介護・育児休業法の実施など平等に向けての法的整備は進んだが、実生活の上では多くの問題を残している。不況下での女子学生の就職は厳しく、結婚後も家事・育児と職業の両立に悩むなど、女性が能力を発揮して、一人の人間として自立して主体的に生きることは困難な状況にあり、男性もまた厳しい労働環境の中で豊かな家族関係を築くことは難しい状況にある。そこでこの授業では人生のパートナーである男性と女性が、ともに人間らしく豊かに生きるためにはどうしたら良いか、これからの望ましい男女のあり方や、社会システムのあり方について学ぶ。授業方法は講義だけでなく、ビデオや新聞記事情報なども活用し、意見発表や討論なども加えて行います。</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、 ジェンダーとはー性別役割分業とその問題点ー 2、 女性のライフサイクルの変化 3、 ジェンダー統計に見る現状と課題 4、 労働とジェンダー 5、 福祉とジェンダー 6、 女性と人権ードメスティックバイオレンスー 7、 男女平等をめざす世界の運動と日本の動き 	
<p>【評価方法】</p> <p>筆記試験(ノート、授業中の配布資料など参照可)、平常時の提出物、出席状況の総合評価。</p>	

【授業科目】現代世界とマイノリティー	【担当者】中島好伸
【開講期】1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>世界のマイノリティ（少数民族集団）がどのような歴史の元、現在のような分布になってきたのか、その歴史的背景を理解し、マイノリティが絡む民族紛争を概観する。さらに、マイノリティが複雑に絡み合うアメリカ合衆国の状況を見て、マイノリティ問題を考える。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを使用する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要に応じて紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>現在、世界のいたるところで紛争が行われている。その原因には、多くの場合、19世紀のヨーロッパの大国が勝手に国境線を引いたために分断された民族が関係している。パレスチナ問題、コソボ紛争、アフガニスタン問題、という言葉聞いたことがあるだろう。この背景には、少数に分断された民族（マイノリティ）が深く関わる。このような世界の状況を、まずは概観する。さらに、多民族国家といわれるアメリカは、世界の警察と自称しながら、自国の中にマイノリティ問題を多く抱えている。ネイティブ・アメリカンや（インディアン）やアフロ・アメリカン（黒人）は特に有名である。このようなアメリカ国内のマイノリティ問題を、それぞれの集団に即してみよう。授業は次のような順に講義していく。</p> <p>マイノリティとは 帝国主義と植民地の遺産 民族紛争 人種の坩堝からサラダボール理論へ：アメリカのマイノリティ アメリカ黒人の歴史 ネイティブ・アメリカン ユダヤ人</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席点とレポートにより評価する。</p>	

【授業科目】女性労働の問題	【担当者】富永静枝
【開講期】1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>これからの社会は男女が互いに支え合いながら、ともに職業生活と家庭生活を両立させ、ともに自立して生きることが求められる。受講生たちが伝統的な性別役割分業意識から解放され、職業生活と家庭生活の両立をめざす努力をすることを期待したい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは使用しない。必要に応じて授業時に資料(プリント)を配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業時に随時紹介する</p>	
授 業 計 画	
<p>男女雇用機会均等法の改正や育児・介護休業法の施行などにより、近年女性の労働環境は大きく変化した。女性が自立して生きるためには経済的自立は不可欠である。しかしまだまだ出産・育児や介護のために退職を余儀なくされる女性は多く、仕事と家庭の両立は困難な状況にある。本講では、働く女性たちが抱える問題点を明らかにし、問題解決への方向性を探る。</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、 近代日本における女性労働の歩み 2、 女性労働の現状と課題 3、 女性労働と法 4、 女性労働の国際比較 5、 家事・育児・介護と女性労働 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末のレポート、平常時の提出物、出席状況の総合評価</p>	

【授業科目】 地域生活と家族	【担当者】 民秋 言
【開講期】 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>私々人間は、たいてい、家族という集団に所属し、その一員として生活する。つまり、そのなかに生まれ出、育てられ、生活し、老年を送る。この家族は地域のなかにある。地域のあり方と大きく関わっている。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>講義の中で必要に応じて指示する</p>	
<p>【参考書】</p> <p>同 上</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間にとって家族とは何か 2. 家族のはたらき(機能) 3. 家族のなかに人間関係 (1) 夫婦関係 4. 同 上 (2) 親子関係 5. 同 上 (3) 近しい関係 6. 日本の家族の特徴 (1) 「イエ」の制度 7. 同 上 (2) 核家族と直系家族 8. 地域社会の変化・都市化 9. 地域のなかに生活・コミュニティ 10. 地域生活と家族のあり方 	
<p>【評価方法】</p> <p>ペーパーテストと出席点による</p>	

現代保育教養コース
専門科目（1年）

【授業科目】 基礎ゼミナール	【担当者】 村田(保)・富永・久保木
【開講期】 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>現代保育教養コースの基軸になる科目である。 幼児を巡る様々な問題や「教育とは」と言った根本的な問題などを、 具体例に即して考えながら、幼児教育の実践者としての自覚を高める。 また、テーマ別に3つのゼミナールが開かれるので、自分の問題意識に 近いゼミに所属して、2年間の研究のベースを作る。</p>	
【テキスト】	
----- 【参考書】	
授 業 計 画	
<p>コース全体の合同授業と、各ゼミごとの学習を組み合わせて展開する。 各ゼミナールでは、それぞれのテーマに沿って（あるいはテーマを決めながら）、 研究に対する基本的な態勢を作っていく。 いずれの場合も、幼児が置かれている現状に広く目を向け、子どもの育ちの問題を ダイナミックに捉えることの重要性を学ぶことになろう。 少人数の良さを生かして、積極的に調査や討論を進めてほしい。 運営を含めて、ゼミを作るのはあなた達である。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席・平常点・レポート</p>	

【授業科目】 日本語の表現	【担当者】 東喜望 ・ 久保木寿子
【開講期】 1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>《東》 ことばによる表現は、人間にとって最も大切な活動である。 この授業では、ことばによる表現の大切さと、殊に書きことばによる表現の基本および技法を学ぶ。</p> <p>《久保木》 私たちは通常あまり意識をせずに、日本語で考え日本語で表現をしています。 この授業では、あらためて日本語の特徴について意識化し、「正確でわかりやすい日本語表現とは？」という問題について考えます。特に、文章を「書く」ことを通じて、実地にこの課題に答えることを目指します。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>《東》用いない。講義資料を配布する。 《久保木》適宜、プリントを配布</p>	
<p>【参考書】</p> <p>《東》適宜指示する。</p>	
授 業 計 画	
<p>《東》 授業は講義と実作（制作）を併用してすすめる。講義と制作のジャンル・実習は下記のとおり。 提出された作品は添削して返す。文集を作製する。</p> <p>Ⅰ 講義</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ことばの働き 2. 文章表現の基本 3. 文章の構造 4. 文章のスタイルとジャンル <p>Ⅱ 制作</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. エッセー 2. 評論 3. 文芸（詩・コントなど） 4. 文集作製 5. 校正実習 <p>《久保木》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 表現とは？ さまざまな表現行為の特徴について考え、理解する。 2. わかりやすい表現とは？ いろいろな事例を基に、わかりやすい文章を書いてみる。 3. 日本語の特徴を理解し、わかりやすい文章を書いてみる。 4. 文章の構成について考え、いろいろな文章を書いてみる。 ・ 調査・観察したことを、簡潔にまとめる。 ・ 自分の考え・意見を、明瞭に書く。 ・ 書式に沿って、報告文や手紙文を書く。 	
<p>【評価方法】</p> <p>《東》出席と作品の提出を重視する。 評価は授業への参加の度合いと提出作品による。（小テストを行う場合もある。）</p> <p>《久保木》出席・提出物</p>	

【授業科目】 情報科学（情報処理入門）	【担当者】 宮武 直樹
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>教養科の学生を対象に、やさしい情報科学として情報科学に関する基礎知識を習得させることと、実際にコンピュータを作動させることによって、情報科学をより一層理解させるための講義である。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>随時プリントを配布する。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>参考文献を授業で紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>(1) 情報科学とは新しい学問で、まだ十分に体系化されているとはいえない。情報科学の生い立ちを見ると、コンピュータの出現と期を同じくしていることから、コンピュータとは大いに関係があると考えられる。しかし、情報科学が即コンピュータ科学であるというのは正しくない。情報科学に関する基礎知識を論じたい。</p> <p>(2) 情報処理実習について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータの構成と操作方法 2. 日本語ワープロ、Wordの基本操作（3級程度の文書作成） 3. 表や罫線を使う文書作成（2級程度の文書作成） 4. 図形や段組を使う文書作成（1級程度の文書作成） 5. 表計算機能の使い方 6. 作図機能の使い方 7. 表計算ソフト、Excelの基本操作 8. 成績表の作成 9. 各種の成績グラフの作成 10. 成績に関するデータベースの作成 11. 学内ネットワークへの接続と電子メールにつ 12. 電子メールの送受信 13. 簡単なホームページの作成 14. まとめ 	
<p>【評価方法】</p> <p>授業中での課題提出、電子メールによるレポート提出及び出席状況によって判断する。</p>	

【授業科目】ゼミナール I	【担当者】 本学専任教員
【開講期】 1年 後期	
【授業テーマ】 各グループ共通テーマ：人間尊重の理解と実践	
<p>【授業目標】</p> <p>今日、地域環境、異文化理解、地域紛争、男女の共同参画といった人類共通の課題や、都市化、少子・高齢化と福祉、こころの崩壊、家庭のあり方、自然破壊など我が国の社会全体に関わる課題が生じている。こうした状況の中で、これから生きる子どもたちにとって、また子どもたちにかかわる保育者の資質として、「人間尊重」の考え方が重要である。ゼミナール I では、「人間尊重の理解とその実践」に関する基礎的事項について追究する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. さまざまな視点から、教育・保育・福祉が直面している今日的課題を取り上げて、これらに関連する人間尊重の考え方について理解する。 2. 人間尊重にかかわる保育内容について理解させるとともに、その内容をどのようにして子どもたちに伝えていくかという実践に関する基礎的事項について理解する。 	
<p>【授業形態】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 複数のグループに分かれて、担当する教員の専門性を生かしつつ、さまざまな観点から授業テーマに取り組む。 2. 授業は、少人数による演習形式でおこなう。 3. 文献講読やVTR視聴、実地見学などをもとに、話し合いをおこなう。 4. 各グループからの発表の場を設け、学習成果の共通化を図る。 	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 文献講読やVTR視聴などを通して、教育・保育・福祉が直面している今日的課題の概要について理解する。 2. 実地見学や観察、調査などの体験学習により理解を深める。 3. 教育・保育・福祉が直面する課題が人間尊重の考え方と、どのように関わっているかについて検討する。 4. 人間尊重に関わる保育内容について調べる。 5. 人間尊重に関わる保育内容の指導法について考える。 	
<p>【評価方法】</p> <p>学習意欲、レポート、小テスト、作品、実技など</p>	

【授業科目】 保育内容 指導法演習

【担当者】 村田和子 藤井富貴子

【開講期】 1年 後期

【授業目標】

1. 多様化している幼児教育において、人を育てることの本質と白梅幼稚園の実習を通じ学ぶ。
2. 実習での体験を生かして、話し合いレポート 討議等により確かなものへしていき、現場での保育を生かす。

【テキスト】

【参考書】「幼児教育の計画」「根を育てる思想」久保田浩(誠文堂新光社)両方共絶版のため抜粋する。

授 業 計 画

- 1 白梅の教育について知る。
2. 生活の中での自立
- 3 あそびの重要性
 - ・年齢による遊びのとり方や保育者の働きかけ
4. 総合的活動とは。
5. 上記のことをふまえて 子ども同士の関わり方について学ぶ
6. 子ども理解と保育者の関わり方について
7. カリキュラムを立って実践する。(2年前期)
 - ・カリキュラムの立て方、考え方を知る。

【評価方法】

レポート
(授業の中でする)

【授業科目】	現場で学ぶ幼児教育	【担当者】	村田保・富永・久保木
【開講期】	後期 火・木（時間割外）		
【授業目標】	<p>幼稚園実習を、長期（9週）に渡り週1回（終日）行うことにより、継続的に幼児の成長変化を追い、観察記録を通じて学習を深める。また保育者の動きを実見し、対応の仕方について学ぶ。</p> <p>「保育内容 指導法演習」の授業と接続することにより、実習時の体験や問題点を整理し、それに対する具体的な対応の方法を学ぶ。</p>		
【テキスト】	『実習ガイドブック』『実習日誌』ほか		
【参考書】			
授 業 計 画			
<p>・第1期実習に引き続き、後期に、第2期実習・第3期実習として行う。 詳しい日程は、「しらうめの実習」を参照すること。</p> <p>*第2期実習（10月・11月・12月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2期実習では、見学・観察実習を長期間にわたって行う。子どもの成長・変化に気を付けたい。 火曜日実習・木曜日実習の2グループに分かれ、それぞれの曜日に実習園に行き、園のプログラムに従い、実習する。 実習の事前指導を受け、実習の目的を理解すること。 実習後は、実習日誌を基に事後指導を受ける。 <p>*第3期実習（2月）</p> <ul style="list-style-type: none"> 観察実習から、初歩的な「参加実習」に入る。 絵本・紙芝居の読み聞かせ等を行う。 実習の事前指導を受け、実習の目的を理解すること。 実習後は、実習日誌を基に事後指導を受ける。 			
【評価方法】	出欠席・実習態度・実習日誌・事前事後指導・学内反省会などを総合して評価する。		

現代教養コース専門科目（1年）

【授業科目】 ゼミナールⅠ	【担当者】 平賀明彦
【開講期】 1年前・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>前期は歴史を専門的に学習していくための入門として、歴史学とは何かについて考えていく。その上で後期は、自分の関心のあるテーマについて、専門的に調べ、検討していくためにはどのように文献にあたり、史料を読み下していくかを実際に試みながら、問題関心を掘り下げていく。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>ゼミのメンバーが決まってから相談して決める。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>テーマに沿って、その都度紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>まずは興味を持っている時代や出来事について、皆で出し合い、歴史のおもしろさについて話しあっていく。同時に歴史の研究法についても少しずつ学習していくが、そのためには、史料が収集され、展示されている資料館などの見学なども逐次行っていく。</p> <p>後期に向けては、皆でまとまった歴史の本を読み合い、問題点を出し合い議論する中で、一人一人が問題関心を深め、テーマを見つけだせるようにしていく。</p> <p>次のような柱立てを考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇興味ある時代、出来事は？そしてそれは何故？ ◇歴史と歴史小説－三国志の世界を読み解く ◇時代小説に見る歴史観－司馬遼太郎、池波正太郎、藤沢周平の世界に通じるもの ◇日本近代史を見つめる眼－歴史的に見るということ ◇ローアングルから歴史を見る－民衆世界、とりわけ下層社会を視座に据えると ◇時代の基本は何か？－経済のしくみに注目すること ◇政治のしくみを理解する－時代と法制度、政治制度との関係 ◇人々の考えや文化の特徴は－時代と人々の生き方との関係 ◇史料とは？史料批判とは？－歴史研究の基礎 ◇近代に関するまとまった文献を読もう－分担して報告を ◇自分の問題意識を研ぎ澄まそう－歴史と現代の関係 	
<p>【評価方法】</p> <p>ゼミ中の報告や小レポートによって評価する</p>	

【授業科目】ゼミナールⅠ	【担当者】中島好伸
【開講期】1年前・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>アメリカを、白人男性の側から見るのではなく、ネイティブ・アメリカンやアフロ・アメリカンなどのマイノリティ集団、また女性の側から捉えなおす。自分の意見を説得力を持って発表する技能を身につけ、また、さまざまな意見を聞き議論することによって、一人一人の思考、発想法を高めていく。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用しない。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要なときに紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>まずは、アメリカ合衆国の基礎情報（地理、歴史）から学習しよう。その上で、ゼミナールの中心課題をアメリカの歴史と文学にすえていく。アメリカの歴史と文学は、白人、男性の視点から捕らえられている。それを、征服されていったネイティブ・アメリカンや差別されてきたアフロ・アメリカン、さらに女性の視点から眺めたときにどう見えるだろうか。このような観点に立って、ゼミ生一人一人の担当分野を決めて、順番に報告してもらい、全員で討論しながら、アメリカ学を高めていく。2001年の9・11以降、アメリカは強烈なナショナリズムに傾いているが、このようなアメリカをどう見るだろうか。またアメリカは世界中の紛争に関係しているが、アメリカを知ることによって、世界、人類の未来を考える鍵としたい。アメリカに関する新聞記事を集めよう。そして、アメリカに関する歴史書、文学作品を大量に読み込もう。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>ゼミ内発表と平常点で評価する。</p>	

【授業科目】現場で見る文芸	【担当者】東 喜 望
【開講期】1年後期	
<p>【授業目標】「百聞は一見に如かず」という言葉がある。この授業では、文芸や文芸家にかかわる現地と遺跡を実際に訪ね、そこに残されたものをまず調査・記録し、文芸家の芸術活動とその人生を探っていく。</p> <p>東京には文人・墨客のたくさんの遺跡があるが、探訪地は大学周辺の武蔵野とする。下記参照。</p>	
【テキスト】資料を西配布する。	
【参考書】適宜紹介する。	
授 業 計 画	
<p>授業は次の三領域で構成する。Ⅲの「野外調査」は受講者と相談の上、探訪地を決定する。交通費等は自己負担。</p>	
<p><u>I. 調査準備</u></p>	
<p>(1) 野外調査(Field Work)の仕方</p>	
<p>(2) 調査記録の仕方</p>	
<p><u>II. 文献調査と予備調査</u></p>	
<p>(1) 関係資料の収集と検討 (2) 調査地の選定</p>	
<p><u>Ⅲ. 野外調査</u> —— 次のうち数か所を選ぶ。</p>	
<p>(1) 国分寺跡周辺 —— ハケの泉・小町の池・僧寺跡・尼寺跡・万葉園・資料館</p>	
<p>(2) 玉川上水・三鷹周辺 —— 岡本田独歩詩碑・太宰治入水跡・太宰の墓・山本有三記念館・シブリ・森鷗外の碑・墓、三木露風墓＝大盛寺別院など。</p>	
<p>(3) 小金井・境周辺 —— 独歩桜橋碑・下村湖人歌碑・浴恩館・上林暁「聖ヨハネ病院にて」(舞台)・多摩墓地など。</p>	
<p>(4) 京王線周辺 —— 徳富芦花旧宅(恒春園)・武者小路実篤旧宅など。</p>	
<p>(5) 立川周辺 —— 若山牧水歌碑・北川冬彦詩碑など。</p>	
<p>【評価方法】(1) 評価は授業への参加と提出物によって出す。</p>	
<p>(2) 調査記録を提出させる。これによって「調査報告書」を作成する。</p>	
<p>(3) 講義と野外調査への出席を重視する。</p>	

【授業科目】 歴史・民俗遺跡を歩く

【担当者】 平賀明彦

【開講期】 1年後期

【授業目標】

今期は考古・歴史を中心に遺跡探索をする。過去の歴史的事実を物語ってくれる遺跡・遺物と接点を持つことは、歴史の学習にとってとても重要。事前学習によって基礎知識を得て、時代がつけられた現場に立ってみると、時代の息吹がよみがえってくる。是非、それを実感して欲しい。また、近現代の新しい歴史の場合は、そのころを同時代として生きた人々が、歴史そのものを再現してくれる。そういった経験を通じて、歴史像を豊かにすることを旨とする。

【テキスト】

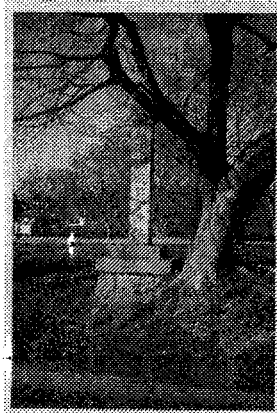
とくに定めない。

【参考書】

『歴史散歩事典』山川出版社、など多数あるのでその都度紹介する。

授 業 計 画

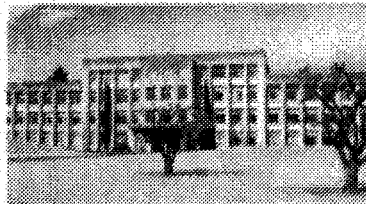
まずは身近な考古・歴史遺跡を訪れることから始めよう。そのためには、その遺跡と、その時代についての基礎知識を習得すること。そして、実際に現場を歩くための最低限の準備とマナーについて知っておくことが必要。以下のような探訪地を考えているが、でかける前に、事前準備の時間を設定する。



◇鈴木遺跡（小平市鈴木町）－石神井川の源流に沿った広い地域にわたる旧石器時代遺跡。約3万年前～1万3千年前までの生活の痕が残る関東地域を代表する旧石器遺跡。近くに遺跡資料館があり、磨製石斧などの遺物を見ることができる。

◇恋ヶ窪遺跡（国分寺市西恋ヶ窪町）－いわゆる「国分寺崖線」に沿って分布する遺跡の一つで、縄文時代中期の集落遺跡。装飾品や調理用具が出土し、国分寺市文化財資料展示室で見ることができる。

◇武蔵国分寺跡（国分寺市西元町）－741年（天平13年）聖武天皇の詔によって建立された国分寺・国分尼寺の跡。武蔵野国府にほど近い地に建てられ東大寺式に準じた伽藍配置。屋根瓦などが上記展示室に陳列されている。ここを起点に万葉植物園、お鷹の道、真姿の池、旧鎌倉街道などを迎える歴史散策の道がある。



歴史の面影を残す！ICU本館

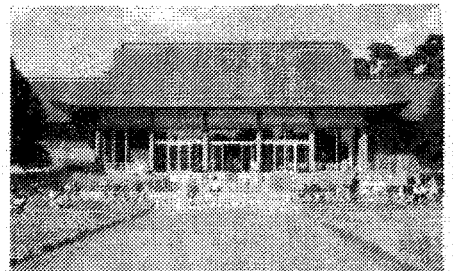
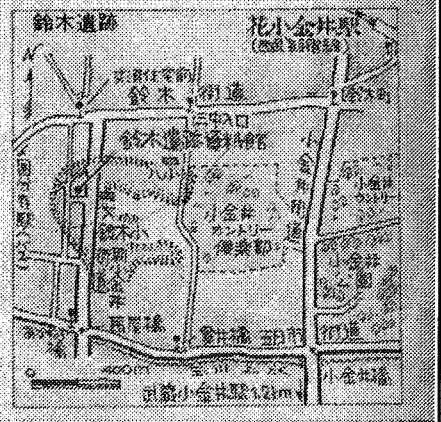
◇光華殿（小金井市・小金井公園）－現在「江戸・東京博物館分館」の正面入り口、ビジターセンターとして使われている右写真の建物は、1940年、国威発揚のために行われた紀元2600年式典の神殿として建て

られたもの。奈良の橿原神宮を模してつくられており、式典後宮城外苑から移築された。

◇国際基督教大学本館（三鷹市大沢）－ICU本館の左写真建物は、戦時中中島飛行機製作所の三鷹研究所だったところ。戦後GHQが管理し後に国際基督教大学に売却された。当時の面影をそのまま残しており、キャンパス内には当時の防空壕なども残っている。

○この他に、近隣の遺跡、遺構探訪を計画している。

武蔵国府跡（府中市） 殿ヶ戸庭園（国分寺市） 分倍ヶ原古戦場跡（調布市） 滝山城跡（八王子市） 陸軍技術研究所跡（小金井市） 泉蔵寺戦没者供養塔（小平市） 日立航空機変電所跡（東大和市）



【評価方法】 遺跡探訪の後に小レポートを課す。

【授業科目】博物館の現場（博物館実習）	【担当者】上野・平賀
【開講期】2年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>1年次の学内実習を受けて、見学実習と館務実習に取り組む。見学実習は、それぞれ目的、性格を異にする、3～4の館に赴き、学芸員の仕事内容について詳しく説明を受け、資料収集、収蔵、展示のプランニング、ディスプレイの工夫、展示スペースのデザインなどが実際にどのように進められ、またどういった点で苦勞や問題点を抱えているかを理解する。館務実習は、学内実習や見学実習の集大成として、それぞれが2週間程度、博物館での実務研修を行い、学芸員の仕事を体得することを目指す。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特に定めない。</p>	
<p>.....</p> <p>【参考書】</p> <p>全国大学博物館学講座協議会西日本部会編『博物館学 実習マニュアル』芙蓉書房 など。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>見学実習の日時、場所などについては後日決定する。館務実習に臨んでは、実習オリエンテーション及び事前学習を行う。とくに、館務による研修の心得や実習日誌の記載方法などを中心に学習する。</p> <p>それぞれ、掲示によってスケジュールを発表するので見逃さないように。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>1年次の学内実習、見学実習レポート、館務実習日誌などにより総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 日本語の表現	【担当者】 東喜望 久保木寿子
【開講期】 1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>《東》 ことばによる表現は、人間にとって最も大切な活動である。 この授業では、ことばによる表現の大切さと、殊に書きことばによる表現の基本および技法を学ぶ。</p> <p>《久保木》 私たちは通常あまり意識をせずに、日本語で考え日本語で表現をしています。 この授業では、あらためて日本語の特徴について意識化し、「正確でわかりやすい日本語表現とは？」という問題について考えます。特に、文章を「書く」ことを通じて、実地にこの課題に答えることを目指します。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>《東》用いない。講義資料を配布する。 《久保木》適宜、プリントを配布</p>	
<p>【参考書】</p> <p>《東》適宜指示する。</p>	
授 業 計 画	
<p>《東》 授業は講義と実作（制作）を併用してすすめる。講義と制作のジャンル・実習は下記のとおり。 提出された作品は添削して返す。文集を作製する。</p> <p>Ⅰ 講義</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ことばの働き 2. 文章表現の基本 3. 文章の構造 4. 文章のスタイルとジャンル <p>Ⅱ 制作</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. エッセー 2. 評論 3. 文芸（詩・コントなど） 4. 文集作製 5. 校正実習 <p>《久保木》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 表現とは？ さまざまな表現行為の特徴について考え、理解する。 2. わかりやすい表現とは？ いろいろな事例を基に、わかりやすい文章を書いてみる。 3. 日本語の特徴を理解し、わかりやすい文章を書いてみる。 4. 文章の構成について考え、いろいろな文章を書いてみる。 ・ 調査・観察したことを、簡潔にまとめる。 ・ 自分の考え・意見を、明瞭に書く。 ・ 書式に沿って、報告文や手紙文を書く。 	
<p>【評価方法】</p> <p>《東》出席と作品の提出を重視する。 評価は授業への参加の度合いと提出作品による。（小テストを行う場合もある。）</p> <p>《久保木》出席・提出物</p>	

【授業科目】 ヒューマニズム論	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p style="text-align: center;">「ヒューマニズムは間違っている！」と言う人は多くはないが、 では、なぜ「ヒューマニズム」は「正しい」のか。</p> <p>「人間を大切にするのはアタリマエだ」では、「自分の思想」にも「学問」にもならない。そういう発想は、「世間的通念」に流されているだけなのではないか。「人間中心主義」こそが地球を危機に陥れた、とさえ言われている現在、「ヒューマニズム」は、本当に我々の「支え」になりうるのか。つまり、「現代におけるヒューマニズム」は、可能なのか。</p> <p>「ヒューマニズムの精神」は、白梅学園「建学の理念」ともされているが、その「理念」自体も、自由な学問的立場で検証されなければならない。</p> <p>本講では、上記のような問題意識のもと、「近代以後の人間のあり方」を考えることを出発点として、現在、<u>何によって人間が圧迫されているか、何に抗って「人間を大切にする」のか</u>、というアクティブな問題に迫っていきたいと思っている。大学生になった諸君が、知的に、根源的に「自分自身と世界」を考えるための、一つのキッカケになれば、と願っている。</p>	
【テキスト】 用いない。必要に応じてプリントを配布する。	
----- 【参考書】 必要に応じ、講義中に紹介する。	
授 業 計 画	
<p>おおむね、以下のような順序で講義する予定だが、諸君の興味・問題意識・理解度によって、途中で変更することもありうる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「根源的（ラディカル）に考える」態度について <ol style="list-style-type: none"> ① 「根源的に問う」こと ② 「自己」と「世界」 ③ 何が「人間」を価値づけるか——「神のある世界」と「神の無い世界」 2 我々の状況——近代における「人間」の問題 <ol style="list-style-type: none"> ① 近代と前近代——「人間」の問題として ② 「神・超越性」と近代人 ③ 近代的「人間」観と、その問題点 ④ 「近代ヒューマニズム思想」について ⑤ 何に抗って「人間を大切に」するのか 3 現代の状況と人間 <ol style="list-style-type: none"> ① 「国家」と人間 ② 「資本」と人間 <p>ノートをしっかり取りながら聞いていれば、（予備知識が全く無くても）分かるはずである。大学での講義ノート・メモの取り方には慣れていないと思われるので、最初はメモの要点も指示しながら進める。大切なことは「知識」や「結論」ではない。疑問を持つこと、考えること。諸君の中に「問題意識」を喚起することを最大の目標にしたい。</p>	
【評価方法】 学期末に、ノート（そのほか何でも）持ち込み可の、記述式テストを行う。それと、出席点を加味して評価する。ノートをしっかり取っていることが大切だ。	

【授業科目】総合科目・人間「言語活動と人間」	【担当者】東・中島・佐々
【開講期】一年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>東：人間とことば。</p> <p>中島：文学作品を通して、言語が人と人との関係をどのように作り出しているかを見る。</p> <p>佐々：生活の中で生きていく言語を扱い、その方向を探れるようにする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>東・中島：プリントを使用　佐々：使用しない。適宜プリントを配布する</p> <hr/> <p>【参考書】東・中島：授業中に紹介する</p> <p>佐々：筆者の著書『コミュニケーション能力弱者のQOL援助』ほか</p>	
授　業　計　画	
<p>東→中島→佐々　の順で授業する。</p> <p>東：次の順で講義する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 人類の起源と言葉の創造 (2) ことばの役割 (3) ことばの功罪 (4) 「場」の民主性と言語表現 <p>中島：次の順で講義する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 『ジョイ・ラック・クラブ』に見る、世代間の言語と言語間の強弱 (2) 欲望と権力：『ソフィーの選択』（アウシュヴィッツ） (3) 沈黙と歴史：『ピラヴド』（アメリカ黒人奴隷制） (4) まとめとして：作家の言語（『月と六ペンス』） <p>佐々：計画</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) ことばの正体を探る (2) 見えないことばを読む (3) ことばを育てる筋道を考える (4) ことばを育むプログラムの検討 	
<p>【評価方法】東：ペーパーテスト（60分）実施（参照可）。</p> <p>中島：出席点とレポート</p> <p>佐々：平常点の重視、レポートによる評価</p>	

【授業科目】総合科目 生命	【担当者】柳下登・近藤正樹・明渡陽子
【開講期】後期	
<p>【授業目標】半年間に3人の教員が担当するオムニバス形式の総合科目である。</p> <p>20世紀後半に発展した分子生物学は、従来の生物学・農学・医学を包括した形で生命現象を分子レベルで理解する生命科学を成立させた。この生命科学に、物理・化学的アプローチが加わることで、21世紀に入り、「生命」の概念が大きく変貌しつつある。30数億年前に生まれた生命、その由来から高度科学技術文明が作り出した生命操作に至るまで、地球上に生存してきた「生命」に対する理解を通して、地球に生きる多様な生命の中の一つにすぎない人類の位置づけを考察する。さらに農学・生物学・医学を background にもつ3人がそれぞれの視点で、21世紀の生命科学の課題を学生諸君と共に考えたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>柳下登 : プリントを使用 近藤正樹 明渡陽子 : プリントを使用</p>	
<p>【参考書】</p> <p>柳下登 : どこまで描ける生物進化 宇佐美正一郎 (新日本出版社) 生命の塵 植田充美訳 (翔泳社) 自然の恩恵をひきだすために 柳下登 (たたら書房) 遺伝子組み換え作物に未来はあるか 柳下登 (本の泉社)</p> <p>近藤正樹 明渡陽子 : 生命とは何か (岩波新書)</p>	
授 業 計 画	
<p>以下のスケジュールに沿って行う予定。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生命とはなにか : 明渡陽子 2. 生命の由来 (物質の由来・太陽系・地球・生命体) : 柳下登 3. 地球生物と進化 : 柳下登 4. 地球生物と環境 : 近藤正樹 5. 地球生物と種の保存 (自己保存・自己増殖・自動制御) : 近藤正樹 6. 生命科学の誕生と生命 : 明渡陽子 7. 21世紀の課題 : 生命はどこへゆくのか。(それぞれの専門分野から) 柳下登 近藤正樹 明渡陽子 	
<p>【評価方法】</p> <p>柳下登 : 出席状況と筆記テスト 近藤正樹 明渡陽子 : 出席状況と筆記テスト</p>	

【授業科目】 現代とヒューマニズムⅠ	【担当者】 平賀明彦
【開講期】 1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>戦争と平和の問題を通じてヒューマニズムについて考える。平和という言葉の定義も含め、平和であるということとはどのような状態を言うのか、また、そうなるためにはどういった取り組みが必要であるかを検討する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>とくに定めなし。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>多数あるのでその都度紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>平和の定義と意味を考える上で、まずは、平和的でない状態、平和の対局にあると考えられる戦争の問題を通して検討してみたい。その際、一昨年9月11日の同時多発テロ以降の動きを素材に、何故あのような事態が起こったのか、その解決に向けての方法は適切であったのかを検討してみることは重要なてがかりとなるだろう。また、現在緊張が高まっているイラクや朝鮮民主主義人民共和国情勢（2003年1月時点）についても、そのような事態に立ち至った原因と今後の行方について検証することも有効だろう。</p> <p>そうした時、現代の戦争や地域紛争の発生原因として民族や宗教の問題、あるいは「文明の対立」といった形で説明されることがあるが、果たしてそのようなとらえ方は妥当であろうか。近代における国民国家の成立やナショナリズム形成の問題としてとらえる視点は有効ではないだろうか。これらを具体的に検討してみたい。</p> <p>戦争のない状態＝平和とは言えず、それ以外にも平和的でない状態を生み出す諸要因がある点も見逃してはならないだろう。</p> <p>戦争を回避し、平和を求める取り組みはこれまでも蓄積され、また今現在も続けられている。近代の平和思想の歴史をふりかえりながら、その足跡を辿り、有効性を検証することも試みたい。</p> <p>以下のような柱立てを考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇同時多発テロは何故起きたか－歴史的経過を探る意味 ◇報復戦争の意味するもの－テロへの対応は「戦争」か ◇「悪の枢軸」というレッテルが意味するもの－アメリカの世界戦略 ◇現代の戦争、地域紛争とその原因－民族、宗教、「文明の対立」を検討する ◇国民国家形成とナショナリズム－フランス、イギリス、ドイツ、そして後発国日本の場合 ◇近代の平和思想の歴史－『永遠平和のために』、パリ不戦条約の系譜 ◇不戦への挑戦、その可能性は－日本国憲法、コスタリカの挑戦、国連改革、国家を超える ◇構造的暴力の問題－貧困、飢餓、差別、人権侵害を生み出す社会構造 ◇平和への課題－人権・福祉そして平和 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末にレポートを課す。授業中に適宜小レポートの提出を求めることがある。</p>	

【授業科目】現代とヒューマニズムⅡ (消費社会と欲望)	【担当者】 大岡 聡
【開講期】 1年前期	
【授業目標】 「最新のファッションに身を包むととても気分がいい!」「人が持っていないバッグをもっているとなんだか鼻が高いなあ」「ちょっと食べ過ぎちゃった、ダイエットしなきゃ」「バーゲンで洋服買い過ぎちゃったので、お昼はマクドの59円バーガーで我慢しよう」・・・これらは「豊かな」日本社会に暮らす私たちの日常の一コマ。でも「何だか変だ」と思うことはないですか? 「豊かな」モノとひきかえに何か失っていませんか? モノに振り回されていませんか? 「豊かな」私たちの一方で、飢えた人もいるのはなぜ? 「地球にやさしい」暮らし方ってなんだろう? この講義を通じて消費社会といわれる現代の、私たちのくらしと社会を反省的に考察してみましょう。	
【テキスト】 テキストは用いません。毎回プリントを配ります。	
【参考書】 とりあえず、辻信一『スロー・イズ・ビューティフル』(平凡社)、大平健『豊かさの精神病理』(岩波書店)、エリック・シュローサー『ファーストフードが世界を食い尽くす』(草思社)、島村志津『スローフードな人生』(新潮社)は入門書としてオススメです。手にとって気に入ったものを1冊以上読んでみてください。 もっと深く勉強したいひとは、上野千鶴子『<私>探しゲーム』(筑摩書房)、見田宗介『現代社会の理論』(岩波新書)、ナオミ・クライン『ブランドなんか、いらない』(はまの出版)、ジュリエット・B・ショア『浪費するアメリカ人—なぜ要らないものまで欲しがるか』(岩波書店)、スーザン・ジョージ『なぜ世界の半分が飢えるのか』(朝日新聞社)、山本武利・西沢保編『百貨店の文化史』(世界思想社)をお薦めしておきます。	
授 業 計 画	
講義では、まず日本における消費社会の形成過程(消費社会化の歴史)をたどるなかで、現代消費社会を相対化する歴史的視点と、消費社会を考察する基本的視点の獲得を目指します。それに続き現代消費社会の問題点を考察し、あるべき消費社会とかしい消費者像を展望します。 構成は以下の通り。 オリエンテーション・イントロダクション (1)リサイクル社会としての江戸 (2)身分制の解体と文明開化 (3)百貨店の誕生①—小売業の革新 (4)百貨店の誕生②—消費社会の演出者 (5)近代家族と文化生活—消費の主体 (6)生存から生活へ (7)美と健康—消費と身体 (8)戦争と生活 (9)高度成長と大衆消費社会の確立 (10)現代消費社会と人間—さまざまな問題点 (11)消費社会と世界—なぜ世界の半分は飢えるのか? (12)かしい消費者になろう!—消費社会の彼方へ プrintのほかビデオモニターなども使用します。 毎回コメントカードに、講義の感想や自分の意見を書いてを提出してください。その一部は次の講義で紹介することがあります。	
【評価方法】 毎回コメントカードを提出してください(出欠を兼ねます)。 学期末にレポートを提出してもらいます。出欠状況とレポートの成績により総合的に評価します。	

【授業科目】 現代とヒューマニズム III (科学技術と生命)	【担当者】 柳下登・明渡陽子
【開講期】 前期	
【授業目標】 高度科学技術文明といわれる現代文明の基盤となっている科学技術は、人間の自然を理解する「科学」という営みから生まれ、その成果を日常の経験世界から広大な宇宙・微細な物質の世界にまで応用しつつ進歩をとげ、それらから人類は多くの恩恵を受けた。しかし同時に、それは地球規模でより多大な問題を引き起こしてきた。この授業では、物理学、生物学、医学などの近代科学と技術が相互に影響し合いながら創り上げた科学技術の過程を知ることで、現代文明の一つの横顔の理解を計る。さらに、クローン人間という言葉に代表されるように、人間生命が科学技術の対象となる「生命の技術化」を可能にした現代文明の問題点を探る。	
【テキスト】 柳下登 : プリントを使用 明渡陽子 : プリントを使用	
【参考書】 柳下登 : 新編自然科学入門 甲斐義幸 (学術図書) 科学の考え方・学び方 池内了 (岩波書店) 世界のたね E. ニュート (NHK 出版) 未来のたね 左に同じ 遺伝子組み換えに未来はあるか 柳下登ら (本の泉社) 明渡陽子 : 上記の参考書類の中のどれか。	
授 業 計 画	
以下のテーマに沿って行う予定。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 私達が生きている高度科学技術文明とはいかなる文明か 2. 科学技術はどのように生まれたか (発想・思考の原点) 3. 道具や方法はどのように科学技術の発展に寄与したか (発想・思考の作用ベクトル方向) 4. 近代科学 (天文学・力学などの物理学・数学・生物学・医学など) と科学技術の発展との相互作用 5. 近代科学の発展と先端技術—その光と影— 6. 人間生命と科学技術のゆくえ 	
【評価方法】 柳下登 : 出席状況と筆記テスト 明渡陽子 : 出席状況と筆記テスト	

【授業科目】 人物研究 I (和泉式部)	【担当者】 久保木 寿子
【開講期】 後期	
<p>【授業目標】 紫式部に「けしからぬ」所があると評された、和泉式部をとりあげる。 和泉は「あらざらむ此の世のほかの思ひ出に今ひとたびの逢ふこともがな」(百人一首)や「黒髪の乱れも知らずうち伏せば先ずかき遣りし人ぞ恋ひしき」などの歌で知られ、情熱の歌人とか恋多き歌人と言われる平安時代の女性であるが、その和歌の世界は、「恋」にのみ止まらないスケールを持っている。和歌という短詩が持つ可能性や彼女の創作方法について考えたい。またそのテーマと実人生との関わりを問題にしていく。 時代のモラルと苦闘しながらも、冷徹なまなざしで自己の思いを和歌に結晶させていった一人の女性芸術家の軌跡を追い、その現代的な意味を明らかにしていきたい。</p>	
【テキスト】 プリントを配布	
<p>-----</p> <p>【参考書】 山中裕 著 人物叢書『和泉式部』吉川弘文館 増田繁夫著 『冥き途一和泉式部伝一』世界文化社 清水好子著 王朝の歌人6『和泉式部 恋歌まんだら』集英社 久保木 著 日本の作家13『実存を見つめる 和泉式部』新典社 ほか</p>	
授 業 計 画	
<p>以下のようなことをテーマに、講義をしたいと思っています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 悪女の評判さまざま すでに彼女が生きていた頃から、その評判は宜しくはないが、平安以降はどうだったのか。様々な文献から、各時代の人々が思い描いた和泉式部の人物像を見ていく。 2, 実人生を辿る 少女期の環境 最初の結婚と破綻 冷泉皇子兄弟との恋愛と死別 後宮出仕 再婚 娘との死別 3, 実体験から和歌表現へ 4, 恋歌と死の歌のあわい 恋歌を超える眼差し 5, 実存のテーマと方法・ 和歌の時空 「自己客体視」の方法 連作の方法 6, 歌集と日記 7, 仏教的心性の問題 8, 和泉式部和歌の評価をめぐる問題 <p>* 古文が読めなくても、大丈夫です。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席と、毎回のメモを重視。それと定期試験時のレポートによる。</p>	

【授業科目】人物研究Ⅱ・「柳田国男」

【担当者】東 喜 望

【開講期】1・2年後期

【授業目標】柳田(旧姓・松岡)国男<明治8年—昭和37年>は、貧しい医師の子として兵庫県神崎郡福崎町で生まれた。大学を卒業してのち彼は、それまで問題にもされなかった民衆の生活とその文化を調査・研究し日本民俗学の基礎礎を築いた。この授業では、柳田の生涯の行跡をたどりながら、激動の「近代」における彼の学問の成果と思想の意義を明らかにしていきたい。

【テキスト】資料プリント集を配布する。スライド・ビデオ上映。

【参考書】牧田茂『柳田国男』(中公新書)・中村哲『柳田国男の思想』(法政大学出版局)
谷川健一『柳田国男の民俗学』(岩波新書)・鹿野政直『近代日本の民間学』(岩波新書)

授 業 計 画

講義の概要

1. 生いたち

- ・「日本一小さい家」-----松岡家の一つの不幸。
- ・利根川畔・布川徳満寺絵馬の衝撃。-----濟世救民の志

2. 就学と詩人松岡国男

- ・伊良湖山岬への旅と島崎藤村「椰子の実」

3. 民俗学の夜明け

- ・農政学から民俗学へ——『後狩詞記』・『遠野物語』

4. 官界から言論界へ

- ・旅と学問——大正デモクラシーと民衆文化の発掘

5. 日本民俗学の石盤立

- ・『海上の道』——壮大なる仮説——日本民族の南方起源説

6. まとめ——柳田の学問と思想は「近代」を超えることができるか。

【評価方法】定期試験時の筆記試験による。(配布プリント集・ノート・参考書等参照可)

<p>【授業科目】 人物研究Ⅲ（有島武郎）</p>	<p>【担当者】 栗田廣美</p>
<p>【開講期】 1年後期</p>	
<p>【授業目標】 「時代の中で、誠実に生きようとする」とは、どういうことか。 有島武郎（ありしまたけお、1878-1923）という人物は、「情熱の芸術家」でもあり、「革命的思想家」でもあるが、それ以前に、時代の現実を深く見詰め、「人間」を圧迫するものと闘い続けようとした「一人の人間」だ。</p> <p>資産家・大農場主の家に生まれながら、やがて、小作人に、無償で農場を解放した有島。 自殺未遂の果てにクリスチャンになりながら、やがて「信仰」と訣別した有島。 アメリカ留学中も「近代文明」の歪みを見つめ「新たな人間らしい文明」を求めつづけた有島。 ロシア革命を擁護しながら、同時に、革命政権の独裁制を厳しく批判し、闘おうとした有島。 日露戦争に反対し、朝鮮の植民地化に反対し、諸民族の自由と連帯を希求した有島。</p> <p>こうした闘いの中で孤立し、やがて、夫のある女性との激しい恋愛に命を燃やし、二人で共に自殺すること——「心中」に追い込まれていった有島。</p> <p>有島武郎の遺した日記や手紙、彼が生きた当時の札幌やアメリカ、ヨーロッパの資料、作品や評論を紹介しながら、「誠実に時代の歪みと闘い続けた人間」としての有島武郎を語りたい。</p> <p>我々は、有島の「自殺（心中）＝挫折（玉砕）」を、どうしたら乗り越えることが出来るか、いかにしたら、有島の遺志を継いで「人間を圧迫するもの」と闘うことが出来るか、という問題を考えていければ、と願っている。</p>	
<p>【テキスト】 用いない。必要に応じてプリントを配布する。</p>	
<p>【参考書】 高原二郎著『人と作品・有島武郎』清水書院 刊 栗田廣美著『死と飛躍・有島武郎の青春』右文（ゆうぶん）書院 刊 栗田廣美著『亡命・有島武郎のアメリカ』右文（ゆうぶん）書院 刊 ——本学図書館に何冊か置いてもらう予定。近所の公立図書館にも、どしどし「リクエスト」しよう！</p>	
<p style="text-align: center;">授 業 計 画</p>	
<p>おおむね、以下のような順序で講義する予定だが、諸君の興味・問題意識・理解度によって、途中で変更することもありうる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生い立ちと、札幌での青春 <ol style="list-style-type: none"> ① 「特権階級の優等生息子」から、いかに「脱出」するか。 ② 「神」と「人間」——自殺未遂とキリスト教入信 ③ 「家」と「国家」——反抗と訣別 2 アメリカ・ヨーロッパでの思想形成 <ol style="list-style-type: none"> ① 「アメリカ＝巨大な近代文明」と「日露戦争」の重圧 ② キリスト教からの離脱と、個性的な思想の形成 ③ 中世ヨーロッパと「自由なコンミュニオン」への憧れ 3 日本での闘いと挫折 <ol style="list-style-type: none"> ① 芸術・思想・革命・自由 ② 農場解放の理想と現実 ③ 恋愛と死 <p>ノートをしっかり取りながら聞いていけば、（予備知識が全く無くても）分かるはずである。大切なことは「知識」や「結論」ではない。興味を持つこと、考えること。有島を通して、諸君の中に「人間」への問題意識を喚起することを、最大の目標にしたい。</p>	
<p>【評価方法】 筆記試験（ノート・プリント等、何でも参照可）。講義に基づいて書く形式。しっかりノートをとって、講義を聴いていけば大丈夫。出席点を加味して、総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 情報科学（情報処理入門）	【担当者】 宮武 直樹
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>教養科の学生を対象に、やさしい情報科学として情報科学に関する基礎知識を習得させることと、実際にコンピュータを作動させることによって、情報科学をより一層理解させるための講義である。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>随時プリントを配布する。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>参考文献を授業で紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>(1) 情報科学とは新しい学問で、まだ十分に体系化されているとはいえない。情報科学の生い立ちを見ると、コンピュータの出現と期を同じくしていることから、コンピュータとは大いに関係があると考えられる。しかし、情報科学が即コンピュータ科学であるというのは正しくない。情報科学に関する基礎知識を論じたい。</p> <p>(2) 情報処理実習について</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータの構成と操作方法 2. 日本語ワープロ、Wordの基本操作（3級程度の文書作成） 3. 表や罫線を使う文書作成（2級程度の文書作成） 4. 図形や段組を使う文書作成（1級程度の文書作成） 5. 表計算機能の使い方 6. 作図機能の使い方 7. 表計算ソフト、Excelの基本操作 8. 成績表の作成 9. 各種の成績グラフの作成 10. 成績に関するデータベースの作成 11. 学内ネットワークへの接続と電子メールにつ 12. 電子メールの送受信 13. 簡単なホームページの作成 14. まとめ 	
<p>【評価方法】</p> <p>授業中での課題提出、電子メールによるレポート提出及び出席状況によって判断する。</p>	

【授業科目】 コンピュータ基礎演習	【担当者】 宮武 直樹
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>最近のパソコン、ワープロ機器の普及はめざましいものである。この情報化社会の素養として、コンピュータの仕組み、操作からワープロ、表計算、図形処理、ネットワーク利用までの基礎を学習する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>随時プリントを配布する。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>参考文献を授業で紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>「授業計画」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. コンピュータの構成と操作方法 2. 日本語ワープロ、Wordの基本操作（3級程度の文書作成） 3. 表や罫線を使う文書作成（2級程度の文書作成） 4. 図形や段組を使う文書作成（1級程度の文書作成） 5. 表計算機能の使い方 6. 作図機能の使い方 7. 表計算ソフト、Excelの基本操作 8. 成績表の作成 9. 各種の成績グラフの作成 10. 成績に関するデータベースの作成 11. 学内ネットワークへの接続と電子メールにつ 12. 電子メールの送受信 13. 簡単なホームページの作成 14. まとめ 	
<p>【評価方法】</p> <p>授業中での課題提出、電子メールによるレポート提出及び出席状況によって判断する。</p>	

【授業科目】言語とコミュニケーション	【担当者】佐々 加代子
【開講期】1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>日常生活はさまざまな人間関係のなかでのコミュニケーションの場面がある。その方法もさまざまにある。言語はその代表格である。コミュニケーションが円滑にすすんでいくということについての基礎理論から始め、コミュニケーション関係における阻害要因と促進要因を抽出することで、生活において言語を媒介としたコミュニケーション関係のすすめかたについての方策が見出せるようにする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>佐々加代子、コミュニケーション能力弱者のQOL援助、犀書房</p>	
<p>【参考書】</p> <p>筆者の著書でいずれも犀書房。言語習得と人間関係、子どもからの贈りもの、発達臨床相談</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 言語の特性 2. コミュニケーションにおける言語 3. コミュニケーションの基本的過程 <ul style="list-style-type: none"> ことばのキャッチボール、ことばとキャッチボール 媒介となる距離—信号行動系 4. コミュニケーションの対象児・者の特性のとらえかた 5. 対象児・者別によるコミュニケーション関係 <ul style="list-style-type: none"> 乳児、幼児、障害児、障害者、失語症、介護を要する人、痴呆性老人、重病患者、異文化の人 6. コミュニケーションにおける共通項としてあげられる内容 7. 両者の関係とQOL 8. コミュニケーション関係、人間関係において機能していく言語の内容を育むこと <ul style="list-style-type: none"> ここでの1-8の数字は講義の内容を区分したもので、回数を示してはいない。 情報機器類も用いながら、できるだけ具体的場面を想定できるように工夫をこらしていく。 グループでの討論も加えていく。 	
<p>【評価方法】平常点を重視する。</p> <p>最終的には、平常点、授業内でのミニレポート、レポートで評価する。</p>	

【授業科目】外国語Ⅰ	【担当者】川口淑子
【開講期】前期	
<p>【授業目標】</p> <p>英語の文献の購読やリスニングを通して、総合的な英語力を養成することを目的とする。</p>	
【テキスト】Simply 名作シリーズ Jane Eyre (シャーロット・ブロンテ、南雲堂、¥854+税)	

【参考書】	
授 業 計 画	
<p>著名な作品を英語で読むことが中心となるが、リスニングや基本的な英作文なども取り入れてゆく予定。物語を楽しみながら、英語の表現や文化的背景などを知る機会としてもらいたい。授業では、精読のみでなく、英語の文献から情報を効率的に読みとって理解することを学んでゆく。テキストの他に英語のビデオやプリントで、文字のみでは得られない知識を補足する。</p>	
【評価方法】平常点、試験、レポートなどから総合的に判断し評価する。	

【授業科目】 外国語 I (中国語)	【担当者】 陳 志華
【開講期】 1 年 前期	
【授業目標】 この授業の目標は、①中国語の発音、②中国語の日常会話、③中国語の基本文法、を身につけることである。	
【テキスト】 方如偉・王智新・鏡屋一著 『新版 中国語 10 課』 白水社。	
..... 【参考書】 必要に応じて紹介する。	
授 業 計 画	
<p>1、中国語の発音及び文法を基本から学習する。</p> <p>2、簡単な日常会話を基礎とした内容を反復しながら、対話する練習を積み重ねていく。</p>	
【評価方法】 平常点 (出席、小テスト) と 期末テストで評価する。	

【授業科目】外国語Ⅰ（フランス語）	【担当者】森佳子
【開講期】1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>1：フランス語の発音の美しさに親しむ</p> <p>2：名詞、冠詞、形容詞の特徴を知る</p> <p>3：基本的な動詞の使い方を知り、活用が自在にできるようにする</p> <p>4：疑問文、否定文の作り方、使い方を知る</p>	
【テキスト】数藤ゆきえ・酒井由紀代著 『モン フランセ ひとりで学ぶフランス語』駿河台出版社	
----- 【参考書】	
授 業 計 画	
<p>1：フランス語の発音 アルファベと綴り字記号、発音</p> <p>2：名詞 男性名詞、女性名詞、単数、複数、不定冠詞、定冠詞、部分冠詞</p> <p>3：形容詞 形容詞の性と数、形容詞の位置、特殊な変化をするもの、名詞の女性形と特殊な複数形、指示形容詞、所有形容詞</p> <p>4：動詞 フランス語の8つの主語、動詞 être の現在形、動詞 avoir の現在形</p> <p>5：疑問文、否定文 疑問文の作り方、否定文の作り方、前置詞 à、de と定冠詞の縮約</p> <p>6：規則動詞 er 動詞、ir 動詞、代名動詞</p> <p>7：不規則動詞 aller と venir、近い未来と近い過去、その他の不規則動詞、命令法</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況、提出物、定期試験などをもとに、後期と総合して評価する。</p>	

【授業科目】外国語 - I (ドイツ語)	【担当者】田中 安行
【開講期】 1年前期	
【授業目標】 1. ドイツ語の基礎を学ぶ。簡単な会話と文法、表現の仕方などの基礎を得させる。 2. 現代のドイツの人々の生活や風物に触れ、ドイツ語とドイツへの親しみを増すようにする。 3. ドイツの歴史や文化と社会に対する正しい知識と理解を通して国際的教養を身につける。 4. 和やかな雰囲気での授業を目指し、ドイツ語の知識だけでなく、ドイツ文化に触れる機会を多くする。	
【テキスト】 開講時に説明する。	
【参考書】 開講時に説明する。	
授 業 計 画	
【授業計画】 1. 音声訓練——ビデオ教材やテープを利用して、ドイツ語の音声に慣れ、理解できるような訓練を行う。 2. 音声表現——教材の重要表現を習得して、音声による自己表現もできるように学習する。 3. ドイツ語による会話——会話を学びながらドイツ人の生活や考え方などを理解する。 4. ドイツ語の文構造理解——ドイツ語会話の文を元にしてドイツ語の文構造と文法を理解する。 5. 文化理解——ドイツ文化およびドイツの歴史や現状に対して正しい知識と認識を得る。ドイツの詩や歌も学んでドイツ人の感情も理解する。 6. 文章理解——辞書の使い方を学びながら、やさしいドイツ語の物語を使って、文構造の理解をすすめる、さまざまなドイツ語の文に慣れていくようにする。 【授業方法】 1. 毎時間前半は簡単なドイツ語会話や詩や歌を覚えて、自然にドイツ語で話し聞くことに慣れていく。 2. やさしい会話表現を通してドイツ人の生活や考え方などドイツ文化を理解する。 3. 会話文の練習問題を行って、その文を分析してドイツ語の文構造のルールを発見する。文法を受け身でなく、自分から積極的に発見して身につけて使えるようなものにする。 4. ドイツの地理、歴史、文学、音楽などの資料（ビデオ・スライド・写真など）を使って自分たちでさまざまなものを発見出来るような学習活動をして、ドイツの歴史や現状に対して正しい知識と理解を得る。 5. ビデオやインターネットなどのメディアを通して、現代のドイツの人々の生活や風物に触れ、ドイツ語をより身近に感じられるようにする。 6. 小グループを作っていつもそれを中心にして、ドイツ語の発音練習や会話、その他の学習活動を進めて、なごやかな雰囲気です充実した学習ができるようにする。	
【評価方法】 ふだんの学習状況や発言などの平常点と口頭による質疑応答や小テストとレポートおよびテストなどで総合的に評価する。	

【授業科目】外国語Ⅱ	【担当者】川口淑子
【開講期】後期	
<p>【授業目標】</p> <p>英語の文献の購読やリスニングを通して、総合的な英語力を養成することを目的とする。</p>	
【テキスト】Simply 名作シリーズ Jane Eyre (シャーロット・ブロンテ、南雲堂、¥854+税)	
----- 【参考書】	
授 業 計 画	
<p>著名な作品を英語で読むことが中心となるが、リスニングや基本的な英作文なども取り入れてゆく予定。物語を楽しみながら、英語の表現や文化的背景などを知る機会としてもらいたい。授業では、精読のみでなく、英語の文献から情報を効率的に読みとって理解することを学んでゆく。テキストの他に英語のビデオやプリントで、文字のみでは得られない知識を補足する。</p>	
【評価方法】平常点、試験、レポートなどから総合的に判断し評価する。	

【授業科目】	外国語Ⅱ(中国語)	【担当者】	陳 志華
【開講期】	1年 後期		
【授業目標】	この授業の目標は、①中国語の基本文法 の理解力、②中国語の会話能力、③中国語文 章の読解力、をさらに高めることである。		
【テキスト】	方如偉・王智新・鏡屋一著 『新版 中国語10課』白水社。		
【参考書】	必要に応じて紹介する。		
授 業 計 画			
<p>1、中国語の日常会話をさらに練習し、中国語文章の読解及び簡単な文章づくりを行う。</p> <p>2、中国文化及び急激に変化している中国民衆生活の実態を学びながら、中国語の教養を深める。</p>			
【評価方法】	平常点(出席、小テスト)と 期末テストで評価する。		

【授業科目】外国語Ⅱ（フランス語）	【担当者】森佳子
【開講期】1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>1：フランス語を通して、フランス文化を理解する</p> <p>2：過去形、未来形の作り方、使い方を知る</p> <p>3：いろいろな疑問文や比較級の作り方、使い方を知り、さらに幅広い表現力をつける</p> <p>4：フランス語特有の代名詞の使い方を知る</p>	
【テキスト】数藤ゆきえ・酒井由紀代著 『モン フランセ ひとりで学ぶフランス語』駿河台出版社	
----- 【参考書】	
授 業 計 画	
<p>8：過去形 複合過去、avoir+過去分詞、être+過去分詞、代名動詞の複合過去</p> <p>9：未来形 単純未来、前未来</p> <p>10：いろいろな疑問文 疑問副詞、疑問代名詞、疑問形容詞、非人称構文</p> <p>11：比較 比較級、最上級</p> <p>12：代名詞 補語人称代名詞、強勢形人称代名詞、所有代名詞、指示代名詞、中性代名詞</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況、提出物、定期試験などをもとに、前期と総合して評価する。</p>	

【授業科目】外国語 - II (ドイツ語)	【担当者】田中 安行
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ドイツ語の基礎を学ぶ。簡単な会話と文法、表現の仕方などの基礎を得させる。 2. 現代のドイツの人々の生活や風物に触れ、ドイツ語とドイツへの親しみを増すようにする。 3. ドイツの歴史や文化と社会に対する正しい知識と理解を通して国際的教養を身につける。 4. 和やかな雰囲気 of 授業を目指し、ドイツ語の知識だけでなく、ドイツ文化に触れる機会を多くする。 <p>注： 外国語 - II (ドイツ語) は、外国語 - I (ドイツ語) 修得者又はその学力のある者が履修できる。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>開講時に説明する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>開講時に説明する。</p>	
授 業 計 画	
<p>【授業計画】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 音声訓練——ビデオ教材やテープを利用して、ドイツ語の音声に慣れ、理解できるような訓練を行う。 2. 音声表現——教材の重要表現を習得して、音声による自己表現もできるように学習する。 3. ドイツ語による会話——会話を学びながらドイツ人の生活や考え方などを理解する。 4. ドイツ語の文構造理解——ドイツ語会話の文を元にしてドイツ語の文構造と文法を理解する。 5. 文化理解——ドイツ文化およびドイツの歴史や現状に対して正しい知識と認識を得る。ドイツの詩や歌も学んでドイツ人の感情も理解する。 6. 文章理解——辞書の使い方を学びながら、やさしいドイツ語の物語を使って、文構造の理解をすすめ、さまざまなドイツ語の文に慣れていくようにする。 <p>【授業方法】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 毎時間前半は簡単なドイツ語会話や詩や歌を覚えて、自然にドイツ語で話し聞くことに慣れていく。 2. やさしい会話表現を通してドイツ人の生活や考え方などドイツ文化を理解する。 3. 会話文の練習問題を行って、その文を分析してドイツ語の文構造のルールを発見する。文法を受け身でなく、自分から積極的に発見して身につけて使えるようなものにする。 4. ドイツの地理、歴史、文学、音楽などの資料 (ビデオ・スライド・写真など) を使って自分たちでさまざまなものを発見出来るような学習活動をして、ドイツの歴史や現状に対して正しい知識と理解を得る 5. ビデオやインターネットなどのメディアを通して、現代のドイツの人々の生活や風物に触れ、ドイツ語をより身近に感じられるようにする。 6. 小グループを作ってもそれを中心にして、ドイツ語の発音練習や会話、その他の学習活動を進めて、なごやかな雰囲気 with 充実した学習ができるようにする。 	
<p>【評価方法】</p> <p>ふだんの学習状況や発言などの平常点と口頭による質疑応答や小テストとレポートおよびテストなどで総合的に評価する。</p>	

【授業科目】海外語学研修	【担当者】中島好伸
【開講期】1 年前期・2 年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>イギリスに約4週間滞在することによって、生の英語に接し、英語運用能力を高める。また、イギリスで生活し、名所旧跡を訪ねることによって、イギリスの生活習慣や文化を肌で感じ体得する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用しない。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要に応じて紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>授業の中心は8月2日出国、イギリスはリーズ市にあるリーズ・メトロポリタン大学の語学センターで3週間実施される語学研修にホームステイしながら参加、8月27日帰国のイギリス滞在にある。しかし、出発に備えて、前期に5回の事前指導を行う。パスポートの取得から、渡航手続きをこの期間に行い、あわせて現地での基礎情報や生活情報、そして必要最低限の英語の学習を行う。参加費は、別に配布されるチラシを参照のこと。英語力については、一切問わず、ゼロからでも現地の先生が懇切丁寧に指導してくれ、帰国するときには、英語の面白さが身にしみてわかるだろう。全期間担当者が同行する。なお、最低催行人数に達しない場合は、実施されないこともあるので注意。</p> <p>予定内容（あくまでも予定）</p> <p>5回の事前指導</p> <p>8月2日 成田出発 直行便にてロンドン</p> <p>8月3日 ロンドンからリーズへ</p> <p>8月3日—8月24日 ホームステイして、メトロポリタン大学の語学センターにて研修</p> <p>8月24日 リーズからロンドンへ</p> <p>8月25日 ロンドン市内観光</p> <p>8月26日 ロンドン・ヒースローから帰国の途</p> <p>8月27日 成田帰国</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点、出席点に現地での課題成績を加味して評価する</p>	

【授業科目】 選択外国語 英会話 (基礎)	【担当者】 サラ ブロック (Sarah Brock)
【開講期】 1年前期・1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>日常会話をやさしく紹介する。相手を理解する能力と返事ができるスタミナ(?)を一年かけて身につける。自分のことや文化についてコミュニケーションがしたい意欲が芽生える授業にする</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリント (将来まとめてテキストにします)</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>電子辞書、紙の辞書 (パックス講談社) など</p>	
授 業 計 画	
<p>〔前期〕</p> <p>(1-3週) 自己紹介のプリント、どうやって学校に来る?自分の近所はどういうところ?現在形と現在進行形中心の授業にする。</p> <p>(4-8週) 話題の範囲を広げて、テレビやアニメなど現代日本の文化について話す。「以前はこうだったけど今はこうなっている」、文章をながくして会話する。</p> <p>(8-12週) 東京では洋服店、喫茶店、ケーキ屋さんなどは世界一の数。どうやってよい店を見つけ出す?情報交換や意見交換の会話をします。</p> <p>(13-15週) インタビューテストの受け方について説明し、実行する。日本語を一切使わない会話ができる?もちろん場所の名前や英語で開設する日本語は認める。(大丈夫、緊張しない、やさしくするから)。</p> <p>〔後期〕</p> <p>(1-3週) 夏休みの課題は、スケジュール手帳の中に夏の出来事について、日本語でメモる。このメモをベースに夏休みについて会話をする。過去の夏(子供のとき)と今の夏ってどう違う?今年苦労したところは?将来夏休みに旅行したい?などの話題も含む。</p> <p>(4-8週) ペットについて・自然について・学校生活について・旅行について、様々な話題を取り上げる。分野が変わるにつれ語彙も増える。辞書を忘れないで持ってきて。</p> <p>(8-12) セルフォーン、DVD、コンピューター、どんどんテクノロジーが日常生活にはいり、その生活を急変することもある。自分はこの渦の中で何を考えている?意見を述べる力を身につける。</p> <p>(12-15週) 自分の色・自分の名前・自分の夢を、自分らしく、そして相手が納得し感動するよう、言葉や声の使い方を調整し、完全版を提出する。できればインタビューテストもする。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>課題やレポートの提出、プリントの提出、インタビューテストなど。授業の中でテストが行う。</p>	

【授業科目】 選択外国語 ビジネス英語	【担当者】 田中 安行
【開講期】 前期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的なビジネス英語を速く、正確に、深く読む力をつける。 2. 英語で書かれた世界の生活、文化、歴史などに関する文章や時事問題、英詩、エッセイ、物語などに触れながら、英語を理解する力をつける。 3. 上記を通して 21 世紀に生きる人間としての広い教養と国際的なものの見方や考え方を学び、21 世紀の人間に必要な生き方を身につけられるような学習を目指す。 	
<p>【テキスト】</p> <p>開講時に指示する。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>開講時に指示する。</p>	
授 業 計 画	
<p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 文章理解 ビジネスに必要なさまざまな形式の英文を使って、チャンク毎に文の構造を理解させながら、パラグラフ・リーディングや要約、速読などの方法を通して文章の内容理解ができるようにする。 2. 国際的なビジネス問題の理解 現代世界の経済や政治など時事問題などの英語教材を用いて広い視野で学び、世界のビジネスにおける文化や歴史的背景を理解し、世界の様々な分野で活動するための基礎的な英語力と教養を身につける。 3. 音声訓練 ビジネスで使う基本的な英会話のパターンに慣れるように音声教材を使いながら、練習をする。 4. 音声表現 視聴覚教材や読み物教材の重要表現を習得して、対話や会議で用いる英語を音声で表現できる力をつける。 <p>[授業方法]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ビジネスに必要な平易な E-mail の英文の読み方、書き方を学び、実際に送受信してみる。 2. 保育、福祉、一般事務などさまざまな分野の実務的な英会話の基本を学び、訓練する。 3. それぞれのジャンルの英文について読み方や書き方の基本と応用を演習する。 4. 語句や意味の奥にある意味や発想の仕方を理解しながら外国人とのビジネスにおいて基本的に重要なコミュニケーションや異文化理解の方法を学ぶ。 5. さまざまな場面で自己表現するための話し方や書き方を身につける。 	
<p>【評価方法】</p> <p>ふだんの学習状況や発言などの平常点、口頭による質疑応答および小テストとレポートおよびテストなどで総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 選択外国語 時事英語	【担当者】 田中 安行
【開講期】 後期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代の生活、文化、環境、心理、保育、福祉問題などに関する時事的な英語を通して、21世紀に生きる人間としての広い教養と国際的なものの見方や考え方を学び、今後の社会で活躍する人間に必要な生き方を身につけられるような学習を行う。 2. 深く英語文化を理解するために、単に時事的な問題だけに限定せず、その背後にあるものの考え方や感じ方にも触れるように、英詩やエッセイなどにも触れて幅広い人間的な力をつける。 3. 時事的な英語を聞き、話す力をつける。英語の音声と基本的な表現に慣れて、さまざまな場面で相手の言うことを理解し、自己表現できる力をつける。 4. 時事英語の英文を用いて速読に慣れるようにする。 	
<p>【テキスト】</p> <p>開講時に指示する。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>開講時に指示する。</p>	
授 業 計 画	
<p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 文章理解 英字新聞など身近な内容の英文を使って文の構造をチャンク毎に理解させながら、パラグラフ・リーディングや要約ができる文章の内容理解の方法を学ぶ。 2. 国際的な文化理解 現在の世界の生活、文化、環境、心理、保育、福祉、平和問題などを取りあげた自作英語教材の“The Real Times”を用いて、世界の多くの文化や歴史的背景を理解できる中広い視野を身につける。 3. 音声訓練と音声表現 ビデオ教材やテープ、インターネットを利用して、英語の音声に慣れ、理解できるような対話練習を行い、重要表現を習得して、音声による自己表現力もつける。 <p>[授業方法]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英字新聞やインターネットからの時事英語やエッセイ、英詩などを教材に使う。 2. 時事的な英文について聞き方、話し方、読み方、書き方の基本と応用を演習する。 3. 語句や意味の奥にある意味を理解することを通して異文化理解の方法を学ぶ。 4. 英字新聞“The Real Times”やインターネットでの英文を読解するためのルールを身につける。 5. さまざまな場面で自己表現するための話し方や書き方を身につける。 6. 自分でインターネットを使って英文ニュースを作ったり、自己表現文を作って実践的な英語力を身につける。 	
<p>【評価方法】</p> <p>ふだんの学習状況や発言などの平常点と口頭による質疑応答や小テストとレポートおよびテストなどで総合的に評価する。</p>	

【授業科目】異文化コミュニケーション	【担当者】瀧口 優
【開講期】 1 年 後期：教養教育・教養科（現代教養）	
【授業目標】 1. 異文化とは何かを学ぶ 2. 異文化相互のコミュニケーションのあり方を実践的に学ぶ	
【テキスト】 必要に応じて指示する	
【参考書】 必要に応じて指示する	
授 業 計 画	
1. 映像を通じて写し出される他国の文化を認識する（4カ国程度）。 2. 日本の文化と比較してその特徴を分析する。 3. とりわけ言語についての理解を深める。 4. 以上を踏まえて異文化間のコミュニケーションをとるために何が重要であるかを学ぶ。 ＊ 外国語と言われるものには様々なものがあり、この授業では少しでも新しい言葉に触れる機会をつくりたいと考えている。	
【評価方法】 ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行うことを原則とするが、必要に応じてテストを行う。	

[授業科目名] 造形美術とイメージーション	[担当者] 八木 紘一郎
[開講期] 2年・後期	
<p>[授業目標]</p> <p>人間にとってイメージーション(想像)をめぐらす営みの意味を考える。できるだけ身近な日常的な造形美術、例えば、招き猫やキャラクターグッズ、ミッキーマウスやプーさんなどのディズニーキャラ、節分の鬼や、七夕、クリスマスやサンタクロースの由来や摩訶不思議な異界のこと、太古の昔の女性像や、身近な信号やさまざまな記号などを通じたイメージーション活動を実態を扱い、イメージーションをめぐらすことの今日的意味と課題を検討する。</p>	
[テキスト・参考書]	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1) 古代における初めての彫刻は女性像だった。なぜ女性像はつくられたか。だれが製作したか。 2) 人はなぜ小さなキャラクター造形物を身近におくのか。なぜ「かわいい」造形美術キャラを好むのか。かばんや携帯電話につけているキャラクター人形の意味を考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・招き猫や置き物を考える。 3) 色彩を通して考える。白と黒の世界。なぜ、日本や東洋の絵画には背景が白の余白をたっぷり使われるが、ヨーロッパ絵画の背景には黒が多用されていることが多い。どうしてか。 4) 身近な生活デザイン(衣服など)に使用されている色彩を通して、人間や行動心理を考える。 5) 異界との出会いをイメージーションしている造形美術を通して考える。 <p>例えば、教会、寺院寺社などの宗教建築や絵画や彫刻等を通してして、人間が異界世界をどれだけイメージーションしてきたかを具体的に考える。実存しない異界の生き物(妖怪・妖精・お化け・化け物など)の存在をイメージーションした造形美術をとりあげ、いかに人間は異界の生き物や世界と交流しながら生きているかを考える。</p> 5) クリスマスツリーやサンタクロース、なまはげや鬼などの造形美術を通して異界を考える。 6) 相撲、コマ、凧などと異界との交流史を考える。 7) デパートや生活用品に記載された記号、天気図記号、交通標識などの諸記号に込められた意味やメッセージの解釈を通して、いかに記号の世界に生きているかを考える。 	
<p>[評価方法]</p> <p style="text-align: center;">平常点</p>	

【授業科目】手話入門	【担当者】細田恵子
【開講期】1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>初級程度の手話技能を修得し、聴覚障害者の生活等を知ることによって、自分の内面を見つめる一助とする。それとともに、障害者と共生できる街作りにどう関わっていくかを模索する。</p>	
【テキスト】随時プリントを配布する	
----- 【参考書】講義中に紹介する	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. まず、聴覚障害を持つ講師との意志疎通を図る方法について知る。 2. 挨拶・自己紹介等の日常よく使用する手話を身につける。 3. 聴覚障害問題について学ぶ。 4. 聴覚障害とはどんな障害なのかを実体験する。(疑似体験) 5. 聴覚障害者と健聴者が共生していくためには、どうしたらいいのか、かつ、授業で学んだことをこれからどういかしていくか、考え、実践して欲しい。 <p style="margin-left: 40px;">*毎回レポートを提出していただきます。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポートと授業態度により評価する。</p>	

【授業科目】文学芸術・フィクションと人間	【担当者】中島好伸
【開講期】1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>文学作品はどのように出来上がっているのだろうか、作られた世界（フィクション）である文学作品は現実世界を生きる私たち読者にどんな影響を与えるのか、そもそも文学作品とは何か、以上のことを考えて、文学作品を読む有意義性を探る。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを使用</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要であれば、授業内で紹介する</p>	
授 業 計 画	
<p>文学作品をただ活字を追うようにして読むだけでは、その作品が読者に与えてくれるさまざまな喜びやメッセージを引き出すことはできない。その結果、読む作業を疎んじている人はいないだろうか。実は、文学作品は、確かにつくられた世界（フィクション）だが、現実の世界に生きる私たち読者にさまざまな影響を与えている。作られた世界であることを知りながらも、読み終えて感動を覚えた経験を持つ人は多いだろう。それでは、文学作品はどのように作られていて、現実世界に生きる私たち読者にとってそれは何なのか。この点をさまざまな角度から考えてみよう。一回きりしかない人生を何倍にも楽しむ方法、それが文学であり、実は私たちの人生だって、物語になっていることに気づくはずだ。次のような内容で講義を進めていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「わたし」と他者 2) 視点と語り手 3) 語り手の言語と無意識 4) 表現か内容か 5) 小説世界内とプロット 6) 小説の蓋然性 7) 作者の死 8) 読者・印象批評 9) 読みのあれこれ 10) 人生とフィクション 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席点とレポートで評価する</p>	

【授業科目】話言葉の伝承

【担当者】東 喜 望

【開講期】1・2年前期

【授業目標】ここにいう「伝承」とは、「伝承文化」をさす。この授業では、その中の「伝承文芸」を対象とする。即ち口づてに話言葉によって語り伝えられた話(神話・伝説・昔話など)を対象とする。日本本土と南西諸島・近隣アジアの説話を事例としながら大陸や環太平洋諸地域との関連も積極的に考察する。

【テキスト】『沖繩・奄美の説話と伝承』(おうふう刊)
他に資料プリントを配布する。スライド等上映。

【参考書】適宜発表。

授 業 計 画

講義概要

1. 序 (1) わが国をニッポンというのなぜか。
(2) 国号と環太平洋の太陽神話
2. 「神話」・「伝説」・「昔話」とは何か。
3. 説話伝承の起源
(1) 自然と人間の意識
(2) 信仰と「語り」—個人・村落(ムラ)レベルから国家レベルへ
(3) 神話の発展—伝説・昔話へ
4. 伝承文芸の現代的意義

【評価方法】定期試験時の筆記試験(テキスト・ノート・配布プリント参照可)

【授業科目】 絵本・絵巻と物語表現	【担当者】 久保木 寿子
【開講期】 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>絵本や絵巻には、絵と物語を同時に鑑賞していくという特徴があります。「見る」ことから生じるイメージと、ことば（語り）が創り出すイメージの＜交響＞が目指される訳です。</p> <p>この授業では、さまざまな絵や絵巻を通じて、「見ること」と「ことば」によるイメージの形成について考え、どのような時に、感動や共感を呼び起こす＜交響＞が成り立つのか考えたいと思います。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリント配布</p>	
<p>【参考書】</p> <p>授業時に指示</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>I 次のような物を素材に、絵とことばのさまざまな結合の形・枠組みについて考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 絵巻 源氏物語絵巻・信貴山縁起絵巻・（竹取物語）などを例に 2, 絵解き 「刈萱道心と石童丸」などを例に 3, お伽草子 『鉢かづき』『物くさ太郎』（奈良絵本竹取物語）などを例に 4, 絵本 『スーホの白い馬』『100まんびきのねこ』『あおくんときいろちゃん』『あり』（竹取物語）などを例に 5, 紙芝居 6, アニメーション 高畑・宮崎作品を例に <p>II 上記Iを通して、次のような問題に注目したい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 絵の視座・物語の視座 2, 絵の空間表現・物語の空間表現 3, 絵の時間表現・物語の時間表現 4, 見聞く人の位置と語り手の位置 <p>III 絵とことばの響き合いについて考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 絵によるストーリー性・イメージ喚起の条件について 2, ことばによるストーリー性・イメージ喚起の条件について 2, 絵・ことばの響き合いについて <p>注意：絵本の読み聞かせや語り聞かせのノウハウを、伝授する授業では、ありません。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席と、毎回のメモを重視。それと定期試験時のレポートによる。</p>	

【授業科目】 源氏物語の世界	【担当者】 久保木 寿子
【開講期】 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>日本文化の真髄を表すものとして、源氏物語はいまや世界の人々に読まれている。1000年の昔の作品ながら、現代に通じる問題が豊かに形象されているからであろう。一体、何がこの作品の魅力なのだろうか。絵巻や漫画・ビデオなどを使いながら作品構造を読み解き、制約の多い社会で、<どう生きるか>に苦闘する男女の姿を中心に見ていく。</p> <p>文法の細部にとらわれず、『源氏物語』が、“すごい”ことを知ってほしい。物語のおもしろさを知ることが、古典への第一歩である。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを配布</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】 大和和紀『あさきゆめみし』 現代語訳源氏物語：瀬戸内寂聴訳など 源氏物語絵巻・アニメその他のビデオ etc</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1, 紫式部とその時代について 何故、紫式部は源氏物語を書いたのだろうか？作者の生涯と人物像を、その歌集と日記によって見ておく。また物語が書かれた時代の特徴にも簡単に触れたい。 2, 全54帖の全体構造を知る。 授業で読み通す訳にはいかないが、そのスケールと主題について、概容を理解したい。 3, 様々な男女の結びつきについて考える。 光源氏は、葵の上と政略結婚・若紫を略奪の上結婚・藤壺（父帝の寵妃）を強姦と、現代社会で言えば、正真正銘の犯罪者である。一夫多妻制のもとで、彼に対する女たちは何を考え、どう生きようとしていたか。 4, 忍従と自立をめぐる問題について考える。 身分差・結婚制度の制約の中で、多くの女たちが忍従し妥協していく。一方、自分らしく生きたいと願う女たちは、苦闘の末破れていく。 ① 明石の君・②紫の上・③浮舟 etc について、それぞれの人物像を探っていく。 5, 権力構造をめぐる問題について考える。 恋愛沙汰に隠されているが、この作品は、光源氏が天皇のようなそうでもないような地位に上り詰めるまでの、予言の謎解きといった要素を持つ。 上り詰めた後の、無惨な光源氏の衰退までを書いてしまったのだが。 人間にとっていったい何が重要なことなのか、考えたい。 6, 物語のリアリティについて考える。 言うまでもなく『源氏物語』は平安時代に作られたフィクションであるが、光源氏を実在の人と思っている人が結構いる。 何故だろうか。作品に、きわめてリアリティがあることも一因であろう 虚構された時代設定、モデルとされる人物、作品の舞台の虚実などについて考える。 7, 源氏物語の笑いについて考える。 8, 物語表現の美しさについて考える。 9, 源氏物語の古代性と現代性について考える。 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席と、毎回のメモを重視。それと定期試験時のレポートによる。</p>	

【授業科目】比較文化論・近代文明と日本人	【担当者】高原二郎																
【開講期】1年後期																	
<p>【授業目標】</p> <p>私たちがものごとを考えたり判断したりするときの拠りどころ、物差し、尺度。日常生活をとり囲み、私たちの見方や考え方や生き方を、いつの間にか左右する大きな枠組み。つまりは皆さん一人ひとりが、それへ向けて衝き当り、悩み、そして切り拓いてゆくよりない「価値観」といったもの。その「価値観の在りよう」について、各自が自己衝突を開始することを以て授業の目標とします。</p>																	
<p>【テキスト】</p> <p>用いません。</p>																	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>展開の中で示します。読書は義務としません。</p>																	
<p>授 業 計 画</p>																	
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の視点は、文学に関わる立場から、とします。 ・日本の近代化、それに伴う価値観の衝突や混乱や、さらには科学技術に支えられる今の社会をどのように考えるかなど、下記の項目を目安に展開します。一緒に考えてゆきましょう。なお「ヒューマニズム」については、特にしっかりと考えましょう。 <p>(内容)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本の近代化と西洋 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>(1) 文明の先進と後発</td> <td>(2) 新旧混乱期の実情</td> </tr> <tr> <td>(3) キリスト教、儒教、武士道</td> <td>(4) 文学者の西欧体験</td> </tr> </table> 2. 近代的な考え方へのアプローチ <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>(1) 個人、人格、エゴ</td> <td>(2) 愛、ヒューマニズム、慈悲、仁</td> </tr> </table> 3. 自然と人間と近代 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>(1) 西洋の自然</td> <td>(2) 東洋の自然</td> </tr> <tr> <td>(3) 日本の自然</td> <td>(4) 自然と人間へのヒント</td> </tr> </table> 4. 自然科学と人間 <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>(1) 自然科学をどのように考えるか</td> <td>(2) 自然科学と制度</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(3) 「科学者らしくあること」と「人間らしくあること」</td> </tr> <tr> <td colspan="2">(4) 戦争</td> </tr> </table> 5. 現代社会と人間疎外 ー水俣病をめぐるー <p>ノートは、問題点を中心に要点をメモできるよう、板書を活用します。</p>		(1) 文明の先進と後発	(2) 新旧混乱期の実情	(3) キリスト教、儒教、武士道	(4) 文学者の西欧体験	(1) 個人、人格、エゴ	(2) 愛、ヒューマニズム、慈悲、仁	(1) 西洋の自然	(2) 東洋の自然	(3) 日本の自然	(4) 自然と人間へのヒント	(1) 自然科学をどのように考えるか	(2) 自然科学と制度	(3) 「科学者らしくあること」と「人間らしくあること」		(4) 戦争	
(1) 文明の先進と後発	(2) 新旧混乱期の実情																
(3) キリスト教、儒教、武士道	(4) 文学者の西欧体験																
(1) 個人、人格、エゴ	(2) 愛、ヒューマニズム、慈悲、仁																
(1) 西洋の自然	(2) 東洋の自然																
(3) 日本の自然	(4) 自然と人間へのヒント																
(1) 自然科学をどのように考えるか	(2) 自然科学と制度																
(3) 「科学者らしくあること」と「人間らしくあること」																	
(4) 戦争																	
<p>【評価方法】</p> <p>各自が最低一つ、何らかの自己衝突をつかまえてレポート。授業出席を大切にするとともに、思考のひらめきをも大いに期待します。</p>																	

【授業科目】 近現代の文学	【担当者】 鳥原二郎
【開講期】	
<p>【授業目標】 文学作品など読むヒマにもっと役に立つことないの？</p> <p>作家なんてホントはなにしてるんだろ。</p> <p>文学史なんてのやらまれてアタシがメイクなだけ！</p> <p>でも基礎知識くらいはシカタナイかもね。</p> <p>などと、いじ悪くホネを言ってみようではないか。</p>	
【テキスト】 特には指定はしない。	
<p>-----</p> <p>【参考書】 展開の中で紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>(概要)</p> <p>上記のように、「文学入門」的な狙いと含んだ作品理解、作家論、課題論、文学史等を扱います。従って、(1) 時々の社会と作品主題の持つ意味、(2) 社会に対する作家の姿勢や思想性。この二点とひとまず踏まえた上で下記の課題に発展させてみます。</p> <p>(a) 知識を基としてゆく上での大きな課題に読み振りてゆく試み。</p> <p>(b) 作家や作品を時代的・歴史的に位置付けてゆく試み。</p> <p>(具体的な展開)</p> <p>近代日本の開化から太平洋戦争を経ての現代まで、主要な課題を掲げて作家作品を扱います。例えば、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開化と西洋 (鴎外、漱石、荷川、光太郎) 2. 個人・ヒューマンイズム・エコ (漱石、白樺派、龍之介) 3. 愛と人間性 (武郎、自然主義-私小説、太宰治) 4. 自然と人間 (独歩、武郎、賢治) 5. 社会制度と人間 (労働文学) 6. 伝統と近代 (潤一郎、康成) 7. 科学と人間 (戦争と文学) 8. 疎外と人間 (石牟礼道子) <p>(なお時々の都合では変更、省略もあり得ます)</p> <p>具体的な作品は展開の中で予告しますが、予習読書は強制しません。</p>	
【評価方法】 レポート評価の予定。	

【授業科目】現代英米の文学	【担当者】中島好伸
【開講期】1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>19世紀から20世紀にかけてのイギリス、アメリカの代表的な小説を紹介し、作品の歴史的背景や文化的情報を取り込みながら、作品の解釈を試みる。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを使用</p>	
<p>【参考書】</p> <p>授業内で紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>イギリスの小説を6作品、アメリカの小説を6作品、1講義に1作品ずつ取り上げていく。それぞれの講義は、まずは時代背景、そしてその時代の文学的特徴、作家紹介、作品紹介、さらに、作品の解釈へと進めていく。文学作品は読まなければ意味がないので、できるだけ多くの作品を読んでほしい。少なくとも、最後にレポートを書くために、イギリスの作品を一作品、アメリカの作品を一作品、合計2作品は読むこと。次の順番で講義していく。</p> <p>イギリス第1回 J.K.ローリング『ハリー・ポッター』シリーズ イギリス第2回 エミリー・ブロンテ『嵐が丘』 イギリス第3回 トーマス・ハーディ『テス』 イギリス第4回 オスカー・ワイルド『ドリアン・グレイの肖像』 イギリス第5回 D.H.ロレンス『チャタレイ夫人の恋人』 イギリス第6回 サマセット・モーム『お菓子とビール』 アメリカ第1回 ナサニエル・ホーソン『緋文字』 アメリカ第2回 マーク・トウェイン『ハックルベリー・フィンの冒険』 アメリカ第3回 セオドア・ドライサー『シスター・キャリー』 アメリカ第4回 F.スコット・フィッツジェラルド『グレート・ギャッツビー』 アメリカ第5回 ウィリアム・フォークナー『八月の光』 アメリカ第6回 アリス・ウォーカー『カラー・パープル』</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席点とレポートで評価する。</p>	

【授業科目】 世界の児童文学	【担当者】 瀧口 優
【開講期】 1 年 後期：教養教育・教養科（現代教養）	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 世界の児童文学を紹介しながらその思想を学ぶ。 2. 子ども観を豊かに育てる。 	
<p>【テキスト】</p> <p>「児童文学を英語で読む」（岩波ジュニア新書）</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>「英米児童文学の系譜」こびあん書房</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 世界の児童文学を国別にとりあげ、歴史や発展をとらえる。 2. 世界の児童文学を国別、作品別に紹介し、その一部をいっしょに読んでいく。 3. 関連する作品を読んだり、映像によって理解を深める。 4. なぜ児童文学が多く読まれるのかを考えていく。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 「アラビアンナイト：アラジン」（アラビア） 2) 「秘密の花園」（イギリス） 3) 「オズの魔法使い」（アメリカ） 4) 「あしながおじさん」（アメリカ） 5) 「モモ」（ドイツ） 	
<p>【評価方法】</p> <p>ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行うことを原則とするが、必要に応じてテストを行う。</p>	

【授業科目】 考古学の世界	【担当者】 田中禎昭
【開講期】 1年前期	
<p>【授業目標】 日本の古代、特に飛鳥・奈良時代を中心にした時代の社会の諸相を、最新の考古学の研究成果を通じて紹介します。藤原京・平城京という、大規模な古代都市が作られた時代、地方に暮らす人々はどんな生活をしていたのでしょうか？考古学の成果は、民衆の衣食住にわたる生活のほか、当時の交易・流通形態や、家族構造についても新しい知見を提出しています。このような多方面にわたる地方社会の様子を、古代文献史料の読解に基づく研究成果も踏まえながら、学んでいきたいと思いません。</p>	
【テキスト】 授業時にプリントを配布する。	
<p>-----</p> <p>【参考書】 『考古学による日本歴史』全15冊（雄山閣出版）</p>	
授 業 計 画	
<p>① はじめに～考古学と文献史学～ ② 考古学が読む日本神話～『古事記』『日本書紀』の考古学～ ③ 考古学で読む『万葉集』の世界 ④ 考古学で見る古代の戦争 ⑤ 考古学で見る古代の婚姻関係 ⑥ 考古学で見る男女のくらし ⑦ 考古学で見る古代村落 ⑧ 考古学で見る古代の交通 ⑨ 考古学で見る古代の交易・流通 ⑩ 古代都市論 ⑪ 古代における地方の役所</p> <p>今回の講義では、上記のように飛鳥・奈良時代の多面的な社会の諸相に関わる考古学の研究成果を取り上げますが、特に、『古事記』『日本書紀』『続日本紀』や『万葉集』などのテキストの読みについて、考古学の研究成果により、どのような解釈が可能になってくるのか、考古学から古代文献史料へのアプローチを試みてみたいと考えています。</p>	
【評価方法】 出席点、平常点、学期末試験による総合評価。	

【授業科目】国境を越える民俗学

【担当者】東 喜 望

【開講期】1・2年前期

【授業目標】古来、社会の基底を支えてきたのは、名もなき民衆である。かつて、彼らの多くは文字を知らず、その生活に必要な技術や文化を口づてに肉体を通して伝えてきた。この授業では古来、民衆が大切に守り伝えてきた生活の基層の文化や民衆の精神のあり様、生活の実態などを対象にして考察を進める。特に、既に実地踏査した中国や東南アジアの島々・日本の「国境を越えて生きた人々の生活を重視したい。

【テキスト】民俗事例の資料として『沖縄・奄美の説話』(おらふう刊)を使用。

【参考書】適宜指示する。映像資料(スライド・ビデオ・グラフィック)を使用。

授 業 計 画

講義概要

1. 「伝承」「民俗」とは何か。
2. 西欧民俗学・日本民俗学の発生と展開
3. 人類の知恵と技術と生活文化(食・住・衣)
4. 国境なき人々の原初の暮らし(非定住の生活)
 - (1) 山人—日本の山人(マタギ・サンカなど)、ユーラシア大陸の遊牧民・アジアの狩猟民(中国・台湾・東南アジア)
 - (2) 海人—日本の海人と家船・アジアの海人(中国の蛋民・東南アジアの漂海民など)
5. 原初の定住生活—日本、アジアにおける焼畑農耕から稲作農耕へ。
6. ムラの形成とその基本構造
7. 村落祭祀と通過儀礼
8. 民俗社会をつなぐ「^ゆ結い」

【評価方法】定期試験時の筆記試験(テキスト・ノート・配付プリント参照可)。

【授業科目】日本とアジアの近現代史	【担当者】佐藤いづみ
【開講期】1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>近代日本は、その歩みを始めたときからアジアとの大きなかかわりを持っていました。この授業では、アジアに向けた日本のまなざしに焦点を当てて、日本とアジアの近現代史を学びます。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用しません。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業中に紹介します。</p>	
授 業 計 画	
<p>次の内容で授業を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 高杉晋作が見た太平天国運動下の上海・・・明治維新を醸成した植民地化への危機感 * 「征韓論」と台湾出兵・・・誕生したばかりの維新政府は、なぜ初めから対外膨張政策を採ったのか。 * 福沢諭吉の「脱亜論」・・・「脱亜論」で展開した福沢の中国観、朝鮮観とともに、台湾論に注目。 * 潘佩珠の『ヴェトナム亡国史』・・・日露戦争がベトナムとビルマに広げた波紋とその行方。 * 3.1 独立運動と関東大震災の事件・・・朝鮮植民地化と朝鮮人に向けられた市井の人々の暴力。 * 満州帝国の建設・・・大陸へ渡った青年、花嫁、家族。そして土地を奪われ「匪賊」と呼ばれた中国の人々。 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末に、レポートを提出してもらいます。</p>	

【授業科目】近代女性史	【担当者】富永静枝
【開講期】1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>昭和の歴史をジェンダーの視点から学び、戦争と平和・女性の解放等について考える。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>有斐閣選書『女の昭和史』</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業時に随時紹介する</p>	
授 業 計 画	
<p>日本女性史を特に昭和の時代に中心をおいて学ぶ。</p> <p>女性にとって昭和という時代は「戦争と平和、進歩と反動がないまぜになりながら、女性が否応なしに社会とかかわりを持った時代」(『女の昭和史』初版あとがき)といえる。この時代の女性史を学ぶことによって戦争と平和の問題や戦後民主主義の発展のもとで女性たちがどのように社会参加を果たしてきたかなどを学ぶ。</p> <p>なお、当時女性たちがどのように戦争に動員されていたか、戦時下の女性の労働やくらしの様子、戦時下の子どもたちの様子など、戦争体験者のなまの声の聞き取りを課題に出す予定。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末のレポート(戦時体験の聞き取り)、平常時の提出物、出席状況の総合評価</p>	

【授業科目】社会福祉の考え方	【担当者】山路憲夫
【開講期】1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>社会福祉とはなにか。ここでは広義の社会福祉を考えたい。広義の社会福祉とは、公共政策一般、社会政策、狭義の社会福祉(私的社会事業、公的社会事業)が含まれる。最近の社会福祉は多様化、複合化する一方だ。利用者の立場からとらえ直すという意味でも、広義の社会問題対策として幅広くとらえ、それぞれ制度を理解すると共に、各領域の関連を明らかにしたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>「日本の社会保障」(広井良典、岩波新書)</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<ul style="list-style-type: none"> I 広義の社会福祉とはなにか 社会福祉、社会保障、社会政策の特徴と関連性 II 社会福祉の成立の背景 III 社会福祉の各制度の現状と問題点 公的年金制度、医療保険、公的介護保険、生活保護、社会福祉制度 IV 21世紀の課題 少子高齢化と負担と給付の現代的問題 V まとめ 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席と試験(持ち込み可)</p>	

【授業科目】 家族福祉論	【担当者】 斉藤弘子
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>現代家族は少子高齢化問題を抱え、社会福祉とのかかわり抜きでは考えられません。 この授業では、少子高齢化社会のなかでの児童、障害者、高齢者の実態を探り、社会福祉と家族・家庭のあり方を探って行きたいと考えています。</p>	
【テキスト】 授業中に、随時、参考資料プリントを配布します。	
----- 【参考書】 必要に応じて授業中に紹介します。	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1, ガイダンス 2, 子どもを取り巻く状況について 3, 子どもと家族 4, 子育てと社会福祉 5, 障害者を取り巻く状況について 6, 障害者と家族 7, 障害者と社会福祉 8, 高齢者を取り巻く状況について 9, 高齢者と家族 10, 高齢者と社会福祉 11, 社会福祉の体制 12, 社会福祉と家族・家庭 13, 地域社会での支援体制 14, 地域社会と家族・家庭 15, まとめ <p>【評価方法】 平常点（授業中の小レポートを含む）および学期末のレポートによる</p>	

【授業科目】 地域生活と家族	【担当者】 民秋 言
【開講期】 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>私々人間は、たいてい、家族という集団に所属し、その一員として生活する。つまり、そのなりに生まれ出、育てられ、生活し、老年を送る。この家族は地域のなかにある。地域のあり方と大きく関わっている。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>講義の中で必要に応じて指示する</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>同 上</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間にとって家族とは何か 2. 家族のほたらき(機能) 3. 家族のなかに人間関係 (1) 夫婦関係 4. 同 上 (2) 親子関係 5. 同 上 (3) 近しい関係 6. 日本の家族の特徴 (1) 「イエ」の制度 7. 同 上 (2) 核家族と直系家族 8. 地域社会の変化・都市化 9. 地域のなかに生活・コミュニティ 10. 地域生活と家族のあり方 	
<p>【評価方法】</p> <p>パーテートと出席点とによる</p>	

【授業科目】男と女・ジェンダーを考える	【担当者】富永静枝
【開講期】1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>ジェンダー概念を理解し、これまでの社会制度や性別役割意識の問題点をジェンダー視点からとらえなおし、男女共同参画社会に向けての新しい社会システムのあり方や男女の関係性をさぐり、「男らしさ」・「女らしさ」の呪縛から開放される態度を養成する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは使用しない。必要に応じて授業時に資料プリントを配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業時に随時紹介する</p>	
授 業 計 画	
<p>今日、家族や女性を取り巻く社会的状況は大きく変化した。男女共同参画社会が志向され、男女雇用機会均等法の改正や介護・育児休業法の実施など平等に向けての法的整備は進んだが、実生活の上では多くの問題を残している。不況下での女子学生の就職は厳しく、結婚後も家事・育児と職業の両立に悩むなど、女性が能力を発揮して、一人の人間として自立して主体的に生きることは困難な状況にあり、男性もまた厳しい労働環境の中で豊かな家族関係を築くことは難しい状況にある。そこでこの授業では人生のパートナーである男性と女性が、ともに人間らしく豊かに生きるためにはどうしたら良いか、これからの望ましい男女のあり方や、社会システムのあり方について学ぶ。授業方法は講義だけでなく、ビデオや新聞記事情報なども活用し、意見発表や討論なども加えて行います。</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、 ジェンダーとはー性別役割分業とその問題点ー 2、 女性のライフサイクルの変化 3、 ジェンダー統計に見る現状と課題 4、 労働とジェンダー 5、 福祉とジェンダー 6、 女性と人権ードメスティックバイオレンスー 7、 男女平等をめざす世界の運動と日本の動き 	
<p>【評価方法】</p> <p>筆記試験(ノート、授業中の配布資料など参照可)、平常時の提出物、出席状況の総合評価。</p>	

【授業科目】女性労働の問題	【担当者】富永静枝
【開講期】1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>これからの社会は男女が互いに支え合いながら、ともに職業生活と家庭生活を両立させ、ともに自立して生きることが求められる。受講生たちが伝統的な性別役割分業意識から解放され、職業生活と家庭生活の両立をめざす努力をすることを期待したい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは使用しない。必要に応じて授業時に資料(プリント)を配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業時に随時紹介する</p>	
授 業 計 画	
<p>男女雇用機会均等法の改正や育児・介護休業法の施行などにより、近年女性の労働環境は大きく変化した。女性が自立して生きるためには経済的自立は不可欠である。しかしまだまだ出産・育児や介護のために退職を余儀なくされる女性は多く、仕事と家庭の両立は困難な状況にある。本講では、働く女性たちが抱える問題点を明らかにし、問題解決への方向性を探る。</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、 近代日本における女性労働の歩み 2、 女性労働の現状と課題 3、 女性労働と法 4、 女性労働の国際比較 5、 家事・育児・介護と女性労働 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末のレポート、平常時の提出物、出席状況の総合評価</p>	

【授業科目】 現代社会と人権	【担当者】 武藤 健一
【開講期】 1年 後期 木曜日 1時限	
<p>【授業目標】</p> <p>1年半後に、主に女性である皆さんが実際に社会に出ていって、自分が女性であることから遭遇するかもしれない事柄・問題について検討し、自分の今後のこと・将来のことを考えるきっかけを得られるようにすることを目的とします。</p>	
<p>【テキスト】 レジューメ配布</p>	
<p>【参考書】 伊田広行「シングル単位の恋愛・家族論」(世界思想社)、山田昌弘「パラサイト・シングルの時代」(ちくま新書)、伊田広行「シングル単位の社会論」(世界思想社)、福島瑞穂「結婚と家族」(岩波新書)、落合恵美子「21世紀家族へ」(有斐閣選書)</p>	
授 業 計 画	
<p>現代の日本社会で女性がどのような状況におかれているかを理解するために、女性労働と恋愛・結婚・家族について、様々な統計的資料やその分野に関わる法律の内容を検討し、現代社会における女性の人権の有様を明らかにしたいと思います。</p> <p>具体的には労働では、① M字型雇用 ② セクシュアル=ハラスメント ③ 派遣労働 ④ 育児・介助休暇 ⑤ パート労働</p> <p>恋愛・結婚では、⑥ 恋愛観・結婚観 ⑦ 結婚 ⑧ 家事・育児 ⑨ 夫・恋人の暴力(DV) ⑩ 子どもの虐待 ⑪ 離婚</p> <p>という11項目の中からいくつかを取り上げていきたいと考えています。</p> <p>注1) 受講者数によってですが、講義・ディスカッション等のどの形式になるかを受講者と相談して決めたいと思います。</p> <p>2) 一方的なつまらない授業にはしたくないので、学生の皆さんの積極的な授業参加を願っています。</p> <p>3) 飲食など、授業や他の人の迷惑にならない事は、自由にしてもらって構いませんが、おしゃべり・遅刻(15分過ぎ)などは絶対に許されません。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席・平常点を重視し、試験点を加える形で成績をつけます。</p> <p>出席点：学期末試験＝2：1</p>	

【授業科目】 憲法と私たち	【担当者】 武藤 健一
【開講期】 1年前期 木曜日 1・2時限	
<p>【授業目標】</p> <p>日本国憲法の人権規定の解釈論を中心にしながらも、実際の社会で人権がいかに保障されているかという点を踏まえ、労働に関する諸権利と私的生活における権利を重視する「ジェンダー憲法学」としての人権論を展開する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>レジュメ配布</p>	
<p>【参考書】</p> <p>特に必要なものはないので、必要な時に紹介したいと思います。</p>	
授 業 計 画	
<p>1 人権原理 ～まずは、人権全体に関わる様々な原理・原則を検討する。</p> <p>(1) 人権保障の類型 (2) 人権の享有主体 (3) 「公共の福祉」と二重の基準論 (4) 人権規定の効力 (5) 平等</p> <p>2 基本的人権 ～人権類型論を基礎として人権規定を分類して検討する。</p> <p>① 包括的人権 ② 精神的自由 ③ 経済的自由 ④ 社会権等 ⑤ 刑事手続き ⑥ 受益権 ⑦ 参政権 ⑧ 前提的権利 ⑨ 義務 ⑩ 人権のまとめと人権体系論</p> <p>なお、1・2で述べた項目に対して、以下の3・4の様な追加・修正があります。</p> <p>3 裁判・社会問題</p> <p>(1) 女性労働 (2) 家族の多様化 (3) 教科書検定 (4) 婚外子差別 (5) 環境権訴訟 (6) 死刑廃止 (7) 夫婦別姓 (8) セクシュアル=ハラスメント</p> <p>4 ジェンダー憲法学による修正</p> <p>① 公的領域と私的領域の二元構造 ② 家族単位と個人単位 ③ 近代家族論 ④ 労働権の重視 ⑤ ジェンダー論・フェミニズムとの遭遇 ⑥ 性的自己決定権 ⑦ 子どもの人権 ⑧ ポジティブ=アクション ⑨ 社会保障と家事・育児の社会化</p> <p>* 注1) 半年で上記の項目をすべて扱えることはありえないので、その中からいくつか扱うこととなります。</p> <p>2) 授業の支障となること以外は何をやっても構いませんが、お喋りや10・15分以上の遅刻などはまったく許されません。また、積極的な授業参加を望みます。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>ペーパー試験より、授業参加(レスポンス=シート)を重視します。</p> <p>出席点：学期末試験=2：1</p>	

【授業科目】現代世界とマイノリティー	【担当者】中島好伸
【開講期】1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>世界のマイノリティー（少数民族集団）がどのような歴史の元、現在のような分布になってきたのか、その歴史的背景を理解し、マイノリティーが絡む民族紛争を概観する。さらに、マイノリティーが複雑に絡み合うアメリカ合衆国の状況を見て、マイノリティー問題を考える。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを使用する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要に応じて紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>現在、世界のいたるところで紛争が行われている。その原因には、多くの場合、19世紀のヨーロッパの大国が勝手に国境線を引いたために分断された民族が関係している。パレスチナ問題、コソボ紛争、アフガニスタン問題、という言葉聞いたことがあるだろう。この背景には、少数に分断された民族（マイノリティー）が深く関わる。このような世界の状況を、まずは概観する。さらに、多民族国家といわれるアメリカは、世界の警察と自称しながら、自国の中にマイノリティー問題を多く抱えている。ネイティブ・アメリカンや（インディアン）やアフロ・アメリカン（黒人）は特に有名である。このようなアメリカ国内のマイノリティー問題を、それぞれの集団に即してみよう。授業は次のような順に講義していく。</p> <p>マイノリティーとは 帝国主義と植民地の遺産 民族紛争 人種の坩堝からサラダボール理論へ：アメリカのマイノリティー アメリカ黒人の歴史 ネイティブ・アメリカン ユダヤ人</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席点とレポートにより評価する。</p>	

【授業科目】 現代企業論（現代の企業）	【担当者】 市原 祐則
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>日本経済の中心的役割を担う企業・会社について基礎的な常識を修得する事を第一目標とする。更に、会社の集団である業界、個々の会社の組織、活動状況などを知り、会社で働く個人の意識問題を共に考えたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリント、レジュメを配布して行う</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>市原祐則著 就職活動のための「やさしい会社入門」（日経事業出版社）</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>①産業界には製造業、流通業、サービス業など色々の業界がある</p> <p>②業界の中でも会社にはそれぞれ個性がある</p> <p>③会社にも、株式会社、有限会社など色々の種類がある</p> <p>④会社には大勢の社員がいるから、当然、組織がある</p> <p>⑤組織は階層を成すから構成員に役職が生じる</p> <p>⑥年功序列、終身雇用という従来の日本的会社制度は変わりつつある</p> <p>⑦勤続年数に応じて賃金が上がっていくという制度の崩壊</p> <p>⑧新卒一括採用、社内教育、勤務評定など各種制度の変革</p> <p>⑨月給制度から能力給、年俸制への変更</p> <p>⑩広がる転職など労働市場の流動化</p> <p>——産業界の過去と変化する現状に基づいて、これから「働くことの意義」を考える</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況、小テスト、レポートの総合評価</p>	

【授業科目】 時事・社会特講	【担当者】 市原 祐則 ・ 今井 博 ・ 小林洋子
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>《市原》日本経済の実情、産業界、日本を代表する会社の活動状況などについて基礎的知識の修得を目標とする。社会人として生きて行くために必要な会社に関する初歩的常識を身に付け、就職活動の際の助けにしたい。</p> <p>《今井》ニュースを理解すること</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>《市原》プリント、レジュメを配布して行う</p> <p>《小林》特に指定はありません。参考文献等を授業の進行に応じて適宜使用します</p>	
<p>【参考書】</p> <p>《市原》市原祐則著 就職活動のための「やさしい会社入門」(日経事業出版社)</p>	
授 業 計 画	
<p>《市原》①日本経済は世界第2位の地位にあるが、なぜ不況といわれるのか ②不況、デフレなどは日本人の生活にどういう影響が出ているのか ③不況の中、日本人の雇用、特に若人の雇用にどういう影響が出ているのか ④以上3点を踏まえて、受講生の今後の生き方についてレポート作成</p> <p>《今井》ニュース報道における新聞とテレビの違いを知る。 新聞には各紙それぞれの立場がある。 その差を知ってニュースをより深く理解する。</p> <p>《小林》現代社会と職業観 企業をとりまく環境 会社とは何か 職業選択と適正 企業が求める人材 能力開発と自己啓発 インターシップについて コミュニケーション力を磨く</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>《市原》出席状況、小テスト、レポートの総合評価</p> <p>《今井》授業内のレポート</p>	

【授業科目名】 家庭介護総論	【担当者】 関谷栄子 佐野英司 八木絃一郎 秋山治子他
【開講期】 2 年 前 期	
【授業目標】 福祉の理念を理解するとともにヒューマンケアサービス（対人援助サービス）に必要な技術、特に家庭における介護の技術を学ぶ。家庭介護技術には高齢者・障害者（児）の福祉制度、障害・疾病、心理を理解し家族を含めた相談援助も含まれる。 この授業ではこれら家庭における介護を行うに必要な知識と技術が修得できるように講義を進める。この授業と「家庭介護演習」「家庭介護実習」を修得することにより「ホームヘルパー養成講習2級課程修了証書」を得ることができる。	
【テキスト・参考書】 授業のはじめに指定する。	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 福祉理念とケアサービス 2. サービス提供の基本視点 3. 老人福祉の制度とサービス 4. 障害者（児）福祉の制度とサービス 5. ホームヘルプサービス概論 6. ホームヘルパーの職業倫理 7. 障害・疾病の理解（Ⅰ）、（Ⅱ） 8. 高齢者・障害者（児）の心理 9. 高齢者・障害者（児）等の家族の理解 10. 介護概論 <ol style="list-style-type: none"> 11. 相談援助とケア計画の方法 12. 医学の基礎知識 13. 在宅看護の基礎知識 14. 住宅、福祉用具に関する知識 15. 共感的理解と基本的態度の形成 16. リハビリテーション医療の基礎知識 	
【評価方法】 出席点及びレポートにより評価する	

【授業科目名】 家庭介護演習	【担当者】 森山千賀子、西方規恵 他
【開講期】 2 年 前 期	
【授業目標】 ヒューマンケアサービス（対人援助技術）に必要な技術、特に家庭における介護の技術を実際に学ぶ。 この授業と「家庭介護総論」「家庭介護実習」を修得することにより「ホームヘルパー養成講習2級課程修了証書」を得ることができる。	
・参考書】 授業のはじめに指定する。	
基本介護技術 <ul style="list-style-type: none"> ・ 食事や入浴などの生活の介護 ・ 肢体不自由者の移動介助 ・ 視覚障害者の歩行介助 ・ ベッドメイキング及び衣類など環境整備 ・ 緊急時の対応 ・ 援助者の健康管理 	
【評価方法】 出席点、 レポート・その他により評価する。	

【授業科目名】 家庭介護実習	【担当者】 西方規恵他
【開講期】 2年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>ヒューマンケアサービス（対人援助サービス）に必要な技術を介護施設及び在宅介護の現場で実習する。</p> <p>この授業と「家庭介護総論」「家庭介護演習」を修得することにより「ホームヘルパー養成講習2級課程修了証書」を得ることができる。</p>	
<p>【テキスト・参考書】</p> <p>授業のはじめに指定する。</p>	
授 業 計 画	
<p>施設などにおける実技実習の内容</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 施設介護の現場実習 2. 在宅介護現場訪問と業務実習 要介護高齢者や障害者（児）の家庭における在宅介護の同行訪問、見学実習 3. 在宅サービス提供現場の見学 デイサービスセンター、在宅介護支援センター、訪問看護ステーション等の見学実習 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席点及びレポートにより評価する</p>	

【授業科目】発達心理学Ⅰ	【担当者】中川佳子
【開講期】1年前期	
<p>【授業目標】人が生まれてから死にいたるまで、心理学の対象となるところがどのように発達するかを勉強します。身体の成長に伴い、こころにどのような変化が生じるのか？乳児期や幼児期・・・という発達段階ごとの特徴を勉強するだけでなく、言語や知能など、各認知機能別に発達を勉強しましょう。時間的余裕があれば、ビデオなどの視覚教材を活用して、分かりやすく高度な専門知識の修得が行えればと考えています。</p>	
【テキスト】特になし	
<p>-----</p> <p>【参考書】新心理学ライブラリ 2. 幼児心理学への招待—子どもの世界づくり サイエンス社</p>	
授 業 計 画	
<p>乳児・幼児・児童期の発達</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人間の発達の特徴 2. 人間発達の可塑性 3. ことばの獲得 4. 人と人との関わり 5. 自己意識の発達 6. 言語諸機能の発達 7. 世界を知る手段の充実 8. 数の概念の発達 9. 読み書き能力の獲得 <p>老齢期の発達</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 加齢に伴う諸機能変化 2. 加齢に伴う認知機能の衰退 	
【評価方法】レポートならびにテスト	

【授業科目】教育学概論	【担当者】中嶋みさき
【開講期】 1年前期	
<p>【授業目標】 現代の日本における子どもの問題の背後には、地域社会や家族のあり方の変化が指摘されている。その一例として、子どもの遊びの変化、育児不安や児童虐待などの問題をあげることができるだろう。 それらは改めて近代以降の歴史の中で、「子育て」や制度的な「教育」のあり方に根本的な問いを投げかけている。この講義では、近代教育学にもとづき、教育的なものの見方、考え方の基礎を学び、日本における「子育て」をテキストによりながら学習し、現代において「教育とはなにか」を考察できるようにしたい。</p>	
<p>【テキスト】 太田堯『教育とはなにか』岩波新書</p>	
<p>【参考書】 J・J・ルソー『エミール』岩波文庫</p>	
授 業 計 画	
<p>以下のような流れで順次テーマをとりあげる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 近代における子どもの発見と自己教育の思想 2. 近代家族の成立とジェンダー問題 3. 日本における「子育て」 <p>等を予定しているが、受講者の関心により、内容が変更されることがある。 講義形式の授業であるが、できるだけ学生みなさんの問題関心に配慮して授業を進め、現代教育の諸問題とむきあうための手がかりを提供できるよう努力したい。講義内容に関する積極的な質問、意見、感想を期待している。 3においては、毎回小レポートを課す予定である。 上記に示したような資料の他、使用した資料などについては、随時時間内に指示する</p>	
<p>【評価方法】 出席とレポートをもとにした総合的評価をおこなう。</p>	

【授業科目】庶民の生活文化	【担当者】高橋徹
【開講期】1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>私たちの親の世代や、祖父祖母の世代の人々は、どのような暮らしをして、どのようなものに感動し、どのような感じ方や考え方をしてきたのでしょうか。この授業では、第二次世界大戦後の日本人の生活の歴史を理解し、また、みなさんが自分自身の生活についても、考えるきっかけを得ることを目的としています。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは使いません。資料を配布する予定です。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業の中で紹介していきますが、とりあえず『暮らしの世相史』（加藤秀俊、中公新書、2002年）をあげておきます。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>生活文化といっても、「衣食住」に限るのではなく、もう少し広く考えていきたいと思っています。例えば、映画や音楽を楽しむことも、私たちの生活の一部でしょう。この、広い意味での生活文化の歴史を理解するために、時代をたどりながら、テーマに沿った、古い映画やドキュメンタリーなどをビデオで見て、それについて議論したり、考えたことを小レポートにまとめたりしながら、授業を進めていく予定です。</p> <p>テーマとしては、次のようなものを予定しています（資料の関係で、変更になることもあります）。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 生活史をつくる (2) 『映像の世紀』で見る 20 世紀の日本 (3) 第二次世界大戦の時代 (4) 戦後復興と闇市 (5) 戦後民主主義と女性 (6) 太陽族と「新しい」若者文化 (7) 家電製品の普及 (8) 高度経済成長時代のサラリーマン (9) 東京オリンピックがもたらしたもの (10) ビートルズ現象 (11) 旅行の時代 (12) 歌謡曲で聴く昭和 	
<p>【評価方法】</p> <p>授業内の小レポート、期末試験をあわせて評価します。</p>	

【授業科目】 現代の文化と風俗	【担当者】 先川 直子
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>わが国の文化や風俗には、若者たちがその中心的な役割を担ったものが少なくない。特に、昭和30年代の高度成長期以降は、生活が豊かになるとともに、消費とマスメディアに結びついた若者文化が誕生し、若者たちが風俗やファッションを創り出していくようになった。</p> <p>本講義では、その中でも特に若い女性たちが主導権を持って関わったものに焦点を当てて、時代を追いながら見ていき、現在直面している問題点についても考える。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用しない。必要に応じてプリント資料を配付する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>佐々井啓・篠原聡子・飯田文子編著『生活文化論』（朝倉書店）</p> <p>小池三枝・柴田美恵『日本生活文化史—近現代の移り変わり—』（光生館）他</p>	
授 業 計 画	
<p>時代順に次のようなテーマを設定し、各テーマについて順次講義をおこなう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ハイカラさん—洋風の導入と和風との折衷— 2. モダンガール 3. あこがれのアメリカ文化—自由で豊かな生活の象徴— 4. 昭和30年代の生活文化革新 <ul style="list-style-type: none"> 団地の誕生と核家族の増加 家庭裁縫から既製服へ 3種の神器と3C—家電製品の普及— インスタント食品の登場 5. 女性の高学歴化と女子学生亡国論 6. 「若者」がつくる新しい文化 <ul style="list-style-type: none"> ミニスカート—街角から生まれた若者のファッション— ジーンズ—労働着から反抗・反体制のシンボルへ— 新人類文化とDCファッション ディスコ文化とボディコン・ギャル コギャル文化と携帯電話の普及 7. 大量生産・大量消費への反省—「もの」とどう向き合うか— 8. 高度情報化社会のもたらしたものと問題点 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末の試験・授業時の課題レポート類・出席状況・授業態度などによる総合評価</p>	

【授業科目】 現代社会と教育	【担当者】 民 叙 言
【開講期】 前期	
【授業目標】 現代社会は、多様な相をみせ、大きく変化してきている。そのなかで私たちは生活する、充実した毎日を送るためには「教育」は欠かせない。本講では幼児教育(保育)に限定し、社会との切りわりを考えていく。	
【テキスト】 平成14年 文部省 教育・保育・福祉関係法令集 北大路書房	
【参考書】 講義の中で、必要に応じて指示する	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間にとって「教育」はどのような意味をもつか 2. 乳幼児期の「教育」としての保育の意味 3. 現代社会の特徴 (1) 家族生活 4. 同 上 (2) 地域生活 5. 現代社会における保育の課題 (1) 幼稚園 6. 同 上 (2) 保育所 7. 同 上 (3) 学童保育所 8. 現代社会における「教育」 (1) 福祉と教育 9. 同 上 (2) 国際化と教育 	
【評価方法】 ペーパーテストと出席点による	

【授業科目】博物館を学ぶ	【担当者】柘植 信行
【開講期】1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>博物館は、私たちの生活や文化にどのような関わりをもっているのでしょうか。 ますます多様化する現代の博物館の現状を学びます。博物館の楽しさを発見し、 その仕事や学芸員の役割について一緒に考えましょう。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>講義に必要な資料は、適時配布します。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>博物館学シリーズ 1 『博物館概論』[樹村房]</p>	
授 業 計 画	
<p>“博物館”てどんなところ？ 身近になった博物館—地域博物館の現状— 博物館いろいろ！ 都市型水族館、野外へ出る美術館、体験・体感の科学館 歴史と対話する博物館、平和を訴える博物館、テーマパーク 町ぐるみ博物館、エコミュージアム、デジタルミュージアム……</p> <p>博物館は生涯学習の舞台 博物館の出来るまで 博物館の施設と運営 学芸員の仕事 博物館ボランティアの活躍 “博物館資料”発見 展示は博物館の顔 特別展に挑戦 博物館でインターネット 博物館行こう。</p> <p>何回か博物館や美術館に見学に行きます。 講義日以外の場合もあります。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート・博物館見学感想文・出席等</p>	

【授業科目名】 心理学入門Ⅰ	【担当者】 心理学科専任教員
【開講期】 1年前期	
【授業目標】 心理学という学問の歩みやそれぞれの分野でのトピックを通して、人間を心理学的な視点から見る態度を養います。	
【テキスト】 【参考書】 個々の授業の中で紹介します。	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 心理学の歴史と基本的立場-----金子 2. 知覚心理学-----金子 3. 実験心理学-----多喜乃 4. 学習心理学-----荻野 5. 発達心理学(青年心理学)-----林 6. 人格心理学-----金 7. 臨床心理学-----林 8. 健康心理学-----金 9. 生理心理学-----多喜乃 10. 社会心理学-----倉澤 11. 心理学の研究法-----荻野 12. 心理学と社会-----倉澤 <p>※授業の順序は多少入れ替えられることがあります。</p>	
【評価方法】 出欠席と期末試験(マークシートによる客観テストを予定)により評価します。	

【授業科目】 心理学入門Ⅱ [性格と人間関係]	【担当者】 林 潔
【開講期】 教養教育1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>サブタイトル <性格について></p> <p>併せて今日の心理学の基本的な考え方について紹介します。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>なし</p>	
<p>【参考書】</p> <p>随時紹介します。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>いろいろなタイプの人がありますね。 同じ事についても受け取り方は、人によってさまざまです。 どうしてなのでしょう。 なぜ人は、その人なりのやり方で行動するようになるのでしょうか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 行動についての心理学の見方 <ol style="list-style-type: none"> (1) 経験を重視する (2) ものの見方を重視する (3) 過去の経験、特に幼児期の経験を重視する 2. 「血液型と性格」は？ 3. 今日の性格についての考え方 4. 人間関係について考える <p>質問歓迎です。Mailも使ってください。 hayashi@shiraume.ac.jp</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点、指定図書レポート、期末試験で評価します。</p>	

【授業科目】 体の不思議	【担当者】 村田 務				
【開講期】 1年後期					
<p>【授業目標】</p> <p>1) 人間の身体と生命活動に対する知的探求心を喚起し、身体の特徴的なしくみと働き、外界との繋がりに関する基礎知識について理解させる。</p> <p>2) 自らの体の不思議さと巧みさを知ることによって、「生命活動の主体」として自分自身を認識する基盤を形成させる。</p>					
【テキスト】 使用せず					
<p>【参考書】</p> <p>菊池俊英：人間の生物学、理工学社、1976年。 香原姿勢：人類生物学入門、中公新書、1975年。 佐藤方彦：人間と気候、中公新書、1987年。 藤田紘一郎：共生の意味論、講談社ブルーバックス、1997年。 宮城重二：女性はなぜ長生きか、講談社ブルーバックス、1996年。ほか</p>					
授 業 計 画					
<p>今日、いじめや児童虐待、自殺、薬物使用、買春、売春など、他人や自分自身の生命及び健康、人権に関わる諸問題が社会的問題としてクローズアップされてきている。これら背景には様々な事柄が考えられている。その1つとして「自他の体に対する尊厳の念が希薄で、自他の体や命を大切にするという意識が薄れているのではないか」という指摘もされている。</p> <p>教科目「体の不思議」では、人間の体の仕組みと働きの理解を通して、「ヒトの体の不思議さ」や「人間のからだのすばらしさ」に触れる。そして、人間の、自分自身や他人の生命や健康、人権の大切さについて考える契機とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="vertical-align: top; width: 50%;"> <p>1 温度に対する恒常性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜゾウは水浴びをするか ・なぜヒトは汗をかくか ・なぜヒトは鳥肌が立つか </td> <td style="vertical-align: top; width: 50%;"> <p>2 気候と人類の適応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜラクダは砂漠で強いのか ・なぜヒトの体温は37℃か ・なぜヒトは人種によって体型が違うか </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>3 外敵から体を守るしくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜヒトはばい菌の中で生きていけるか ・なぜ寄生虫が減るとアレルギーが増えるか ・なぜ心配事があると胃が痛むのか </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>4 男女の不思議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ女性は長生きか ・なぜ男と女がいるの ・なぜヒトは異性を求めるか </td> </tr> </table>		<p>1 温度に対する恒常性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜゾウは水浴びをするか ・なぜヒトは汗をかくか ・なぜヒトは鳥肌が立つか 	<p>2 気候と人類の適応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜラクダは砂漠で強いのか ・なぜヒトの体温は37℃か ・なぜヒトは人種によって体型が違うか 	<p>3 外敵から体を守るしくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜヒトはばい菌の中で生きていけるか ・なぜ寄生虫が減るとアレルギーが増えるか ・なぜ心配事があると胃が痛むのか 	<p>4 男女の不思議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ女性は長生きか ・なぜ男と女がいるの ・なぜヒトは異性を求めるか
<p>1 温度に対する恒常性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜゾウは水浴びをするか ・なぜヒトは汗をかくか ・なぜヒトは鳥肌が立つか 	<p>2 気候と人類の適応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜラクダは砂漠で強いのか ・なぜヒトの体温は37℃か ・なぜヒトは人種によって体型が違うか 				
<p>3 外敵から体を守るしくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜヒトはばい菌の中で生きていけるか ・なぜ寄生虫が減るとアレルギーが増えるか ・なぜ心配事があると胃が痛むのか 	<p>4 男女の不思議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ女性は長生きか ・なぜ男と女がいるの ・なぜヒトは異性を求めるか 				
<p>【評価方法】</p> <p>平常試験（レポート又はペーパーテスト。学習意欲と出席を重視する。）</p>					

【授業科目】 生物の世界と人間	【担当者】 近藤正樹
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>人間は生き物（生物）の一種にすぎません。パスカル（哲学者）が言ったように「考える」ことのできる生物です。生物としての共通点とヒト（生物の一種）としての特異点を再確認した上で私たち「人間」の生き方を見直していくことを主な目標としています。その中で科学的な考え方、態度にふれて頭の使い方の練習（思考訓練）も上達するようにします。</p>	
<p>【テキスト】 なし</p>	
<p>【参考書】 なし</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 生物と無生物 <ul style="list-style-type: none"> 気体の世界、流体の世界、流体という考え方、固体と結晶、ポーリング説を展開して 2. 生物の紀元 <ul style="list-style-type: none"> ①流体の中での変性、高分子化への道、solとgel、表面膜の特化 ②単純から複雑へ、未分化から分化へ、発達と退化 3. 生物の種類と分類 <ul style="list-style-type: none"> 分類すること、系統分類法、世界共通の名称（学名）世界で繁栄した生物とその原因 4. 個体維持と種族維持 5. 集団（個体群）としての人間集団 6. 集団（群集）の中の人間の位置と役割 7. 昆虫の社会と高等動物の社会 8. 動物の社会と人間の社会 9. 「考える」動物としての長所と限界 10. 人間はこれから何を努力しなければならないか 	
<p>【評価方法】 レポートと定期試験</p>	

【授業科目】 人間と環境	【担当者】 吉川 研二
【開講期】	
【授業目標】 35億年前の海の中で最初の原始生物が誕生したといわれている。以後、地球環境の全体システムは、様々な生物と密接に関係しながらいく度かの大変革を経て現在の姿を作りあげてきた。私たち人間を含めた地球上のあらゆる生物は、周囲の大気や水や土壌といった環境と微妙な均衡を保ちながら生活しているのである。 様々な環境汚染、自然破壊、種の消滅などは、このシステム全体の単純化につながり、ヒトの生存をも危うくする。私たちひとりひとりの生活のあり方が問われている。	
【テキスト】 プリントなど	
【参考書】 授業中に適宜紹介する	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 宇宙の中の地球 宇宙のこと 銀河系のこと 太陽系のこと そして地球 2. 地球環境の変遷 原始地球の姿 生命の誕生 生物の進化と地球環境 3. 地球環境系と生命 生命を育む天体地球 地球を作る物質 太陽エネルギー 大気の働き 水の働き 二酸化炭素やオゾンなど化学物質の働き 4. 生態系の構造と機能 生態系とは 非生物的要素と生物の群集 物質の循環とエネルギーの流れ 5. 地球環境悪化と生態系 地球温暖化 温室効果ガス・温暖化の影響 森林の現象 熱帯雨林の破壊と生物の多様性の崩壊 様々な人工化学物質の氾濫 環境ホルモン 水の汚染・大気の汚染・土壌の汚染 オゾン層の破壊 紫外線と生物 6. 生活の中の環境問題 資源 消費 廃棄 自然生態系でのリサイクル 人工生態系でのリサイクル 7. ふたつのエコ 環境倫理 	
【評価方法】 平常点＋筆記試験	

【授業科目】生活と健康	【担当者】明渡陽子
【開講期】後期	
<p>【授業目標】</p> <p>健康の概念理解と健康であることの意義（個人のレベル・社会の一員としてのレベルなどで）を考える。さらに、加齢と言う生理現象を背景として、一生健康である（健康維持・健康増進）ために必要な知識の習得と健康な生活設計の方法の習得をめざす。また、最近の健康問題についても、その背景・原因の理解とその対策を学ぶ。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>栄養、健康科学シリーズ 健康管理概論（南江堂）とプリントを使用</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>以下の内容についての講義を行う予定。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康の概念 <ol style="list-style-type: none"> ① 健康の定義 ② 個人・集団の健康指標 ③ 健康成立条件（vs 疾病とは＝疾病の成り立ちと疾病予防の段階・対策など） 2. 高齢社会とわが国の健康水準 3. 最近の健康問題 <ol style="list-style-type: none"> ①生活習慣病（癌・脳血管障害・虚血性心疾患・糖尿病など） ②アレルギー疾患 ③その他（エイズ・狂牛病・環境ホルモン・フロンとオゾン層の破壊・精神ストレス問題等） 4. 健康管理法（健康生活設計法の習得） <ol style="list-style-type: none"> ① 食事 ② 運動 ③ 休養とストレス ④ 飲酒・喫煙の健康への影響について 5. 女性の医学（加齢と性機能・月経のしくみとホルモン・性病などの主な婦人科疾患の理解・人工妊娠中絶と避妊について） 6. わが国の保健医療体制 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況と筆記テスト</p>	

【授業科目】生と死を考える	【担当者】嶋根 久子
【開講期】1年 前期	
<p>【授業目標】人は死に直面した時、生きているという実感を一層強くもつと言われている。しかしながら、核家族化が進行する中で、寿命が飛躍的に延び、加えて病院で死を迎える昨今、我々は死を体験する機会が非常に減少している。従って、この講義では、人のもつ「追体験」という能力をフルに活用して、より充実した生を目指して、様々な角度から、死について考えてみたいと思います。</p>	
【テキスト】	
<p>-----</p> <p>【参考書】『死の社会学』副田義也編、岩波書店、『死ぬ瞬間』キューブラ・ロス、読売新聞社、『生と死を考える』アルフォンス・デーケン、春秋社など。</p>	
授 業 計 画	
<p>(1) 死の諸相 ①病死②事故死③災害における死④自死⑤自然死</p> <p>(2) 家族と看護、あるいは死の看取り ①死の諸相による家族の影響②子供の死③親の死④高齢者の死⑤配偶者の死</p> <p>(3) 死者の年齢別に見た、残された家族の問題 ①配偶者の死②子供の死③親の死</p> <p>(4) 死の受容の諸形態 ①死にゆく人②残された家族</p> <p>以上のことを主なテーマとするが、その際、より一層の理解を深めることを目的として、視聴覚教材を援用しながら、講義を進める。</p>	
<p>【評価方法】評価はレポートとする。授業期間中に見たビデオについて、そのつどレポートを提出し、それらと最終レポートとを合わせて評価を決める。</p>	

【授業科目】	人間の生と性	【担当者】	浅井 春夫
【開講期】	1年 後期		
【授業目標】	性を明るく、おおらかに、そして科学的に語れる基礎的な力をつけてもらいたいと願っている。具体的には、①人間の性に関するミニマム・エッセンスを学ぶことを通して、性的自立と性的共生能力をはぐくんでいくことを大切にする。私たちが自分らしく、そしてお互いを大切に生きる上でどのような性行動を選択するかが問われているからである。②セクシュアル・マイノリティの人権の現実を学ぶ。性に関する偏見をなくしていくことは共生の重要な条件であるからである。③タイムリーな性に関する問題を討論できる場を設けたい。この時代に生きる一人ひとりの生と性を見つめ直す機会としたいからである。人間の生と性の科学的な理解と性をめぐる人間関係を真摯に学んでほしい。		
【テキスト】	浅井春夫『セクシュアル・ライツ入門』（十月舎、2000年、2500円＋税）		
【参考書】	浅井春夫・伊藤悟・村瀬幸浩共編『日本の男はどこから来て、どこへ行くのか』（十月舎、2001年、2500円＋税） 浅井春夫『子ども虐待の福祉学』（小学館、2002年、1700円＋税）		
授 業 計 画			
<p>テキストをもとに以下のような計画をたてているが、タイムリーな問題を取りあげて講義することもある。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 本授業での問題意識と授業の運営についての共通確認 ② セクシュアリティに関する基本的な用語の説明 ③ マイノリティ（ゲイ、トランス・ジェンダー、インターセックス e t c）のセクシュアル・ライツ—いまも平然と行われる差別と偏見、それは性と政をめぐる問題 ④ 子どものセクシュアル・ライツの現状—わが国と世界の現実から— ⑤ 子どもの性的発達の特徴と性をはぐくむ課題—とくに男性形成の問題を考える ⑥ 避妊を学ぶ—妊娠と避妊のしくみ、女性用コンドーム、ピル ⑦ 恋愛のスズメ—恋愛を発展させる方法、グループ討論「こんな場合、どうする？」 ⑧ 性器の生理学—男と女の性器はもとは同じだった！性器の構造を学ぶ ⑨ 性交の人間学—性交は人間にとって、二人の関係にとってどのような意味をもっているのか。二人の関係性を反映した性交の現実を考える ⑩ 生殖医療の最前線（体外授精、代理母など）をめぐる討論—あなたは賛成？反対？ ⑪ エイズの政治学—その南北問題としての側面 ⑫ セクシュアリティの過去・現在・未来—性の主体者として生きるために 			
<p>キーワード</p> <p>セクシュアル・ライツ（性的人権）、セクシュアリティ（その人らしい性のあり方）、性の多様性、セクシュアル・オリエンテーション（性的指向）、同性愛（ゲイ、レズビアン）、トランス・ジェンダー、Aセクシュアル、インターセックス、避妊、ピル</p>			
【評価方法】	定期試験		

【授業科目】 労働・健康特講	【担当者】 木元稔
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>生涯を通じて自立と生きがいを持った生き方が期待されているが、精神的にも明るく活力ある健全な心の豊かさを築くために、ボランティア、就労、健康づくり、余暇・生涯学習、経済金融、福祉相談などに関する多様な情報提供の知識を学ぶ。</p> <p>また福祉援助学科の学生はパソコンを駆使する「生きがい情報士」の資格取得を目指す。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>「生きがい情報士養成テキスト」1・2</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 健康と生きがいづくり 2. 社会参加とボランティア 3. 就労と中高年対策 4. 健康づくりと生活習慣病 5. 余暇と生涯学習 6. 経済金融と税金・年金 7. 食生活と運動・休養 8. 福祉相談と介護保険 9. 相談援助技術、集団参加援助技術、地域参加援助技術 10. 調査広報技術、イベント技術 11. ライフプラン技術 12. パソコンによる生きがい情報演習 	
<p>【評価方法】</p> <p>期末試験により評価する。</p>	

【授業科目】教養体育（実技）テニス	【担当者】野田達也
【開講期】1年前期、2年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>テニスについて学習し、実践していくことで「健やかに生きるための基盤」を得ることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特になし。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>特に指定しない。</p>	
授 業 計 画	
<p>自分たちが、練習の計画を立て、自分たちだけでスムーズにゲームが進められるよう、以下のよ うな技術について学んでいく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) ボール、ラケットに慣れる。 2) フォアハンドボレー 3) バックハンドボレー 4) フォアハンドストローク 5) バックハンドストローク 6) ストロークラリー 7) サービス、レシーブ 8) 試合の進め方 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席を重視する。授業期間における技術の進歩、積極性、協調性などを評価する。</p>	

【授業科目】 教養体育(実技)	【担当者】 松岡由紀子
【開講期】 1 年前期	
<p>【授業目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スポーツをすることによって運動不足を解消し、体力の保持増進をはかり、精神的ストレスを解放する。 ・ 運動技能と知識の習得。 	
【テキスト】	
----- 【参考書】	
授 業 計 画	
<p>【バドミントン】</p> <p>技能練習とゲーム</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、グリップとシャトル慣れ 2、ストロークの練習 <ul style="list-style-type: none"> ・ フォアハンドストローク ・ バックハンドストローク ・ クリアー (ハイクリアー) ・ ドロップ ・ ドライブ ・ ヘアピン ・ プッシュ ・ スマッシュ 3、サービスの練習 <ul style="list-style-type: none"> ・ ロングハイサービス ・ ショートサービス 4、集団技能の練習 5、ゲームとルール、審判法 <ul style="list-style-type: none"> ・ ダブルス ・ シングルス 	
<p>【評価方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平常点 (出席重視) ・ 授業中に採点する。 	

【授業科目】教養体育（講義）	【担当者】野田達也
【開講期】1年後期前半	
<p>【授業目標】</p> <p>健康な身体の維持、増進に対して運動が持つ効果について学習し、自分自身が健康な身体を獲得していくとともに、周りの人間に対してもアドバイスできるよう正しい知識を得ることを目標とする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特になし。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>特に指定しない。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>人間が健康な身体を維持し、生活していくためには体力が必要となる。また、生活習慣病（肥満、糖尿病、高血圧症、心筋梗塞）や、骨粗鬆症などを引き起こさないためには、運動を実践することが必要となってくる。健康な身体の維持、または増進に対して運動が持つ効果について、生理学的な面から学習する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 体力についての概念 2) エネルギー摂取量・消費量 3) 体脂肪率の判定 4) 骨量、骨粗鬆症 5) 全身持久力 6) 運動処方 7) 運動療法 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席を重視する。ペーパーテストおよび学習意欲についても評価の対象とする。</p>	

現代保育教養コース
教養教育科目（2年）

【授業科目】海外語学研修	【担当者】中島好伸
【開講期】1年前期・2年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>イギリスに約4週間滞在することによって、生の英語に接し、英語運用能力を高める。また、イギリスで生活し、名所旧跡を訪ねることによって、イギリスの生活習慣や文化を肌で感じ体得する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用しない。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>必要に応じて紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>授業の中心は8月2日出国、イギリスはリーズ市にあるリーズ・メトロポリタン大学の語学センターで3週間実施される語学研修にホームステイしながら参加、8月27日帰国のイギリス滞在にある。しかし、出発に備えて、前期に5回の事前指導を行う。パスポートの取得から、渡航手続きをこの期間に行い、あわせて現地での基礎情報や生活情報、そして必要最低限の英語の学習を行う。参加費は、別に配布されるチラシを参照のこと。英語力については、一切問わず、ゼロからでも現地の先生が懇切丁寧に指導してくれ、帰国するときには、英語の面白さが身にしみてわかるだろう。全期間担当者が同行する。なお、最低催行人数に達しない場合は、実施されないこともあるので注意。</p> <p>予定内容（あくまでも予定）</p> <p>5回の事前指導</p> <p>8月2日 成田出発 直行便にてロンドン</p> <p>8月3日 ロンドンからリーズへ</p> <p>8月3日—8月24日 ホームステイして、メトロポリタン大学の語学センターにて研修</p> <p>8月24日 リーズからロンドンへ</p> <p>8月25日 ロンドン市内観光</p> <p>8月26日 ロンドン・ヒースローから帰国の途</p> <p>8月27日 成田帰国</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点、出席点に現地での課題成績を加味して評価する</p>	

【授業科目】 選択外国語 英会話 (応用)	【担当者】 サラ ブロック (Sarah Brock)
【開講期】 2年前期・2年後期	
【授業目標】 中学あたりからの文法科目の総復習、ちなみに会話で適切である文法とそうでない文法の区別、を基盤に自然体でいられて、コミュニケーションを求める精神を養う。	
【テキスト】 プリント (将来まとめてテキストにします)	
【参考書】 電子辞書、紙の辞書 (パックス講談社) など	
授 業 計 画	
〔前期〕 (1-3 週) 自己紹介を面白くするには? マイナス発言 (自分は英語できない、自分の近所は面白くない) などを除けば何が残る? 現在形と現在進行形を調べる。用意した会話を使って短い劇 (スキット) も時々する。 (4-8 週) 自分の物語は? 難しい言葉を使ってしまうという辞書の罠とその脱出方法、そして話したくないときの逃げ方を探る。過去形と過去分詞中心の文法を利用する。 (8-15 週) 将来なにになりたい? 小さいときと今 (学生るとき) で嫌になるほど聞かれる質問です。真面目の話題、そしてちょっとふざけた話題を取り上げ、未来系を使いこなす。歌も使う。 〔後期〕 (1-3 週) 夏休みの課題は英語日記でした。互いの日記を読み上げ、内容について会話をする。言葉の順序を正しくするコツと文法のパターンをいくつか使う。 (4-8 週) 自分の文化は? 日本のこと全ては管轄外ですよ、まず自分の日常生活での*文化*を、たとえば外国の留学生に説明できるぐらいの会話実力を目指す。説明文中心。 (8-12) 英語を聞いて判らないときは誰のせい? 自分の耳を信じて! といった、歌と映画を使って耳を慣らす。そして慣らした耳に入ってくる情報を受け止め、それに関して自分の感想、意見、考えを述べる力を目指す。関係代名詞・関係福祉をつかう。できれば生徒の応募に答え、見たい映画と聞きたい音楽 (歌いたい歌?) にしたい。 (12-15 週) 授業で何か作りたくない? 英語を使って何かを作ろう。実際に作れなくてもイメージでできる。料理番組のスキット、折り紙を子供に教えるスキット、手紙の書き方や読み上げ方、授業でやって課題にして、レポートにする。	
【評価方法】 課題やレポートの提出、プリントの提出、インタビューテストなど。授業の中でテストが行う。	

【授業科目】 選択外国語 フランス語会話	【担当者】 村山知恵
【開講期】 2年前期・2年後期	
<p>【授業目標】 1年の時に学んだフランス語を少し実践してみましょう。ビデオ教材を用いて、生のフランス語を聞き取り、少しでも話せるようにしましょう。</p>	
<p>【テキスト】 A.Monnerie, "Bienvenue en France" (Hatier/Didier)</p>	
<p>【参考書】 仏和辞書</p>	
授 業 計 画	
<p>全部で13課、各課ごとに楽しいストーリーがあります。2回の授業で1課進む予定です。毎回ビデオを見てフランス語を聞き取り、教科書の文法練習問題と各課の登場人物と共に会話の練習をしましょう。</p>	
<p>【評価方法】 平常点（毎回の演習の成績）</p>	

【授業科目】 選択外国語 ドイツ語会話	【担当者】 田中 安行
【開講期】 2年前期・2年後期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ビデオを見ながらドイツ語の基礎の復習と簡単な会話、表現の仕方などを発展させる。 2. ドイツ語の童話や詩、歌などを学びながらドイツ語の音声に多く触れて、ドイツ文化への理解と親しみを深める。 3. ドイツの社会や文化に対する正しい知識と理解を通して国際的教養を身につける。 4. 簡単な会話から発展して、自分のことなどを自己表現できる基礎を発展させる。 	
<p>【テキスト】</p> <p>開講時に指示する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>開講時に指示する。</p>	
授 業 計 画	
<p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 音声訓練と表現——ビデオやテープを利用して、ドイツ語の音声に慣れ、理解する訓練を行う。重要表現を習得して、音声による自己表現もできるようにする。 2. ドイツ語会話——会話表現の学習を通してドイツ人の生活や考え方などを理解する。 3. ドイツ語の文構造理解——基本的なドイツ語の文でドイツ語の文構造と文法を理解する。 4. 文化理解——ドイツで作られたスライドやビデオ教材などを通して、ドイツ文化およびドイツの歴史や現状への正しい知識と認識を得る。ドイツの詩や歌を通してドイツ人の感情も理解する。 5. 文章理解——辞書を使って、やさしいドイツ語の文や童話などを読んで、ドイツ語の文に慣れる。 <p>[授業方法]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 毎時間ドイツ語会話や詩や歌を覚えて、自然にドイツ語で話し聞くことに慣れていく。 2. 会話表現を通してドイツ人の生活や考え方などドイツの文化を理解する。 2. 会話文や物語などの文を分析してドイツ語の文法のルールを発見する。文法を受け身でなく、自分から発見して身につけさせる。 3. ドイツのさまざまな資料（ビデオ・スライド・写真など）を使って自分たちでドイツについての発見を行うような動きのある学習活動を行い、ドイツに対する正しい知識と理解を得る。 4. ビデオやインターネットなどのメディアを通して、現代のドイツの人々の生活や風物に触れ、ドイツ語をより身近に感じられるようにする。 5. グループ学習を中心にして、ドイツ語の発音練習や会話、その他の学習活動を進めて、なごやかな雰囲気です充実した学習ができるようにする。 	
<p>【評価方法】</p> <p>ふだんの学習状況や発言などの平常点と口頭による質疑応答や小テストとレポートおよびテストなどで総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 選択外国語 英文講読

【担当者】 藤田久美子

【開講期】 2年前・後期

【授業目標】

主に4年制大学の3年次編入をめざす学生を対象にして、読解能力を高める事を目的とする。

【テキスト】

「Living a Fruitful Life」(成美堂)

【参考書】

授 業 計 画

今後高令化が進むと共に、余暇の時間はますます増えていくに違いない。その中で、「社会の様々なストレスとどのように向き合い、どのようにして充実した日常生活を送れるか」という事は、私達にとって大きな問題である。そこでこのクラスでは、「充実した生活」と密接にかかわる4つのテーマ、「食」、「スポーツ」、「ファッション」、「音楽」を取り扱っているテキストを使って、日本人の多くがこれらの分野を積極的に楽しんでいる様子を見とみたいと思う。

内容はそれぞれ興味深いものであると思うので、参加者はよく予習して授業に臨んでほしい。テキストは、各章が1ページ程度の読みの物と、その内容の理解度を測る練習問題、単語の感覚を養う問題(開き取りを含む)、さらに重要構文に慣れるための英作文の構成文になっている。

開き取り以外の部分は必ず予習しておくことを義務づける。全員がやってきてあることを前提に授業を進めたい。

テキスト以外にも、必要に応じてプリントを配って、少しいつもとは違った文件、テーマに慣れるための勉強も行きたい。

【評価方法】

平常点と期末テストの結果とを総合して評価する。

現代保育教養コース
専門科目（2年）

【授業科目名】 メディア社会と子ども	【担当者】 八木 紘一郎
【開講期】 2年・前期	
【授業目標】 テレビやゲーム、携帯電話の普及など、進化し続けるメディア環境が子どもにどのような影響をもたらすのか。その影響の光と影の部分について考え、子どもの健全な発達にどのような対応をしていったらいいかを考える。	
【テキスト・参考書】 「ゲーム脳を考える」「ニューメディア時代の子どもたち」子安増生、山田富美雄編・有斐閣 「マルチメディア時代の子どもたち」八木紘一郎共著・産調出版	
授 業 計 画	
<p>子どもの発想や思考の仕方、コミュニケーションの仕方、対人関係のとり方、感性や表現、遊びなど、子どもと生活文化にどのような影響を及ぼしているのかを捉え、これからのIT時代の子どもの文化、保育文化をどのようにしていくのが望ましいのかを探る。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1)メディア環境の急激な進化と普及を概観し、それらが私たち自身や子どもたちにどのような影響をもたらしているのか、五感や思考や身体への影響、人間関係や社会性への影響、表現と感性へのプラスマイナスの影響などについて明らかにして検討する。 2)それらの影響に対処に必要な対策と具体的な実践方法についてどのような実践があるのか、それらの課題について、および、保育文化のなかで必要な実践方法を考える。 3)マルチメディアの活用の仕方、スキルやメディアリテラシーをどう捉えていくのかなどを検討する。身近なメディア活用方法について検討する。 4)本来、子どものメディア環境の活用力について、。現状と課題情報化時代。情報刺激。多様なメディア環境に生きる人間、特に、子どもたちへの影響について、そのプラスマイナス、保育のなかで育成しなければならないスキル。リテラシー。既存文化のメディア、新しいデジタルメディアの影響を受けている子どもたちのために、家庭ではどうあったらいいのか、保育文化として何を強化しなければならないのかを実践的に考え、具体的な対策を考察する。 	
【評価方法】 平常点	

【授業科目】子どもの育ちと文化	【担当者】加藤 理
【開講期】2年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>みなさんは子どもの頃に出会った文化の思い出をお持ちですか?文化とはいっても、高尚な芸術や教養色豊かなものとは限りません。絵本やアニメ・おもちゃ・泥んこ遊び・替え歌・なぞなぞ・お手伝い・子ども会活動だって、すべて子どもたちが接する文化なのです。子どもたちが出会う文化をこうして挙げてみると、文化に接することなく成長したという人はいないはずです。では、誰もが成長する中で出合ったり体験したりする文化は、子どもの〈育ち〉にどのような影響を及ぼしているのでしょうか。この講義では、子どもたちの日常を取り巻くさまざまな文化を取り上げて紹介しながら、子どもの〈育ち〉と文化の関係について考えていきたいと思っています。みなさんが子どもだった頃に出会ったさまざまな文化を思い出してもらいながら、子どもにとって文化はどのような存在なのかということへの理解を深めてもらいたいと思います。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>浅岡靖央・加藤理編著『子どもの育ちと文化』相川書房</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>浅岡靖央・加藤理編著『子どもの世界』建帛社</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1 子どもを取り巻く文化 2 子どもにとって文化とは—希望としての文化 3 子どもの生活(時間・空間・仲間)と文化 4 子どもの遊び場の変遷と現状 5 児童文化と子ども文化 6 文化伝達の今と昔 6 文化の持つ可能性としての危険性 7 児童憲章とよい文化 8 アニマシオン・エデュカシオン・プロテクシオン 9 文化をめぐる大人と子どもの関係—センス・オブ・ワンダー 10 バーチャル・リアリティと子どもの文化 11 これからの子どもの文化 12 保育者の文化と子ども文化 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席を含めた平常点と持ち込み可による試験</p>	

【授業科目】子育て支援論	【担当者】瀧口美智代 ・ 垣内国光
【開講期】前期前半 ・ 前期集中	
<p>【授業目標】</p> <p>《瀧口》 1. 親が子育てを楽しいと思うとき、幸せと感じるときを知る。 2. 親が子育てに不安を抱くときを把握する。 3. 親が子育てに困っていることを把握する。 4. 親の悩みや不安について科学的な分析を学ぶ。 5. 親の悩みや不安への対応について考える。</p> <p>《垣内》 1. 子育て困難・子育て不安など子育て支援のニーズを理解する。 2. 子育て支援施策の概要を理解する。 3. 子育て支援実践事例を学ぶ。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>《瀧口》さいたまコープ編 『子育て わたし流』 さいたまコープ(500円)</p> <p>《垣内》垣内国光、櫻谷真理子編著『子育て支援の現在－子育てコミュニティの形成をめざして』 ミネルヴァ書房 02年 2600円</p> <hr/> <p>【参考書】</p> <p>《瀧口》子どもの権利条約をすすめる会編 『ポケット版 子どもの権利ノート －国連「勧告」掲載－』 子どもの権利条約をすすめる会(300円)</p>	
授 ・ 業 計 画	
<p>《瀧口》 1. まず初めに、テキストなどを基にして、親が子育てにどのような悩みを持っているのかを、具体的に知る場を作ります。 2. それらの悩みの背景に何があるのか、それらを解決するためにはどのような手立てが必要なのかをグループ討議などを取り入れて考えます。 3. 親の子育ての悩み、とりわけ母親の育児不安がどのような環境によって引き起こされるのか、子どもの発達や夫婦間のあり方を問いながら、その解消の道筋を考えます。 4. 人類の誕生以来続いている子育ての営みを、歴史的な視点からとらえ直し、親子関係、とりわけ母子関係のあり方を考えます。 5. 海外において子育てがどのような形で行われているのかを学び、その視点から日本における子育て支援を考えます。</p> <p>《垣内》 1. 少子化問題と子育て支援 1)子育て支援はなぜ始まったか 2)子育て支援が必要な本当の理由 2. 主な子育て支援政策 1)子育て支援の柱 － 医療、教育、住宅、児童手当、保育、相談援助</p>	

※次ページへ続く

※前ページより続く

2)ビデオ 『NHKナビゲーション 少子化対策医療費無料化の試み』20分時間内レポート

3. 乳幼児の生活と子育て支援のニード

- 1)育児実態調査を読む
- 2)子育て支援のニードを考える

4. エンゼルプランと日本の子育て支援の現状

- 1)国と自治体のエンゼルプラン
- 2)日本の子育て支援何が問題か

5. スウェーデンに学ぶ子育て支援

ビデオ『スウェーデンの子育て』50分 時間内レポート

6. 子育て支援の実践事例

- 1)こぐま保育園の子育て支援
- 2)CAPNAの電話相談
- 3)吹田市の街ぐるみの子育て支援

7. 子育て支援の課題

- 1)政策的課題
- 2)実践上の課題

試 験

【評価方法】

《瀧口》平常点と必要に応じてレポートを提出してもらいます。

《垣内》教科書に関するレポート及び授業中に提出していただくミニレポートを40%程度、テストを60%程度の総合点で評価します。

【授業科目】 子どもと人権	【担当者】 平賀明彦
【開講期】 2年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>子どもを取り巻く環境は決して豊かなものではない。戦争や飢餓で生命の危機にさらされている場合はもとより、物質的には満たされているようでも、差別や迫害、虐待や家庭崩壊の犠牲など、私たちの周りでも子どもの権利を脅かすさまざまな状況が現れている。これに対し、子どもの主体的な権利を保障し、その不当な侵害を許さないために、「子どもの権利条約」が採択された。子どもの権利についてこの条約の成立に至る経過、そこに込められた意味を考えることを中心課題とする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特に定めない</p>	
<p>【参考書】</p> <p>多数あるのでその都度紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>子どもの権利がどのように確立されて来たかについて、まず歴史的に明らかにする。養育される対象としての、あるいは教育される対象としての子どもの権利の問題から、しだいに子どもそのものが権利の主体であるという考え方が確立していく経過を明らかにする。その上で、国際的ルールとしての「子どもの権利条約」が成立する過程を追っていく。次いで、条約を読み解く中で、現在の子どもの取り巻く問題状況そのものをも明らかにして行く。</p> <p>大きな柱立ては以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇子どもの権利—まずは母親の権利から＝「男性は、ほかの動物の雄と同じように、その子孫に関しては冷淡で無関心」 ◇子どもの発達権—権利の主体としての子ども ◇子どもの学習権—17c～18cの教育論から ◇人権の国際的保障と子ども—出発点としての国際連盟「子どもの権利宣言」（1924） ◇「子どもの権利条約」を読み解く ◇子どもの人権が奪われる時 <ul style="list-style-type: none"> ・戦争 ・貧困と飢餓 ・障害、差別、いじめ ・家庭崩壊、家族病理と虐待 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末にレポートを課す。授業中に小レポートの提出を求めることがある。</p>	

【授業科目】 多文化社会と子ども	【担当者】 瀧口 優
【開講期】 2 年 後期：教養科	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子ども達が様々な文化の中で生活していることを理解する。 2. とりわけ日本において外国籍の子どもがどのようにアイデンティティを保持していくのか考える。 	
<p>【テキスト】</p> <p>『多文化子どもの歌集』（明石書店）</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要に応じて紹介する</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 様々な国と文化について触れる。 2. それぞれの国における子どもの歌を手がかりに文化を考える。 3. 歌を学ぶ中で、多文化の子ども達が共生する姿を実践的に理解する。 4. それぞれの国の言葉について理解を深める。 <p>* 日本の子どもの歌も取り上げ、それぞれの言葉でどのように表現されるかも考えてみたい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行うことを原則とするが、必要に応じてテストを行う。</p>	

【授業科目】 児童文学の世界	【担当者】 城戸 典子
【開講期】 2 年 後 期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 児童文学とは何かについて、またその根底となる「子ども観」「子ども性」について考える。 2. 世界と日本の児童文学や絵本を読み、子どもに本を手渡すための基礎知識を学ぶ。 3. 伝承的な昔話やわらべ歌の持つ本質的な意義を理解する。 4. アニメやリライト版などと原作との関係や、出版、流通の仕組みを学ぶ。 5. 世界と日本の現代児童文学を通して、家族、女性、戦争と平和などさまざまなテーマを考える。 	
<p>【テキスト】</p> <p>授業のつど、レジュメと作品のコピーを配布する。できれば映像資料も使用する。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>長谷川潮・きどのりこ編著『子どもの本から「戦争とアジア」がみえる』</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 古典的な児童文学の現代における受容について <ol style="list-style-type: none"> (1) グリムとアンデルセンについて (2) イギリス児童文学の歴史、特にファンタジーを中心に (3) 名作のアニメ化、特にディズニーの影響について 2. 伝承文学としての昔話、わらべ歌、また子どものための詩について <ol style="list-style-type: none"> (1) マザー・グースをめぐって (2) 日本の伝承の昔話、わらべ歌について (3) 子どものための詩、いわゆる「少年詩」について 3. 日本の児童文学—近代から現代まで <ol style="list-style-type: none"> (1) 小波、未明などの作品と「赤い鳥」文化について (2) 戦後の新しい発展と、伝統批判について (3) 宮沢賢治と新美南吉の文学について (4) 現代日本の児童文学とその新しい傾向について 4. 子ども観の変遷と「子ども性」（チャイルドネス）を考える <ol style="list-style-type: none"> (1) 子どもとは何か、子どもに向けた文学とはどのような意味を持つのかについて (2) 表現メディアとしての絵本とその歴史について (3) 子どもと本との媒介者の役割について（親、保育者、教師、図書館員、地域文庫、編集者など） (4) 子どもの本はどのように作られるか（出版・流通の現場について） (5) 「子ども性」とは何かを、すぐれた児童文学作品を通して考える 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況とレポートにより評価する。</p>	

【授業科目】女性労働と子育て	【担当者】富永静枝
【開講期】2年 後期	
【授業目標】 卒業後保育者をめざし・自らも働く女性として社会参加する学生達に、いま働く女性たちがおかれている状況や働きながら子育てをする母親や父親の抱えている問題を理解させる。	
【テキスト】 テキストは使用しない。必要に応じて授業時に資料プリントを配布する。	
【参考書】 授業時に随時紹介する	
授 業 計 画	
<p>厳しい不況下にある日本経済の下で、いま男女の雇用環境は大きく変化している。少子高齢化が急速に進み、男女の生き方も多様化し、働く女性が急増している。しかし厳しい雇用情勢の下で、男性の長時間労働は常態化し、家事・育児の責任は相変わらず女性の双肩にかかっている。このような中であって育児・介護休業法が施行され、国や地方自治体などによってさまざまな子育て支援政策が打ち出されている。しかし相変わらず、出産・育児や介護のために退職を余儀なくされる女性は多く、仕事と家庭の両立はまだまだ困難な状況にある。本講では、働く女性たちが抱える諸問題を明らかにし、男女がともに働きながら育児参加をするにどうしたらよいか—これからの男女共同参画社会のあり方や社会システムのあり方について学習する。(なおこの授業の対象者である教養科保育教養コースの学生は、実習及び時間割の都合で教養教育の「女性労働の問題」の受講が不可能だったため、一部重複する部分があります。他科や他コースの学生で聴講を希望する学生はそのことを留意して聴講してください)</p>	
【授業内容】 1、自立について—働くことの意味を考える— 2、働く女性の現状と課題 3、雇用機会均等法、育児・介護休業法を中心に女性労働関係法について学ぶ 4、子育て支援策の国際比較 5、これからの家族のあり方—男女の家族的責任について	
【評価方法】 学期末のレポート、平常時の提出物、出席状況の総合評価	

【授業科目】うた・おとの世界	【担当者】奥村直子
【開講期】2年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>幼児が身近な環境に働きかけ、歌ったり、音を楽しむ世界を、事例に即して理解する。同時に、そうした表現世界を豊に引き出す指導法について学ぶ。具体的には、子どもとの歌づくり、楽器づくり、手遊び、発表会などのアイデア、展開の仕方を取り上げる。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>随時プリントなどを配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 幼稚園教育要領、保育所保育指針と領域「表現」 2. 領域「表現」と音楽 3. クリエイティブ・ミュージック 4. 耳をすまそう（イヤークリーニング） 5. 音をさがそう Ⅰ。（ボディパーカッション） 6. 音をさがそう Ⅱ. 7. 音を作ろう Ⅰ。（絵楽譜・ペーパー・グループで） 8. 音を作ろう Ⅱ. 9. 楽器を作ろう Ⅰ。（身近なものを使って） 10. 楽器を作ろう Ⅱ. 11. 歌ってあそぼう Ⅰ。（手あそび・指あそび） 12. 歌ってあそぼう Ⅱ. 13. 絵本に音をつけよう Ⅰ。（グループで） 14. 絵本に音をつけよう Ⅱ。（グループで） 15. まとめ 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況、授業内での活動、発表の様子、提出物などを総合して評価する。</p>	

【授業科目】 幼児の身体表現	【担当者】 松村朋子
【開講期】 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>幼児教育における「身体表現」のねらいを把握し、実習を通して、幼児がリズムカルな身体活動を楽しみ、情緒豊かに育っていくように、その指導法について学習していく。また、受講生自らも楽しみ、リズム感を高め、柔軟な身体づくりを心がけ、表現力豊かな保育者としての資質を高めてほしい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用しない。随時プリントを配布の予定。初回に B5 サイズのノートを持参。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>使用しない。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>①自らの運動機能を高める。</p> <p>ストレッチやエアロビクスエクササイズで、指導者として必要な柔軟性やリズム感を養う。スキップ、ツーステップ、ギャロップなど簡単な動きを修得し、基本的な身体づくりを行う。</p> <p>②遊びの体験</p> <p>歌あそび、表現あそび、リズムあそび、手遊び等を体験して、表現の基礎を学ぶ。</p> <p>例) 大きな栗の木の下で、お弁当箱のうた、動物体操、ジャンケン列車</p> <p>③リズム運動</p> <p>フォークダンスや体操を通じて、音楽に合わせて、規則的に動く能力を養う。</p> <p>④創作表現</p> <p>簡単な童謡に、幼児の年齢に適した動きを使って、お遊戯や踊りを創作する。</p> <p>⑤指導計画の作成および指導の演習</p> <p>指導案の作成方法を学び、20分ほどの模擬指導をグループで行う。</p> <p>*高校の体育授業に準ずる服装、シューズで受講すること。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>①出席状況 ②受講態度 ③発表、ノート提出</p>	

【授業科目】 運動遊びの指導	【担当者】 河鍋 嵩
【開講期】 2 年 後 期	
<p>【授業目標】</p> <p>遊びという言葉は、日常生活のなかで軽く使われている。しかしながら、幼児の教育・保育の場面では指導内容として重要な位置をしめる。ホイジンガやカイヨワの研究を初めとした多くの指摘にみるように、遊びは文化そのものであり人間研究の一方法となることから、幼児の指導に欠くことのできないプログラムなのである。本講では、上記のことを念頭におき、主として身体運動を伴う遊びを理解し、幼児の遊びの場において適切な援助ができるような資質の向上をはかりたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特になし。 必要に応じて資料を用いる。</p>	
<p>【参考書】 「ホモ・ルーデンス」 ホイジンガ、中公文庫。「遊びと人間」 カイヨワ、講談社文庫。「遊びの心理学」 ピアジェ、黎明書房。「遊びの文化人類学」 青柳まちこ、講談社現代新書。</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 「遊び」を考える <ol style="list-style-type: none"> 1) 「遊び」と文化 2) 遊びの形態と展開 3) 発育・発達と遊び 4) 幼児の遊びの世界 2. 「健康・体力」と遊びを考える <ol style="list-style-type: none"> 1) 健康と病気のメカニズム 2) 体力をどう捉えるか 3) 運動遊びと健康 3. 「運動遊びと用具」の利用を考える <ol style="list-style-type: none"> 1) 遊具（器具、手具、用具）のメリット・デメリット 2) 固定遊具、大型遊具、小型遊具 3) 運動遊びと安全 4. 「環境。自然物」の利用を考える <ol style="list-style-type: none"> 1) 何が、どのような「遊具」になるか 2) 保育者・養育者の関わり 3) 運動遊びの評価 5. まとめ 	
<p>【評価方法】 主として出席とレポートによるが、発問に対する応答の良否を成績に加味する。</p>	

【授業科目】 伝承あそび入門	【担当者】 木村 はるみ
【開講期】 2年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>わらべうたを中心に、日本文化の中で伝承されてきたあそびを扱います。</p> <p>「伝承されてきたあそびが、なぜ子どもにとって必要なのか」理論を知ると共に、遊びを出来るだけ沢山覚えて、使えるようにしていきます。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>木村はるみ、蔵田友子 著「わらべうたと子ども」古今社</p> <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>(A) あそばせあそび (大人が子どもにする遊び)</p> <p>(B) 仲間と遊ぶあそび</p> <p>(C) こもりうた、歌ってやるうた</p> <p>(D) わらべうた、伝承あそびが持つ意義と分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ わらべうたとは何か、伝承あそびとは何か ・ 運動発達の観点から ・ 言語発達の観点から ・ 社会性の観点から ・ 音楽の基礎を知る <p style="margin-left: 40px;">* 毎回、あそびを行います。(A～Cを組み合わせて)</p> <p style="margin-left: 40px;">* (D)の理論はあそびを行いながら扱っていきます。</p> <p style="margin-left: 40px;">* 動きやすい服装、履物で参加のこと</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>授業の出席態度と期末試験</p>	

[授業科目] 幼児の絵画指導	[担当者] 宮本朝子
[開講期] 2年・後期	
<p>[授業目標]</p> <p>幼児期の「絵画による自己表現の意味」について理解する。 幼児の絵画表現についての見取り方と評価について理解する。幼児が自己を絵画に表現していく過程を大切にしたい指導や援助の言葉掛けを実践的に学ぶ。また、多様な絵画表現（平面表現）の方法を実践的に体験したり、制作したりする。</p>	
<p>[テキスト] * 「幼児の絵画指導」においては、テキストは授業者が自作したものを使用します。</p>	
<p>[参考書] * 必要に応じて紹介します。常時は使用しません。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>* 多様な表現方法を学んで、自分のよさを見つける。絵画表現の楽しさを味わう。 （後期の幼児の絵画指導では、平面表現を中心に学ぶ）</p> <p>(1) 絵の具と彩色筆についての基本的な技術を修得する活動……楽しい表現の基礎 ①しゃぼんだま大会、②大なみ小なみ、③長い長い蛇の模様、④絵の具屋さん</p> <p>(2) 見る、観る、視る、活動を自分の手、自分の目、自分の心で学ぶ活動。 ①線描の材料を使って、身近に有る植物を見取る活動と評価。</p> <p>(3) モダンテクニック（多様な表現技法）について体験する活動。 ①スタンプング②コラージュ③マーブリング④デカルコマニーなど10種類程体験</p> <p>(4) モダンテクニックの方法で想像的な表現の作品を制作する。 ①「輝いて生きる私」をテーマに、体験したモダンテクニックの方法で自己表現する</p> <p>(5) いろいろな幼児期の絵画表現と鑑賞活動。 ①幼児の作品鑑賞、②コンピュータ・グラフィック</p>	
<p>[評価方法]</p> <p>(1) 授業資料に付けられた自己評価表の評価の視点に従って常時行う。 (2) 制作した作品の相互評価を（鑑賞活動）常時行う。</p>	

[授業科目] 遊びの造形	[担当者] 宮本朝子
[開講期] 2年・前期	
<p>[授業目標]</p> <p>幼児の自発的な活動としての遊びは、人間として心身の調和の取れた発達の基礎を培う重要な学習である。この考えに基づいて、幼児が身近な環境、素材や材料とかがわって自己を豊かに表現していく過程に関心を持つ。さらに、豊かな想像力から創造性を培っていく造形表現の指導方法について学ぶ。</p>	
[テキスト] *「遊びの造形」授業の造形活動資料は、授業者が自作したのを使います。	
[参考書] *必要に応じて紹介します。常時は使いません。	
授 業 計 画	
<p>感じたことや考えたことを自分なりに表現することを通して、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。(前期の遊びの造形では、立体の表現を中心に学ぶ)</p> <p>(1) 線材としての紙を使った「遊びの造形」 ① カラーテープを使った多様な遊びの造形。② 編んでつくれるもの。</p> <p>(2) 面材としての紙を使った「遊びの造形」 ① 平面の紙を立体にする工夫。② いろいろな動物の表現。</p> <p>(3) 身近にある廃材を集めて、選んでかかわる「遊びの造形」 ① 浮かべて遊べる物をつくる。② わたしの好きな音のでる楽器(ペットボトル)</p> <p>(4) いろいろな粘土を使った「遊びの造形」 ① 土の粘土を使って遊んでみよう。② 紙粘土で飾るものをつくってみよう。</p> <p>(5) ダンボールを使った「遊びの造形」 ① 積む、並べる、つなげる、遊びの造形。② ダンボールの造形の活動計画作成。</p>	
<p>[評価方法]</p> <p>(1) 授業資料に付けられた自己評価表の評価の視点に従って常時行う。</p> <p>(2) 制作した作品の相互評価を(鑑賞活動)常時行う。</p>	

【授業科目】 児童文化演習

【担当者】 木村はるみ ・ 神立幸子

【開講期】 2年前期

【授業目標】

≪木村≫子どもの成長に合った“文化”を伝えられる大人となる為に、理論と基本を身につける。

- (A) 総論（児童文化とは何か、授業で扱うものと扱わないもの）
- (B) 昔話について（理論を知り、内容理解を深めて、語ったり音読したり出来るようにする）
- (C) 道具、人形を使う（道具や人形を使うときの基本を知り、扱えるようにする）
- (D) 子どもの成長に合わせて文学的な行為が出来るようにする。

≪神立≫

- ① 子供が親しめる詩の表現を工夫し、実演する。
- ② 絵本の見方を深める。

【テキスト】

≪木村≫ 木村はるみ著「乳・幼児の言葉と文学教育」明治図書

【参考書】

≪木村≫ 小澤俊夫 編著「昔話入門」ぎょうせい

≪神立≫ 神立幸子『二十世紀の絵本の表現—本来のものに立ちかえる世界—』武蔵野書房2002年

授 業 計 画

≪木村≫(A)・大人の文化と子どもの文化について 伝承されてきた文化について

- ・ 児童文化に含まれるもの
- ・ 今回扱う内容について

(B)・昔話と創作の相違点について

- ・ 昔話の特徴
- ・ 毎回、素話を聞いて、作品を知る

(C)・道具や人形を使う目的

- ・ 道具を使える話と使えない話
- ・ 人形、道具の紹介とその特徴
- ・ 「ドラマ性」について
- ・ 道具、人形を使つての練習

(D)・成長に合わせた作品

- ・ 子どもの成長と伝統行事
- ・ 即興話の意味
- ・ 即興話の方法と練習
- ・ 語呂あわせ、ことばあそび

(A)については1回目に行う。(B)～(D)については組み合わせて取上げていく

≪神立≫ ①子どもが親しめる詩を、道具などを用いながら実演する。

②題材の共通する日本と欧米の絵本を選び、文化の異同を把握するとともに児童の文化にふさわしい絵本について考える。読み聞かせの練習をかねる。

【評価方法】

≪木村≫授業の参加態度と理解度によって評価する。

≪神立≫発表、レポート

【授業科目】 児童文学演習	【担当者】 久保木 寿子
【開講期】 後期	
【授業目標】 日本の児童文学の中から、宮沢賢治の作品をとりあげる。 人間と自然・自己と他者・優しさ・ヒューマニティの問題について考え、 ことばとイメージの豊かさを味わいたい。 賢治のメッセージの今日的な意味を捉えたい。	
【テキスト】 宮沢賢治『童話集風の又三郎他十八篇』（岩波文庫） 『童話集銀河鉄道の夜他十四篇』（岩波文庫） <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> 【参考書】	
授 業 計 画	
<p>概説</p> <ul style="list-style-type: none"> ①宮沢賢治という人 ②宮沢賢治の環境と時代 ③宮沢賢治の作品の概容 <p>演習</p> <p>採りあげる作品</p> <ul style="list-style-type: none"> * どんぐりと山猫 * 狼<small>オイノもり</small>と<small>ざるもり</small>、盗<small>みすともり</small>森 よだかの星 なめとこ山の熊 ゼロ弾きのゴーシュ * オツベルと象 * ざしき<small>ほっこ</small>童子のはなし * グスコープドリの伝記 銀河鉄道の夜 など <p>絵本・ビデオも参考にしたい。</p> <p>まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ④宮沢賢治の作品の今日的な意義について考える。 <p>**短い作品が多いので、どんどん自分で読んで、演習に積極的に参加すること。</p>	
【評価方法】 出席・ワンポイントメモ・レポート	

【授業科目】	ゼミナールⅡ	【担当者】	久保木 寿子
【開講期】	前期 後期		
【授業目標】	<p>童話・絵本とは何なのか、対象化して考える態度を養いたい。 史的な展開の中で、童話・絵本を捉える態度を身につけたい。 現在に至るまでの様々な童話・絵本・ビデオ作品のなかで、今期は特に 「優しさ」はどう描かれているかをテーマに、具体的に見ていきたい。</p>		
【テキスト】	<p>小川未明『小川未明童話集』新潮文庫 新美南吉・宮沢賢治・斎藤隆介の作品から 宮崎駿の作品(ビデオ) ほか</p>		
【参考書】	<p>随時、プリント配布。</p>		
<p>授 業 計 画</p>			
<p>日本の童話の最初に位置づけられる小川未明の作品を中心に読む。</p> <p>① *文庫本(25の短編からなる)を輪読し、担当者のレポートとそれに基づく ディスカッションで、作品の読みを深める。 *未明の評価をめぐる様々な意見について検討する。 童話とは何か、考えたい。</p> <p>②未明の童話の中で、絵本になっているもの、そうでないもの の違いについて考える。 絵本とは何か、考えたい。 物語性(主題・展開)・ことばと映像喚起の問題など。</p> <p>③新美南吉・宮沢賢治の童話 と比較して、相互の位相差について考える。</p> <p>また、国内外を問わず様々な童話・絵本・ビデオにあたり、様々な「優しさ」の表現に ついて調べ、優しさとは何か、その表現の差異、等について考えたい。</p>			
【評価方法】	<p>出席・ゼミへの参加態度・提出物・レポート</p>		

【授業科目】ゼミナールⅡ	【担当者】富永静枝
【開講期】2年 前期 2年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>男女がともにそれぞれの能力を生かし、ともに人間らしく生きるためにはどうしたらよいか、男女それぞれの自立と21世紀における望ましい家族のあり方やについて考える。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは使用しない。必要に応じて授業時に資料プリントを配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業中、必要に応じて紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>前期</p> <p>新聞の切り抜き情報を集めた「女性情報」の中から、子ども・女性・仕事・家族に関する記事を各自の関心にそって選び出し、それを手がかりにして、現代女性の抱えている諸問題を考察する。</p> <p>各自数冊の「女性情報」に目を通し、その中から自分が最も関心を寄せた問題を選び、その情報が伝える問題点を明らかにし、わからない点は調査して報告する。</p> <p>ゼミの構成員全体で互いに学び合い、理解を深めるために積極的な討論が展開されることを期待したい。</p> <p>後期</p> <p>学生自身の将来設計における就労の位置付けを明確にするため、特に「女性と職業」に重点をおいて学習をすすめる。</p> <p>女性労働の現状を理解し、仕事と家事育児の両立、家族のあり方や子育てのあり方について考える。また国や地方自治体の育児支援政策などについても理解を深める。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末のレポート、平常時の提出物、出席状況の総合評価</p>	

「授業科目名」 ゼミナール II	「担当者」 村田 保太郎
「開講期」 2年 前期・後期	
「授業目標」 保育者として子どもの前で一人で演じる様々な遊びや表現の技法を学習する	
「テキスト・参考書」 その都度必要に応じて紹介する	
授 業 計 画	
<p>I 保育者が、子どもの前で演じる遊びや表現にはどんなものがあるのか 様々なカテゴリーにわけて分類してみる</p> <p>II 実際に練習し、実演してみるもの</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 手遊び 遊び歌 ふりあそび 等 2 パネルシアター 3 簡単な人形劇 (指人形 てぶくろ人形 紙人形) 4 素話し 絵本の読みきかせ 5 紙芝居 6 ペープサート 7 エプロンシアター <p>III 適切な表現技法を獲得するために、幼児のことば、興味、社会性、その他の発達の特徴について学習する</p> <p>注 進行していく中では、省略するもの、概要だけにするもの、実際に演じるもの等が出てくると思われる</p>	
「評価方法」 1 ゼミ学習の積極性、協力性、実行力、及び生活態度など 2 表現力、創造性、他者との豊かな交流能力	

【授業科目】 保育内容 指導法演習	【担当者】 村田和子 藤井富貴子
【開講期】 1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 多様化している幼児教育において、人を育てることの本質と白梅幼稚園の実習を通して学ぶ。 2. 実習での体験を生かして、話し合いレポート 討議等により確かめものへしていき、現場での保育を生かす。 	
【テキスト】	
<p>【参考書】「幼児教育の計画」「根を育てる思想」久保田浩(誠文堂新光社)両方共絶版のため抜粋する。</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1 白梅の教育について知る。 2 生活の中での自立 3 あそびの重要性 <ul style="list-style-type: none"> ・年齢による遊びのとりえ方や保育者の働きかけ 4 統合的活動とは。 5 上記のこととふまえて 子ども同士の関わり方について学ぶ 6 子ども理解と保育者の関わり方について 7 カリキュラムを立って実践する。(2年前期) <ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムの立て方、考え方を知る。 	
<p>【評価方法】</p> <p>レポート (授業の中でやる)</p>	

現代教養コース専門科目（2年）

【授業科目】ゼミナールⅡ	【担当者】東 喜 望
【開講期】2年前・後期	
【授業目標】昨年のゼミを継承する。ただし、当初は学外研修にかかわる学習と研究を行う。	
【テキスト】資料を配り配布する。	
【参考書】適宜指示する。	
授 業 計 画	
<p>1. 学外研修準備</p> <p>(1) 準備うち合わせ</p> <p>(2) 資料収集</p> <p>(3) 遺跡・歴史等の学習</p> <p>2. ゼミ研究課題 — 桃太郎伝承</p> <p>(1) 現代の絵本</p> <p>(2) 近世の絵草子</p> <p>(3) 古代の伝承譚</p> <p>(4) 伝承地の検討</p> <p>(5) 『桃太郎の誕生』(柳田泉男)と『桃太郎の母』(石田英一郎)の比較検討</p> <p>(6) 桃太郎説話の源流</p>	
【評価方法】1. 出席を重視する。2. 評価はレポートとゼミへの参加の度合いを考慮して出す。	

【授業科目】ゼミナールⅡ	【担当者】中島好伸
【開講期】2年前・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>1年次に続いて、19世紀（1800年から1865年まで）のアメリカを、インディアン、黒人、女性、文学史上のキャンノンという要素に着目しながら、現代アメリカの形成期と位置づけて、その特徴を分析していく。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>なし</p>	
<p>【参考書】</p> <p>必要であれば、授業内で紹介</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>一年次に引き続き、19世紀のアメリカ（1800年から1865年＜南北戦争終了＞まで）を、インディアン、黒人、女性、文学史上のキャンノンとそれぞれの担当者を決め、調査、報告を重ねていく。文学史上のキャンノンは、</p> <p style="padding-left: 40px;">ラルフ・ウォルドー・エマソン ヘンリー・デイヴィッド・ソロー ウォルト・ホイットマン ナサニエル・ホーソン ハーマン・メルヴィル</p> <p>の5人が、アメリカン・ルネッサンスの作家たちとして高く評価されているが、全て白人作家であり、男性であった。社会的には、アメリカが西へと開拓を進める中で、強制移住を繰り返されたインディアン、奴隷制状態にあった黒人、そして家庭に閉じ込められた女性たちが、どんな生活をしていたのか、また文学作品はないのか。インディアン、黒人、女性の側からの文学史の書き換えを試みたい。</p> <p>5月の学外演習では、北海道へ行く。開拓の歴史、アイヌ民族の対応など、アメリカの19世紀とどれだけパラレルになっているかを探って、両国の特徴を浮き彫りにしてみよう。</p> <p>そして、これらの調査を卒業研究に繋げていきたい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>ゼミ内発表と平常点で評価する。</p>	

【授業科目】 ゼミナールII	【担当者】 平賀明彦
【開講期】 2年前期・後期	
<p>【授業目標】</p> <p>1年次の課題を引き継ぎ、さらに時代を進める。その過程で、近現代史の中で、とくに取り上げてみたいテーマについて絞っていく。 後期には、それぞれのテーマについて報告し合い、討論をしながら日本近代の全体像に迫る。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>前期は引き続き『日本の近代』を使用する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要に応じ紹介する。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>まずは、日本近代全体のアウトラインをつかみ、その上で、個別テーマについて絞り込みを行う。6月から7月頃に、それぞれテーマを決定する。 その上で、夏休み中に文献や史料の収集、検討を行い、後期の卒業研究に向けての準備を進める。また、同時に日本近代の全体像について、テキストを題材に議論を深め、個別テーマを深めるための基礎づくりを完成する。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>ゼミ中の報告と小レポートによって評価する。</p>	

【授業科目】 卒業研究	【担当者】 専任教員
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>学生各自が自主的に研究テーマを決めて、研究レポートを作成する（ただし、共同研究も可）。所属ゼミでの学習を基礎にすることが望ましい。</p>	
【テキスト】	
----- 【参考書】	
授 業 計 画	
<p>執筆に先立ちガイダンスを行い、研究の意義や叙述のしかたなど、一般的な事柄について指導する。ゼミ担当教員が、研究資料の扱い方や研究方法など、具体的に個別指導を行う。</p> <p>個別面談や中間発表会などで検討を加えながら、400字30枚以上のレポートにまとめ上げていく。レポート提出後、例年、教養科全体の発表会を行っている。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポートによる。レポートについての面接を行うゼミもある。</p>	

【授業科目】博物館の現場（博物館実習）	【担当者】上野・平賀
【開講期】2年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>1年次の学内実習を受けて、見学実習と館務実習に取り組む。見学実習は、それぞれ目的、性格を異にする、3～4の館に赴き、学芸員の仕事内容について詳しく説明を受け、資料収集、収蔵、展示のプランニング、ディスプレイの工夫、展示スペースのデザインなどが実際にどのように進められ、またどういった点で苦勞や問題点を抱えているかを理解する。館務実習は、学内実習や見学実習の集大成として、それぞれが2週間程度、博物館での実務研修を行い、学芸員の仕事を体得することを目指す。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特に定めない。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>全国大学博物館学講座協議会西日本部会編『博物館学 実習マニュアル』芙蓉書房 など。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>見学実習の日時、場所などについては後日決定する。館務実習に臨んでは、実習オリエンテーション及び事前学習を行う。とくに、館務による研修の心得や実習日誌の記載方法などを中心に学習する。</p> <p>それぞれ、掲示によってスケジュールを発表するので見逃さないように。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>1年次の学内実習、見学実習レポート、館務実習日誌などにより総合的に評価する。</p>	

【授業科目】ビジネスの現場	【担当者】富永静枝
【開講期】2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>職業意識を高め、職業人としての基本的な心構えと、ビジネス実務を効果的に行うための能力を養う。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは使用しない。必要に応じて授業時に資料プリントを配布する。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>授業時に随時紹介する</p>	
授 業 計 画	
<p>I、コミュニケーション実務や情報の評価・収集・活用の方法、表現活動など オフィスワークの基本を、ビデオ教材などを活用して理解する。</p> <p>II、ビデオ『日本経済の軌跡』を使って戦後から現代までの日本経済のあゆみを理解するほか、経済記事の読み方などの学習をする。</p> <p>III、企業で求められるワーカーの要件を理解するために、企業見学や、「女性と仕事の未来館」の見学を行う</p> <p>IV、本学先輩たちを招いて職場の実態や仕事の内容、家庭と職業の両立などについて聞く予定。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>授業への参加状況、レポートなどの総合評価</p>	

【授業科目】 ヒューマニズム論	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p style="text-align: center;">「ヒューマニズムは間違っている！」と言う人は多くはないが、 では、なぜ「ヒューマニズム」は「正しい」のか。</p> <p>「人間を大切にするのはアタリマエだ」では、「自分の思想」にも「学問」にもならない。そういう発想は、「世間的通念」に流されているだけなのではないか。「人間中心主義」こそが地球を危機に陥れた、とさえ言われている現在、「ヒューマニズム」は、本当に我々の「支え」になりうるのか。つまり、「現代におけるヒューマニズム」は、可能なのか。</p> <p>「ヒューマニズムの精神」は、白梅学園「建学の理念」ともされているが、その「理念」自体も、自由な学問的立場で検証されなければならない。</p> <p>本講では、上記のような問題意識のもと、「近代以後の人間のあり方」を考えることを出発点として、現在、<u>何によって人間が圧迫されているか、何に抗って「人間を大切にする」のか</u>、というアクティブな問題に迫っていきたいと思っている。大学生になった諸君が、知的に、根源的に「自分自身と世界」を考えるための、一つのキッカケになれば、と願っている。</p>	
【テキスト】 用いない。必要に応じてプリントを配布する。	
----- 【参考書】 必要に応じ、講義中に紹介する。	
授 業 計 画	
<p>おおむね、以下のような順序で講義する予定だが、諸君の興味・問題意識・理解度によって、途中で変更することもありうる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「根源的（ラディカル）に考える」態度について <ol style="list-style-type: none"> ① 「根源的に問う」こと ② 「自己」と「世界」 ③ 何が「人間」を価値づけるか——「神のある世界」と「神の無い世界」 2 我々の状況——近代における「人間」の問題 <ol style="list-style-type: none"> ① 近代と前近代——「人間」の問題として ② 「神・超越性」と近代人 ③ 近代的「人間」観と、その問題点 ④ 「近代ヒューマニズム思想」について ⑤ 何に抗って「人間を大切に」するのか 3 現代の状況と人間 <ol style="list-style-type: none"> ① 「国家」と人間 ② 「資本」と人間 <p>ノートをしっかり取りながら聞いていれば、（予備知識が全く無くても）分かるはずである。大学での講義ノート・メモの取り方には慣れていないと思われるので、最初はメモの要点も指示しながら進める。大切なことは「知識」や「結論」ではない。疑問を持つこと、考えること。諸君の中に「問題意識」を喚起することを最大の目標にしたい。</p>	
【評価方法】 学期末に、ノート（そのほか何でも）持ち込み可の、記述式テストを行う。それと、出席点を加味して評価する。ノートをしっかり取っていることが大切だ。	

【授業科目】総合科目・人間「言語活動と人間」	【担当者】東・中島・佐々
【開講期】一年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>東：人間とことば。</p> <p>中島：文学作品を通して、言語が人と人との関係をどのように作り出しているかを見る。</p> <p>佐々：生活の中で生きていく言語を扱い、その方向を探れるようにする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>東・中島：プリントを使用　佐々：使用しない。適宜プリントを配布する</p>	
<p>【参考書】東・中島：授業中に紹介する</p> <p>佐々：筆者の著書『コミュニケーション能力弱者のQOL援助』ほか</p>	
授　業　計　画	
<p>東→中島→佐々　の順で授業する。</p> <p>東：次の順で講義する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 人類の起源と言葉の創造 (2) ことばの役割 (3) ことばの功罪 (4) 「場」の民主性と言語表現 <p>中島：次の順で講義する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 『ジョイ・ラック・クラブ』に見る、世代間の言語と言語間の強弱 (2) 欲望と権力：『ソフィーの選択』（アウシュヴィッツ） (3) 沈黙と歴史：『ピラヴド』（アメリカ黒人奴隷制） (4) まとめとして：作家の言語（『月と六ペンス』） <p>佐々：計画</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) ことばの正体を探る (2) 見えないことばを読む (3) ことばを育てる筋道を考える (4) ことばを育むプログラムの検討 	
<p>【評価方法】東：ペーパーテスト（60分）実施（参照可）。</p> <p>中島：出席点とレポート</p> <p>佐々：平常点の重視、レポートによる評価</p>	

【授業科目】総合科目 生命	【担当者】柳下登・近藤正樹・明渡陽子
【開講期】後期	
<p>【授業目標】半年間に3人の教員が担当するオムニバス形式の総合科目である。20世紀後半に発展した分子生物学は、従来の生物学・農学・医学を包括した形で生命現象を分子レベルで理解する生命科学を成立させた。この生命科学に、物理・化学的アプローチが加わることで、21世紀に入り、「生命」の概念が大きく変貌しつつある。30数億年前に生まれた生命、その由来から高度科学技術文明が作り出した生命操作に至るまで、地球上に生存してきた「生命」に対する理解を通して、地球に生きる多様な生命の中の一つにすぎない人類の位置づけを考察する。さらに農学・生物学・医学を background にもつ3人がそれぞれの視点で、21世紀の生命科学の課題を学生諸君と共に考えたい。</p>	
<p>【テキスト】 柳下登：プリントを使用 近藤正樹 明渡陽子：プリントを使用</p>	
<p>【参考書】 柳下登：どこまで描ける生物進化 宇佐美正一郎（新日本出版社）生命の塵 植田充美訳（翔泳社）自然の恩恵をひきだすために 柳下登（たたら書房）遺伝子組み換え作物に未来はあるか 柳下登（本の泉社） 近藤正樹 明渡陽子：生命とは何か（岩波新書）</p>	
授 業 計 画	
<p>以下のスケジュールに沿って行う予定。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 生命とはなにか：明渡陽子 2. 生命の由来（物質の由来・太陽系・地球・生命体）：柳下登 3. 地球生物と進化：柳下登 4. 地球生物と環境：近藤正樹 5. 地球生物と種の保存（自己保存・自己増殖・自動制御）：近藤正樹 6. 生命科学の誕生と生命：明渡陽子 7. 21世紀の課題：生命はどこへゆくのか。（それぞれの専門分野から） 柳下登 近藤正樹 明渡陽子 	
<p>【評価方法】 柳下登：出席状況と筆記テスト 近藤正樹 明渡陽子：出席状況と筆記テスト</p>	

<p>【授業科目】 現代とヒューマニズムⅠ</p>	<p>【担当者】 平賀明彦</p>
<p>【開講期】 1年前期</p>	
<p>【授業目標】</p> <p>戦争と平和の問題を通じてヒューマニズムについて考える。平和という言葉の定義も含め、平和であるということとはどのような状態を言うのか、また、そうなるためにはどういった取り組みが必要であるかを検討する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>とくに定めない。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>多数あるのでその都度紹介する。</p>	
<p style="text-align: center;">授 業 計 画</p>	
<p>平和の定義と意味を考える上で、まずは、平和的でない状態、平和の対局にあると考えられる戦争の問題を通して検討してみたい。その際、一昨年9月11日の同時多発テロ以降の動きを素材に、何故あのような事態が起こったのか、その解決に向けての方法は適切であったのかを検討してみることは重要なてがかりとなるだろう。また、現在緊張が高まっているイラクや朝鮮民主主義人民共和国情勢（2003年1月時点）についても、そのような事態に立ち至った原因と今後の行方について検証することも有効だろう。</p> <p>そうした時、現代の戦争や地域紛争の発生原因として民族や宗教の問題、あるいは「文明の対立」といった形で説明されることがあるが、果たしてそのようなとらえ方は妥当であろうか。近代における国民国家の成立やナショナリズム形成の問題としてとらえる視点は有効ではないだろうか。これらを具体的に検討してみたい。</p> <p>戦争のない状態＝平和とは言えず、それ以外にも平和的でない状態を生み出す諸要因がある点も見逃してはならないだろう。</p> <p>戦争を回避し、平和を求める取り組みはこれまでも蓄積され、また今現在も続けられている。近代の平和思想の歴史をふりかえりながら、その足跡を辿り、有効性を検証することも試みたい。</p> <p>以下のような柱立てを考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇同時多発テロは何故起きたか－歴史的経過を探る意味 ◇報復戦争の意味するもの－テロへの対応は「戦争」か ◇「悪の枢軸」というレッテルが意味するもの－アメリカの世界戦略 ◇現代の戦争、地域紛争とその原因－民族、宗教、「文明の対立」を検討する ◇国民国家形成とナショナリズム－フランス、イギリス、ドイツ、そして後発国日本の場合 ◇近代の平和思想の歴史－『永遠平和のために』、パリ不戦条約の系譜 ◇不戦への挑戦、その可能性は－日本国憲法、コスタリカの挑戦、国連改革、国家を超える ◇構造的暴力の問題－貧困、飢餓、差別、人権侵害を生み出す社会構造 ◇平和への課題－人権・福祉そして平和 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末にレポートを課す。授業中に適宜小レポートの提出を求めることがある。</p>	

<p>【授業科目】現代とヒューマニズムⅡ (消費社会と欲望)</p>	<p>【担当者】 大岡 聡</p>
<p>【開講期】1年前期</p>	
<p>【授業目標】 「最新のファッションに身を包むととても気分がいい!」「人が持っていないバッグをもっているとなんだか鼻が高いなあ」「ちょっと食べ過ぎちゃった、ダイエットしなきゃ」「バーゲンで洋服買い過ぎちゃったので、お昼はマクドの59円バーガーで我慢しよう」・・・これらは「豊かな」日本社会に暮らす私たちの日常の一幕。でも「何だか変だ」と思うことはないですか? 「豊かな」モノとひきかえに何か失っていませんか? モノに振り回されていませんか? 「豊かな」私たちの一方で、飢えた人もいるのはなぜ? 「地球にやさしい」暮らし方ってなんだろう? この講義を通じて消費社会といわれる現代の、私たちのくらしと社会を反省的に考察してみましょう。</p>	
<p>【テキスト】 テキストは用いません。毎回プリントを配ります。</p>	
<p>【参考書】 とりあえず、辻信一『スロー・イズ・ビューティフル』(平凡社)、大平健『豊かさの精神病理』(岩波書店)、エリック・シュローサー『ファーストフードが世界を食い尽くす』(草思社)、島村志津『スローフードな人生』(新潮社)は入門書としてオススメです。手にとって気に入ったものを1冊以上読んでみてください。 もっと深く勉強したいひとは、上野千鶴子『<私>探しゲーム』(筑摩書房)、見田宗介『現代社会の理論』(岩波新書)、ナオミ・クライン『ブランドなんか、いらない』(はまの出版)、ジュリエット・B・ショア『浪費するアメリカ人—なぜ要らないものまで欲しがるか』(岩波書店)、スーザン・ジョージ『なぜ世界の半分が飢えるのか』(朝日新聞社)、山本武利・西沢保編『百貨店の文化史』(世界思想社)をお薦めしておきます。</p>	
<p style="text-align: center;">授 業 計 画</p>	
<p>講義では、まず日本における消費社会の形成過程(消費社会化の歴史)をたどるなかで、現代消費社会を相対化する歴史的視点と、消費社会を考察する基本的視点の獲得を目指します。それに続き現代消費社会の問題点を考察し、あるべき消費社会とかしこい消費者像を展望します。 構成は以下の通り。</p> <p>オリエンテーション・イントロダクション (1)リサイクル社会としての江戸 (2)身分制の解体と文明開化 (3)百貨店の誕生①—小売業の革新 (4)百貨店の誕生②—消費社会の演出者 (5)近代家族と文化生活—消費の主体 (6)生存から生活へ (7)美と健康—消費と身体 (8)戦争と生活 (9)高度成長と大衆消費社会の確立 (10)現代消費社会と人間—さまざまな問題点 (11)消費社会と世界—なぜ世界の半分は飢えるのか? (12)かしこい消費者になろう!—消費社会の彼方へ</p> <p>プリントのほかビデオモニターなども使用します。 毎回コメントカードに、講義の感想や自分の意見を書いてを提出してください。その一部は次の講義で紹介することがあります。</p>	
<p>【評価方法】 毎回コメントカードを提出してください(出欠を兼ねます)。 学期末にレポートを提出してもらいます。出欠状況とレポートの成績により総合的に評価します。</p>	

【授業科目】現代とヒューマニズムⅢ (科学技術と生命)	【担当者】柳下登・明渡陽子
【開講期】前期	
<p>【授業目標】</p> <p>高度科学技術文明といわれる現代文明の基盤となっている科学技術は、人間の自然を理解する「科学」という営みから生まれ、その成果を日常の経験世界から広大な宇宙・微細な物質の世界にまで応用しつつ進歩をとげ、それらから人類は多くの恩恵を受けた。しかし同時に、それは地球規模でより多大な問題を引き起こしてきた。この授業では、物理学、生物学、医学などの近代科学と技術が相互に影響し合いながら創り上げた科学技術の過程を知ること、現代文明の一つの横顔の理解を計る。さらに、クローン人間という言葉に代表されるように、人間生命が科学技術の対象となる「生命の技術化」を可能にした現代文明の問題点を探る。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>柳下登：プリントを使用 明渡陽子：プリントを使用</p>	
<p>【参考書】</p> <p>柳下登：新編自然科学入門 甲斐義幸(学術図書) 科学の考え方・学び方 池内了(岩波書店) 世界のたね E. ニュート(NHK出版) 未来のたね 左に同じ 遺伝子組み換えに未来はあるか 柳下登ら(本の泉社) 明渡陽子：上記の参考書類の中のどれか。</p>	
授 業 計 画	
<p>以下のテーマに沿って行う予定。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 私達が生きている高度科学技術文明とはいかなる文明か 2. 科学技術はどのように生まれたか(発想・思考の原点) 3. 道具や方法はどのように科学技術の発展に寄与したか(発想・思考の作用ベクトル方向) 4. 近代科学(天文学・力学などの物理学・数学・生物学・医学など)と科学技術の発展との相互作用 5. 近代科学の発展と先端技術—その光と影— 6. 人間生命と科学技術のゆくえ 	
<p>【評価方法】</p> <p>柳下登：出席状況と筆記テスト 明渡陽子：出席状況と筆記テスト</p>	

【授業科目】 人物研究Ⅰ（和泉式部）	【担当者】 久保木 寿子
【開講期】 後期	
<p>【授業目標】 紫式部に「けしからぬ」所があると評された、和泉式部をとりあげる。 和泉は「あらざらむ此の世のほかの思ひ出に今ひとたびの逢ふこともがな」（百人一首）や「黒髪の乱れも知らずうち伏せば先ずかき遣りし人ぞ恋ひしき」などの歌で知られ、情熱の歌人とか恋多き歌人と言われる平安時代の女性であるが、その和歌の世界は、「恋」にのみ止まらないスケールを持っている。和歌という短詩が持つ可能性や彼女の創作方法について考えたい。またそのテーマと実人生との関わりを問題にしていく。 時代のモラルと苦闘しながらも、冷徹なまなざしで自己の思いを和歌に結晶させていった一人の女性芸術家の軌跡を追い、その現代的な意味を明らかにしていきたい。</p>	
【テキスト】 プリントを配布	
<p>【参考書】 山中裕 著 人物叢書『和泉式部』吉川弘文館 増田繁夫著 『冥き途—和泉式部伝—』世界文化社 清水好子著 王朝の歌人6『和泉式部 恋歌まんだら』集英社 久保木 著 日本の作家13『実存を見つめる 和泉式部』新典社 ほか</p>	
授 業 計 画	
<p>以下のようなことをテーマに、講義をしたいと思っています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 悪女の評判さまざま すでに彼女が生きていた頃から、その評判は宜しくはないが、平安以降はどうだったのか。様々な文献から、各時代の人々が思い描いた和泉式部の人物像を見ていく。 2, 実人生を辿る 少女期の環境 最初の結婚と破綻 冷泉皇子兄弟との恋愛と死別 後宮出仕 再婚 娘との死別 3, 実体験から和歌表現へ 4, 恋歌と死の歌のあわい 恋歌を超える眼差し 5, 実存のテーマと方法・ 和歌の時空 「自己客体視」の方法 連作の方法 6, 歌集と日記 7, 仏教的心性の問題 8, 和泉式部和歌の評価をめぐる問題 <p>* 古文が読めなくても、大丈夫です。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席と、毎回のメモを重視。それと定期試験時のレポートによる。</p>	

【授業科目】人物研究Ⅱ・「柳田国男」

【担当者】東 喜 望

【開講期】1・2年後期

【授業目標】柳田(旧姓・松岡)国男(明治8年—昭和37年)は、貧しい医師の子として兵庫県神崎郡福山崎町で生まれた。大学を卒業してのち彼は、それまで問題にもされなかった民衆の生活とその文化を調査・研究し日本民俗学の基礎礎を築いた。この授業では、柳田の生涯の行跡をたどりながら、激動の「近代」における彼の学問の成果と思想の意義を明らかにしていきたい。

【テキスト】資料プリント集を配布する。スライド・ビデオ上映。

【参考書】牧田茂『柳田国男』(中公新書)・中村哲『柳田国男の思想』(法政大学出版局)
谷川健一『柳田国男の民俗学』(岩波新書)・鹿野政直『近代日本の民間学』(岩波新書)

授 業 計 画

講義の概要

1. 生いたち

- ・「日本一小さい家」----- 松岡家の一つの不幸。
- ・利根川畔・布川徳満寺絵馬の衝撃。----- 濟世救民の志。

2. 就学と詩人松岡国男

- ・伊良湖山甲への旅と島崎藤村「椰子の実」

3. 民俗学の夜明け

- ・農政学から民俗学へ——『後狩詞記』・『遠野物語』

4. 官界から言論界へ

- ・旅と学問——大正デモクラシーと民衆文化の発掘

5. 日本民俗学の石確立

- ・『海上の道』——壮大なる仮説——日本民族の南方起源説

6. まとめ——柳田の学問と思想は「近代」を超えることができるか。

【評価方法】定期試験時の筆記試験による。(配布プリント集・ノート・参考書等参照可)

【授業科目】 人物研究Ⅲ（有島武郎）	【担当者】 栗田廣美
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】 「時代の中で、誠実に生きようとする」とは、どういうことか。 有島武郎（ありしまたけお、1878-1923）という人物は、「情熱の芸術家」でもあり、「革命的思想家」でもあるが、それ以前に、時代の現実を深く見つめ、「人間」を圧迫するものと闘い続けようとした「一人の人間」だ。</p> <p>資産家・大農場主の家に生まれながら、やがて、小作人に、無償で農場を解放した有島。 自殺未遂の果てにクリスチャンになりながら、やがて「信仰」と訣別した有島。 アメリカ留学中も「近代文明」の歪みを見つめ「新たな人間らしい文明」を求めつづけた有島。 ロシア革命を擁護しながら、同時に、革命政権の独裁制を厳しく批判し、闘おうとした有島。 日露戦争に反対し、朝鮮の植民地化に反対し、諸民族の自由と連帯を希求した有島。</p> <p>こうした闘いの中で孤立し、やがて、夫のある女性との激しい恋愛に命を燃やし、二人で共に自殺すること——「心中」に追い込まれていった有島。</p> <p>有島武郎の遺した日記や手紙、彼が生きた当時の札幌やアメリカ、ヨーロッパの資料、作品や評論を紹介しながら、「誠実に時代の歪みと闘い続けた人間」としての有島武郎を語りたい。</p> <p>我々は、有島の「自殺（心中）＝挫折（玉砕）」を、どうしたら乗り越えることが出来るか、いかにしたら、有島の遺志を継いで「人間を圧迫するもの」と闘うことが出来るか、という問題を考えていければ、と願っている。</p>	
【テキスト】 用いない。必要に応じてプリントを配布する。	
<p>【参考書】 高原二郎著『人と作品・有島武郎』清水書院 刊 栗田廣美著『死と飛躍・有島武郎の青春』右文（ゆうぶん）書院 刊 栗田廣美著『亡命・有島武郎のアメリカ』右文（ゆうぶん）書院 刊 ——本学図書館に何冊か置いてもらう予定。近所の公立図書館にも、どしどし「リクエスト」しよう！</p>	
授 業 計 画	
<p>おおむね、以下のような順序で講義する予定だが、諸君の興味・問題意識・理解度によって、途中で変更することもありうる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 生い立ちと、札幌での青春 <ol style="list-style-type: none"> ① 「特権階級の優等生息子」から、いかに「脱出」するか。 ② 「神」と「人間」——自殺未遂とキリスト教入信 ③ 「家」と「国家」——反抗と訣別 2 アメリカ・ヨーロッパでの思想形成 <ol style="list-style-type: none"> ① 「アメリカ＝巨大な近代文明」と「日露戦争」の重圧 ② キリスト教からの離脱と、個性的な思想の形成 ③ 中世ヨーロッパと「自由なコンミュン」への憧れ 3 日本での闘いと挫折 <ol style="list-style-type: none"> ① 芸術・思想・革命・自由 ② 農場解放の理想と現実 ③ 恋愛と死 <p>ノートをしっかり取りながら聞いていれば、（予備知識が全く無くても）分かるはずである。大切なことは「知識」や「結論」ではない。興味を持つこと、考えること。有島を通して、諸君の中に「人間」への問題意識を喚起することを、最大の目標にしたい。</p>	
<p>【評価方法】 筆記試験（ノート・プリント等、何でも参照可）。講義に基づいて書く形式。しっかりノートをとって、講義を聴いていけば大丈夫。出席点を加味して、総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 情報ネットワーク論	【担当者】 宮武直樹
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>高度情報社会では、情報ネットワークの知識は、いまでは教養の範囲を越えて、社会や企業が求める重要な基礎知識になっている。本講義では、この情報ネットワークについてわかりやすく平易に説明したいと思っている。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>随時プリントを配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>参考文献を授業で紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報社会とは 2. 情報ネットワークの発展について 3. コンピュータと情報ネットワークについて 4. WANとLANについて 5. 情報ネットワークの利用形態について 6. ネットワークとコミュニケーションについて 7. その他 	
<p>【評価方法】</p> <p>テスト、電子メールによるレポート提出及び出席状況によって判断する。</p>	

【授業科目】視聴覚教育メディア論	【担当者】深水浩司
【開講期】2年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>社会的に情報化が進む中、図書館や博物館においても、様々な資料や情報が、統合的にコンピュータ上で利用可能となっている。本講義(実習)では、視聴覚教育で使用可能なマルチメディアを念頭に置き、コンピュータで扱えるツールを中心に、各自が情報発信をできる知識を学び、その能力を習得する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>授業で指定する</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要に応じ紹介する</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>コンピュータの世界において、ここ数年の特筆すべき技術のひとつに「Web 技術」を挙げることができる。新しいメディアとしてもさまざまな形態が試行され利用されている。それを加速するように、デジタル・マルチメディア技術も発展してきた。視聴覚教育で使用されるメディアも変化しているし、図書館や博物館が使用する資料も、当然ながらこれらの影響を受けている。</p> <p>本講義(実習)では、図書館や博物館において使用される(または今後使用されるであろう)資料や、視聴覚教育で用いられているメディアを概括し(講義形式)、その中から、自主作成できるものとして、プレゼンテーションツール(たとえば Powerpoint など)を利用した資料の作成(実習形式)、Web ページの作成による HTML 言語の基礎理解(実習形式)、さまざまなマルチメディアやコミュニケーションツールの扱い方等を学び、それらの技術を習得する。</p> <p>特に、HTML については、「タグ」という概念を学ぶことで、XML への基礎的な地盤を作り、メタデータについても、その考えを学べるように進めていく予定である。また、詳細な内容は、受講生の習熟度を考慮し、調整するつもりである。</p> <p>最初の 1 時限を講義形式で行い、残りの時間は、コンピュータールームでの実習とする。実習で作成した成果は、すべて提出していただき、それも評価の一部分とする。できる限り集中して実習を行いたいので、本科目は集中講義の形態をとる予定である。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席、レポート、提出物等で評価する</p>	

【授業科目】言語とコミュニケーション	【担当者】佐々 加代子
【開講期】1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>日常生活はさまざまな人間関係のなかでのコミュニケーションの場面がある。その方法もさまざまにある。言語はその代表格である。コミュニケーションが円滑にすすんでいくということについての基礎理論から始め、コミュニケーション関係における阻害要因と促進要因を抽出することで、生活において言語を媒介としたコミュニケーション関係のすすめかたについての方策が見出せるようにする。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>佐々加代子、コミュニケーション能力弱者のQOL援助、犀書房</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>筆者の著書でいずれも犀書房。言語習得と人間関係、子どもからの贈りもの、発達臨床相談</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 言語の特性 2. コミュニケーションにおける言語 3. コミュニケーションの基本的過程 <ul style="list-style-type: none"> ことばのキャッチボール、ことばとキャッチボール 媒介となる距離—信号行動系 4. コミュニケーションの対象児・者の特性のとらえかた 5. 対象児・者別によるコミュニケーション関係 <ul style="list-style-type: none"> 乳児、幼児、障害児、障害者、失語症、介護を要する人、痴呆性老人、重病患者、異文化の人 6. コミュニケーションにおける共通項としてあげられる内容 7. 両者の関係とQOL 8. コミュニケーション関係、人間関係において機能していく言語の内容を育むこと <ul style="list-style-type: none"> ここでの1-8の数字は講義の内容を区分したもので、回数を示してはいない。 情報機器類も用いながら、できるだけ具体的場面を想定できるように工夫をこらしていく。 グループでの討論も加えていく。 	
<p>【評価方法】平常点を重視する。</p> <p>最終的には、平常点、授業内でのミニレポート、レポートで評価する。</p>	

【授業科目】海外語学研修	【担当者】中島好伸
【開講期】1年前期・2年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>イギリスに約4週間滞在することによって、生の英語に接し、英語運用能力を高める。また、イギリスで生活し、名所旧跡を訪ねることによって、イギリスの生活習慣や文化を肌で感じ体得する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用しない。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要に応じて紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>授業の中心は8月2日出国、イギリスはリーズ市にあるリーズ・メトロポリタン大学の語学センターで3週間実施される語学研修にホームステイしながら参加、8月27日帰国のイギリス滞にある。しかし、出発に備えて、前期に5回の事前指導を行う。パスポートの取得から、渡航手続きをこの期間に行い、あわせて現地での基礎情報や生活情報、そして必要最低限の英語の学習を行う。参加費は、別に配布されるチラシを参照のこと。英語力については、一切問わず、ゼロからでも現地の先生が懇切丁寧に指導してくれ、帰国するときには、英語の面白さが身にしみてわかるだろう。全期間担当者が同行する。なお、最低催行人数に達しない場合は、実施されないこともあるので注意。</p> <p>予定内容（あくまでも予定）</p> <p>5回の事前指導</p> <p>8月2日 成田出発 直行便にてロンドン</p> <p>8月3日 ロンドンからリーズへ</p> <p>8月3日—8月24日 ホームステイして、メトロポリタン大学の語学センターにて研修</p> <p>8月24日 リーズからロンドンへ</p> <p>8月25日 ロンドン市内観光</p> <p>8月26日 ロンドン・ヒースローから帰国の途</p> <p>8月27日 成田帰国</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点、出席点に現地での課題成績を加味して評価する</p>	

【授業科目】 応用英語Ⅰ	【担当者】 藤田久美子
【開講期】 2年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>今までに培ってきた英語の基本的技能を、コミュニケーションな面を中心にバランスよく向上させていくことを目的とする。</p>	
<p>【テキスト】 (成美堂)</p> <p>「DISCOVER」- Exploring a Variety of Things -</p>	
<p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>年間を通して、ビデオ教材を使って楽しくスムーズに、リスニングと内容理解の勉強を進めていきたい。テキストはビデオを見ての内容理解のための問題、書き取り、会話練習などで構成されている。</p> <p>ビデオは一つのユニットが一つのニュースを扱っていて、出来れば1回の授業で一つのユニットというペースで進めていきたいので、学生は十分な予習の上、毎回の授業に出席してほしいと思う。</p> <p>* 授業の進め方</p> <p>ビデオを2回程見た後、学生の理解度を見ながら練習問題をやっていく。問題を皆で解決した後は、必ずどれかを提出してもらおう。学生は“自分が主役”という気持ちでいつも積極的に授業に参加してほしいと思う。毎回提出してもらった練習問題の結果の集積を、積極的な授業態度（発言、質問への応答）と共に、最後の成績の主なポイントとしたい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状態、毎回の練習問題の結果、そして普段の授業参加度を総合して最終評価とする。</p>	

【授業科目】 応用英語Ⅱ	【担当者】 藤田久美子
【開講期】 2年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>今までに培ってきた英語の基本的技能を、コミュニケーションな面を中心にバランスよく向上させていくことを目的とする。</p>	
<p>【テキスト】 (成美堂)</p> <p>「DISCOVER」- Exploring a Variety of Things -</p> <hr/> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<p>年間を通して、ビデオ教材を使って楽しくスムーズに、リスニングと内容理解の勉強を進めていきたい。テキストはビデオを見ての内容理解のための問題、書き取り、会話練習などで構成されている。</p> <p>ビデオは一つのユニットが一つのニュースを扱っていて、出来れば1回の授業で一つのユニットというペースで進めていきたいので、学生は十分な予習の上、毎回の授業に出席してほしいと思う。</p> <p>*授業の進め方</p> <p>ビデオを2回程見た後、学生の理解度を見ながら練習問題をやっていく。問題を皆で解決した後は、必ずどれかを提出してもらう。学生は“自分が主役”という気持ちでいつも積極的に授業に参加してほしいと思う。毎回提出してもらう練習問題の結果の集積を、積極的な授業態度（発言、質問への応答）と共に、最後の成績の主なポイントとしたい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状態、毎回の練習問題の結果、そして普段の授業参加度を総合して最終評価とする。</p>	

【授業科目】選択外国語 英会話 (応用)	【担当者】サラ ブロック (Sarah Brock)
【開講期】2年前期・2年後期	
【授業目標】 中学あたりからの文法科目の総復習、ちなみに会話で適切である文法とそうでない文法の区別、を基盤に自然体でいられて、コミュニケーションを求める精神を養う。	
【テキスト】 プリント (将来まとめてテキストにします)	
【参考書】 電子辞書、紙の辞書 (ボックス講談社) など	
授 業 計 画	
〔前期〕 (1-3 週) 自己紹介を面白くするには? マイナス発言 (自分は英語できない、自分の近所は面白くない) などを除けば何が残る? 現在形と現在進行形を調べる。用意した会話を使って短い劇 (スキット) も時々する。 (4-8 週) 自分の物語は? 難しい言葉を使ってしまうという辞書の罠とその脱出方法、そして話したくないときの逃げ方を探る。過去形と過去分詞中心の文法を利用する。 (8-15 週) 将来なにになりたい? 小さいときと今 (学生するとき) で嫌になるほど聞かれる質問です。真面目の話題、そしてちょっとふざけた話題を取り上げ、未来系を使いこなす。歌も使う。 〔後期〕 (1-3 週) 夏休みの課題は英語日記でした。互いの日記を読み上げ、内容について会話をする。言葉の順序を正しくするコツと文法のパターンをいくつか使う。 (4-8 週) 自分の文化は? 日本のこと全ては管轄外ですよ、まず自分の日常生活での*文化*を、たとえば外国の留学生に説明できるぐらいの会話実力を目指す。説明文中心。 (8-12) 英語を聞いて判らないときは誰のせい? 自分の耳を信じて! といった、歌と映画を使って耳を慣らす。そして慣らした耳に入ってくる情報を受け止め、それに関して自分の感想、意見、考えを述べる力を目指す。関係代名詞・関係福祉をつかう。できれば生徒の応募に答え、見たい映画と聞きたい音楽 (歌いたい歌?) にしたい。 (12-15 週) 授業で何か作りたくない? 英語を使って何かを作ろう。実際に作れなくてもイメージでできる。料理番組のスキット、折り紙を子供に教えるスキット、手紙の書き方や読み上げ方、授業でやって課題にして、レポートにする。	
【評価方法】 課題やレポートの提出、プリントの提出、インタビューテストなど。授業の中でテストが行う。	

【授業科目】 選択外国語 フランス語会話	【担当者】 村山知恵
【開講期】 2年前期・2年後期	
<p>【授業目標】 1年の時に学んだフランス語を少し実践してみましよう。ビデオ教材を用いて、生のフランス語を聞き取り、少しでも話せるようにしましよう。</p>	
<p>【テキスト】 A.Monnerie, "Bienvenue en France" (Hatier/Didier)</p>	
<p>【参考書】 仏和辞書</p>	
授 業 計 画	
<p>全部で13課、各課ごとに楽しいストーリーがあります。2回の授業で1課進む予定です。 毎回ビデオを見てフランス語を聞き取り、教科書の文法練習問題と各課の登場人物と共に会話の練習をしましよう。</p>	
<p>【評価方法】 平常点（毎回の演習の成績）</p>	

【授業科目】 選択外国語 ドイツ語会話	【担当者】 田中 安行
【開講期】 2年前期・2年後期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ビデオを見ながらドイツ語の基礎の復習と簡単な会話、表現の仕方などを発展させる。 2. ドイツ語の童話や詩、歌などを学びながらドイツ語の音声に多く触れて、ドイツ文化への理解と親しみを深める。 3. ドイツの社会や文化に対する正しい知識と理解を通して国際的教養を身につける。 4. 簡単な会話から発展して、自分のことなどを自己表現できる基礎を発展させる。 	
<p>【テキスト】</p> <p>開講時に指示する。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>開講時に指示する。</p>	
授 業 計 画	
<p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 音声訓練と表現——ビデオやテープを利用して、ドイツ語の音声に慣れ、理解する訓練を行う。重要表現を習得して、音声による自己表現もできるようにする。 2. ドイツ語会話——会話表現の学習を通してドイツ人の生活や考え方などを理解する。 3. ドイツ語の文構造理解——基本的なドイツ語の文でドイツ語の文構造と文法を理解する。 4. 文化理解——ドイツで作られたスライドやビデオ教材などを通して、ドイツ文化およびドイツの歴史や現状への正しい知識と認識を得る。ドイツの詩や歌を通してドイツ人の感情も理解する。 5. 文章理解——辞書を使って、やさしいドイツ語の文や童話などを読んで、ドイツ語の文に慣れる。 <p>[授業方法]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 毎時間ドイツ語会話や詩や歌を覚えて、自然にドイツ語で話し聞くことに慣れていく。 2. 会話表現を通してドイツ人の生活や考え方などドイツの文化を理解する。 2. 会話文や物語などの文を分析してドイツ語の文法のルールを発見する。文法を受け身でなく、自分から発見して身につけさせる。 3. ドイツのさまざまな資料（ビデオ・スライド・写真など）を使って自分たちでドイツについての発見を行うような動きのある学習活動を行い、ドイツに対する正しい知識と理解を得る。 4. ビデオやインターネットなどのメディアを通して、現代のドイツの人々の生活や風物に触れ、ドイツ語をより身近に感じられるようにする。 5. グループ学習を中心にして、ドイツ語の発音練習や会話、その他の学習活動を進めて、なごやかな雰囲気の中で充実した学習ができるようにする。 	
<p>【評価方法】</p> <p>ふだんの学習状況や発言などの平常点と口頭による質疑応答や小テストとレポートおよびテストなどで総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 選択外国語 英文講読

【担当者】 藤田久美子

【開講期】 2年前・後期

【授業目標】

主に4年制大学の3年次編入をめざす学生を対象にして、読解能力を高める事を目的とする。

【テキスト】

「Living a Fruitful Life」 (成美堂)

【参考書】

授 業 計 画

今後高令化が進むと共に、余暇の時間はますます増えていくに違いない。そんな中で「社会の様々なストレスとどのように向き合い、どのようにして充実した日常生活を送れるか」という事は、私達にとって大きな問題である。そこでこのクラスでは、「充実した生活」と密接にかかわる4つのテーマ、「食」、「スポーツ」、「ファッション」、「音楽」を取り扱っているテキストを使って、日本人の多くがこれらの分野を積極的に楽しんでいる本業を見とみたいと思う。

内容はそれぞれ興味深いものであると思うので、参加者はよく予習して授業に臨んでほしい。テキストは、各章が1ページ程度の読みの物と、その内容の理解度を測る練習問題、単語の感覚を養う問題(聞き取りを含む)、さらに重要構文に慣れるための英作文の構成されている。

聞き取り以外の部分は必ず予習しておくことを義務づけ、全員がやってきてあることを前提に授業を進めたい。

テキスト以外にも、必要に応じてプリントを配って、少しいつもとは違った文件、テーマに慣れるための勉強も行ないたい。

【評価方法】

平常点と期末テストの結果とを総合して評価する。

【授業科目】 選択外国語 ビジネス英語	【担当者】 田中 安行
【開講期】 前期	
【授業目標】 1. 基本的なビジネス英語を速く、正確に、深く読む力をつける。 2. 英語で書かれた世界の生活、文化、歴史などに関する文章や時事問題、英詩、エッセイ、物語などに触れながら、英語を理解する力をつける。 3. 上記を通して 21 世紀に生きる人間としての広い教養と国際的なものの見方や考え方を学び、21 世紀の人間に必要な生き方を身につけられるような学習を目指す。	
【テキスト】 開講時に指示する。	
【参考書】 開講時に指示する。	
授 業 計 画	
[授業計画] 1. 文章理解 ビジネスに必要なさまざまな形式の英文を使って、チャンク毎に文の構造を理解させながら、パラグラフ・リーディングや要約、速読などの方法を通して文章の内容理解ができるようにする。 2. 国際的なビジネス問題の理解 現代世界の経済や政治など時事問題などの英語教材を用いて広い視野で学び、世界のビジネスにおける文化や歴史的背景を理解し、世界の様々な分野で活動するための基礎的な英語力と教養を身につける。 3. 音声訓練 ビジネスで使う基本的な英会話のパターンに慣れるように音声教材を使いながら、練習をする。 4. 音声表現 視聴覚教材や読み物教材の重要表現を習得して、対話や会議で用いる英語を音声で表現できる力をつける。 [授業方法] 1. ビジネスに必要な平易な E-mail の英文の読み方、書き方を学び、実際に送受信してみる。 2. 保育、福祉、一般事務などさまざまな分野の実務的な英会話の基本を学び、訓練する。 3. それぞれのジャンルの英文について読み方や書き方の基本と応用を演習する。 4. 語句や意味の奥にある意味や発想の仕方を理解しながら外国人とのビジネスにおいて基本的に重要なコミュニケーションや異文化理解の方法を学ぶ。 5. さまざまな場面で自己表現するための話し方や書き方を身につける。	
【評価方法】 ふだんの学習状況や発言などの平常点、口頭による質疑応答および小テストとレポートおよびテストなどで総合的に評価する。	

【授業科目】 選択外国語 時事英語	【担当者】 田中 安行
【開講期】 後期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 現代の生活、文化、環境、心理、保育、福祉問題などに関する時事的な英語を通して、21世紀に生きる人間としての広い教養と国際的なものの見方や考え方を学び、今後の社会で活躍する人間に必要な生き方を身につけられるような学習を行う。 2. 深く英語文化を理解するために、単に時事的な問題だけに限定せず、その背後にあるものの考え方や感じ方にも触れるように、英詩やエッセイなどにも触れて幅広い人間的な力をつける。 3. 時事的な英語を聞き、話す力をつける。英語の音声と基本的な表現に慣れて、さまざまな場面で相手の言うことを理解し、自己表現できる力をつける。 4. 時事英語の英文を用いて速読に慣れるようにする。 	
<p>【テキスト】</p> <p>開講時に指示する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>開講時に指示する。</p>	
授 業 計 画	
<p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 文章理解 英字新聞など身近な内容の英文を使って文の構造をチャンク毎に理解させながら、パラグラフ・リーディングや要約ができる文章の内容理解の方法を学ぶ。 2. 国際的な文化理解 現在の世界の生活、文化、環境、心理、保育、福祉、平和問題などを取りあげた自作英語教材の“The Real Times”を用いて、世界の多くの文化や歴史的背景を理解できる巾広い視野を身につける。 3. 音声訓練と音声表現 ビデオ教材やテープ、インターネットを利用して、英語の音声に慣れ、理解できるような対話練習を行い、重要表現を習得して、音声による自己表現力もつける。 <p>[授業方法]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英字新聞やインターネットからの時事英語やエッセイ・英詩などを教材に使う。 2. 時事的な英文について聞き方、話し方、読み方、書き方の基本と応用を演習する。 3. 語句や意味の奥にある意味を理解することを通して異文化理解の方法を学ぶ。 4. 英字新聞“The Real Times”やインターネットでの英文を読解するためのルールを身につける。 5. さまざまな場面で自己表現するための話し方や書き方を身につける。 6. 自分でインターネットを使って英文ニュースを作ったり、自己表現文を作って実践的な英語力を身につける。 	
<p>【評価方法】</p> <p>ふだんの学習状況や発言などの平常点と口頭による質疑応答や小テストとレポートおよびテストなどで総合的に評価する。</p>	

【授業科目】 選択外国語 異文化コミュニケーション	【担当者】 瀧口 優
【開講期】 1 年 後期：教養教育・教養科（現代教養）	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 異文化とは何かを学ぶ 2. 異文化相互のコミュニケーションのあり方を実践的に学ぶ 	
<p>【テキスト】</p> <p style="text-align: center;">必要に応じて指示する</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p style="text-align: center;">必要に応じて指示する</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 映像を通じて写し出される他国の文化を認識する（4カ国程度）。 2. 日本の文化と比較してその特徴を分析する。 3. とりわけ言語についての理解を深める。 4. 以上を踏まえて異文化間のコミュニケーションをとるために何が重要であるかを学ぶ。 <p>* 外国語と言われるものには様々なものがあり、この授業では少しでも新しい言葉に触れる機会をつくりたいと考えている。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行うことを原則とするが、必要に応じてテストを行う。</p>	

[授業科目名] 造形美術とイメージーション

[担当者] 八木 紘一郎

[開講期] 2年・後期

[授業目標]

人間にとってイメージーション(想像)をめぐらす営みの意味を考える。できるだけ身近な日常的な造形美術、例えば、招き猫やキャラクターグッズ、ミッキーマウスやプーさんなどのディズニーキャラ、節分の鬼や、七夕、クリスマスやサンタクロースの由来や摩訶不思議な異界のこと、太古の昔の女性像や、身近な信号やさまざまな記号などを通したイメージーション活動を実態を扱い、イメージーションをめぐらすことの今日的意味と課題を検討する。

[テキスト・参考書]

授 業 計 画

- 1) 古代における初めての彫刻は女性像だった。なぜ女性像はつくられたか。だれが製作したか。
- 2) 人はなぜ小さなキャラクター造形物を身近におくのか。なぜ「かわいい」造形美術キャラを好むのか。かばんや携帯電話につけているキャラクター人形の意味を考える。
・招き猫や置き物を考える。
- 3) 色彩を通して考える。白と黒の世界。なぜ、日本や東洋の絵画には背景が白の余白をたっぷり使われるが、ヨーロッパ絵画の背景には黒が多用されていることが多い。どうしてか。
- 4) 身近な生活デザイン(衣服など)に使用されている色彩を通して、人間や行動心理を考える。
- 5) 異界との出会いをイメージーションしている造形美術を通して考える。
例えば、教会、寺院寺社などの宗教建築や絵画や彫刻等を通してして、人間が異界世界をどれだけイメージーションしてきたかを具体的に考える。実存しない異界の生き物(妖怪・妖精・お化け・化け物など)の存在をイメージーションした造形美術をとりあげ、いかに人間は異界の生き物や世界と交流しながら生きているかを考える。
- 5) クリスマスツリーやサンタクロース、なまはげや鬼などの造形美術を通して異界を考える。
- 6) 相撲、コマ、凧などと異界との交流史を考える。
- 7) デパートや生活用品に記載された記号、天気図記号、交通標識などの諸記号に込められた意味やメッセージの解読を通して、いかに記号の世界に生きているかを考える。

[評価方法]

平常点

【授業科目】手話入門	【担当者】細田恵子
【開講期】1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>初級程度の手話技能を修得し、聴覚障害者の生活等を知ることによって、自分の内面を見つめる一助とする。 それとともに、障害者と共生できる街作りにどう関わっていくかを模索する。</p>	
【テキスト】随時プリントを配布する	
----- 【参考書】講義中に紹介する	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. まず、聴覚障害を持つ講師との意志疎通を図る方法について知る。 2. 挨拶・自己紹介等の日常よく使用する手話を身につける。 3. 聴覚障害問題について学ぶ。 4. 聴覚障害とはどんな障害なのかを実体験する。(疑似体験) 5. 聴覚障害者と健聴者が共生していくためには、どうしたらいいのか、かつ、授業で学んだことをこれからどうかしていくか、考え、実践して欲しい。 <p>*毎回レポートを提出していただきます。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポートと授業態度により評価する。</p>	

【授業科目】文学芸術・フィクションと人間	【担当者】中島好伸
【開講期】1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>文学作品はどのように出来上がっているのだろうか、作られた世界（フィクション）である文学作品は現実世界を生きる私たち読者にどんな影響を与えるのか、そもそも文学作品とは何か、以上のことを考えて、文学作品を読む有意義性を探る。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを使用</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要であれば、授業内で紹介する</p>	
授 業 計 画	
<p>文学作品をただ活字を追うようにして読むだけでは、その作品が読者に与えてくれるさまざまな喜びやメッセージを引き出すことはできない。その結果、読む作業を疎んじている人はいないだろうか。実は、文学作品は、確かにつくられた世界（フィクション）だが、現実の世界に生きる私たち読者にさまざまな影響を与えている。作られた世界であることを知りながらも、読み終えて感動を覚えた経験を持つ人は多いだろう。それでは、文学作品はどのように作られていて、現実世界に生きる私たち読者にとってそれは何なのか。この点をさまざまな角度から考えてみよう。一回きりしかない人生を何倍にも楽しむ方法、それが文学であり、実は私たちの人生だって、物語になっていることに気づくはずだ。次のような内容で講義を進めていく。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「わたし」と他者 2) 視点と語り手 3) 語り手の言語と無意識 4) 表現か内容か 5) 小説世界内とプロット 6) 小説の蓋然性 7) 作者の死 8) 読者・印象批評 9) 読みのあれこれ 10) 人生とフィクション 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席点とレポートで評価する</p>	

【授業科目】話言葉の伝承	【担当者】東 喜 望
【開講期】1・2年前期	
【授業目標】ここにいう「伝承」とは、「伝承文化」をさす。この授業では、その中の「伝承文芸」を対象とする。即ち口づてに話言葉によって語り伝えられた話(神話・伝説・昔話など)を対象とする。日本本土と南西諸島・近隣アジアの説話を事例としながら大陸や環太平洋諸地域との関連も積極的に考察する。	
【テキスト】『沖縄・奄美の説話と伝承』(おうふう刊) 他に資料プリントを配布する。スライド等上映。	
【参考書】適宜発表。	
授 業 計 画	
<p><u>講義概要</u></p> <p>1. <u>序</u> (1)わが国をニッポンというのなぜか。 (2)国号と環太平洋の太陽神話</p> <p>2. <u>「神話」・「伝説」・「昔話」とは何か。</u></p> <p>3. <u>説話伝承の起源</u> (1)自然と人間の意識 (2)信仰と「語り」—個人・村落(ムラ)レベルから国家レベルへ (3)神話の発展—伝説・昔話へ</p> <p>4. <u>伝承文芸の現代的意義</u></p>	
【評価方法】定期試験時の筆記試験(テキスト・ノート・配布プリント参照可)	

【授業科目】	絵本・絵巻と物語表現	【担当者】	久保木 寿子
【開講期】	前期		
【授業目標】	<p>絵本や絵巻には、絵と物語を同時に鑑賞していくという特徴があります。「見る」ことから生じるイメージと、ことば（語り）が創り出すイメージの〈交響〉が目指される訳です。</p> <p>この授業では、さまざまな絵や絵巻を通じて、「見ること」と「ことば」によるイメージの形成について考え、どのような時に、感動や共感を呼び起こす〈交響〉が成り立つのか考えたいと思います。</p>		
【テキスト】	プリント配布		
【参考書】	授業時に指示		
授 業 計 画			
<p>I 次のような物を素材に、絵とことばのさまざまな結合の形・枠組みについて考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 絵巻 源氏物語絵巻・信貴山縁起絵巻・（竹取物語）などを例に 2, 絵解き 「刈萱道心と石童丸」などを例に 3, お伽草子 『鉢かづき』『物くさ太郎』（奈良絵本竹取物語）などを例に 4, 絵本 『スーホの白い馬』『100まんびきのねこ』『あおくんときいろちゃん』『あり』（竹取物語）などを例に 5, 紙芝居 6, アニメーション 高畑・宮崎作品を例に <p>II 上記Iを通して、次のような問題に注目したい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 絵の視座・物語の視座 2, 絵の空間表現・物語の空間表現 3, 絵の時間表現・物語の時間表現 4, 見聞く人の位置と語り手の位置 <p>III 絵とことばの響き合いについて考える。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1, 絵によるストーリー性・イメージ喚起の条件について 2, ことばによるストーリー性・イメージ喚起の条件について 2, 絵・ことばの響き合いについて <p>注意：絵本の読み聞かせや語り聞かせのノウハウを、伝授する授業では、ありません。</p>			
【評価方法】	出席と、毎回のメモを重視。それと定期試験時のレポートによる。		

【授業科目】 源氏物語の世界	【担当者】 久保木 寿子
【開講期】 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>日本文化の真髄を表すものとして、源氏物語はいまや世界の人々に読まれている。1000年の昔の作品ながら、現代に通じる問題が豊かに形象されているからであろう。一体、何がこの作品の魅力なのだろうか。絵巻や漫画・ビデオなどを使いながら作品構造を読み解き、制約の多い社会で、<どう生きるか>に苦闘する男女の姿を中心に見ていく。</p> <p>文法の細部にとらわれず、『源氏物語』が、“すごい”ことを知ってほしい。物語のおもしろさを知ることが、古典への第一歩である。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを配布</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】 大和和紀『あさきゆめみし』 現代語訳源氏物語：瀬戸内寂聴訳など 源氏物語絵巻・アニメその他のビデオ etc</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<ol style="list-style-type: none"> 1, 紫式部とその時代について 何故、紫式部は源氏物語を書いたのだろうか？作者の生涯と人物像を、その歌集と日記によって見ておく。また物語が書かれた時代の特徴にも簡単に触れたい。 2, 全54帖の全体構造を知る。 授業で読み通す訳にはいかないが、そのスケールと主題について、概容を理解したい。 3, 様々な男女の結びつきについて考える。 光源氏は、葵の上と政略結婚・若紫を略奪の上結婚・藤壺（父帝の寵妃）を強姦と、現代社会で言えば、正真正銘の犯罪者である。一夫多妻制のもとで、彼に対する女たちは何を考え、どう生きようとしていたか。 4, 忍従と自立をめぐる問題について考える。 身分差・結婚制度の制約の中で、多くの女たちが忍従し妥協していく。一方、自分らしく生きたいと願う女たちは、苦闘の末破れていく。 ① 明石の君・② 紫の上・③ 浮舟 etc について、それぞれの人物像を探っていく。 5, 権力構造をめぐる問題について考える。 恋愛沙汰に隠されているが、この作品は、光源氏が天皇のようなそうでもないような地位に上り詰めるまでの、予言の謎解きといった要素を持つ。 上り詰めた後の、無惨な光源氏の衰退までを書いてしまったのだが。 人間にとっていったい何が重要なことなのか、考えたい。 6, 物語のリアリティについて考える。 言うまでもなく『源氏物語』は平安時代に作られたフィクションであるが、光源氏を実在の人と思っている人が結構いる。 何故だろうか。作品に、きわめてリアリティがあることも一因であろう 虚構された時代設定、モデルとされる人物、作品の舞台の虚実などについて考える。 7, 源氏物語の笑いについて考える。 8, 物語表現の美しさについて考える。 9, 源氏物語の古代性と現代性について考える。 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席と、毎回のメモを重視。それと定期試験時のレポートによる。</p>	

【授業科目】 児童文学の世界	【担当者】 城戸 典子
【開講期】 2 年 後 期	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 児童文学とは何かについて、またその根底となる「子ども観」「子ども性」について考える。 2. 世界と日本の児童文学や絵本を読み、子どもに本を手渡すための基礎知識を学ぶ。 3. 伝承的な昔話やわらべ歌の持つ本質的な意義を理解する。 4. アニメやライト版などと原作との関係や、出版、流通の仕組みを学ぶ。 5. 世界と日本の現代児童文学を通して、家族、女性、戦争と平和などさまざまなテーマを考える。 	
<p>【テキスト】</p> <p>授業のつど、レジュメと作品のコピーを配布する。できれば映像資料も使用する。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>長谷川潮・きどりのりこ編著『子どもの本から「戦争とアジア」がみえる』</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 古典的な児童文学の現代における受容について <ol style="list-style-type: none"> (1) グリムとアンデルセンについて (2) イギリス児童文学の歴史、特にファンタジーを中心に (3) 名作のアニメ化、特にディズニーの影響について 2. 伝承文学としての昔話、わらべ歌、また子どものための詩について <ol style="list-style-type: none"> (1) マザー・グースをめぐる (2) 日本の伝承の昔話、わらべ歌について (3) 子どものための詩、いわゆる「少年詩」について 3. 日本の児童文学—近代から現代まで <ol style="list-style-type: none"> (1) 小波、未明などの作品と「赤い鳥」文化について (2) 戦後の新しい発展と、伝統批判について (3) 宮沢賢治と新美南吉の文学について (4) 現代日本の児童文学とその新しい傾向について 4. 子ども観の変遷と「子ども性」（チャイルドネス）を考える <ol style="list-style-type: none"> (1) 子どもとは何か、子どもに向けた文学とはどのような意味を持つのかについて (2) 表現メディアとしての絵本とその歴史について (3) 子どもと本との媒介者の役割について（親、保育者、教師、図書館員、地域文庫、編集者など） (4) 子どもの本はどのように作られるか（出版・流通の現場について） (5) 「子ども性」とは何かを、すぐれた児童文学作品を通して考える 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況とレポートにより評価する。</p>	

【授業科目】比較文化論・近代文明と日本人	【担当者】高原二郎
【開講期】1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>私たちがものごとを考えたり判断したりするときの拠りどころ、物差し、尺度。日常生活をとり囲み、私たちの見方や考え方や生き方を、いつの間にか左右する大きな枠組み。つまりは皆さん一人ひとりが、それへ向けて衝き当り、悩み、そして切り拓いてゆくよりない「価値観」といったもの。その「価値観の在りよう」について、各自が自己衝突を開始することを以て授業の目標とします。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>用いません。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>展開の中で示します。読書は義務としません。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の視点は、文学に関わる立場から、とします。 ・ 日本の近代化、それに伴う価値観の衝突や混乱や、さらには科学技術に支えられる今の社会をどのように考えるかなど、下記の項目を目安に展開します。一緒に考えてゆきましょう。なお「ヒューマニズム」については、特にしっかりと考えましょう。 <p>(内容)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 日本の近代化と西洋 <ol style="list-style-type: none"> (1) 文明の先進と後発 (2) 新旧混乱期の実情 (3) キリスト教、儒教、武士道 (4) 文学者の西欧体験 2. 近代的な考え方へのアプローチ <ol style="list-style-type: none"> (1) 個人、人格、エゴ (2) 愛、ヒューマニズム、慈悲、仁 3. 自然と人間と近代 <ol style="list-style-type: none"> (1) 西洋の自然 (2) 東洋の自然 (3) 日本の自然 (4) 自然と人間へのヒント 4. 自然科学と人間 <ol style="list-style-type: none"> (1) 自然科学をどのように考えるか (2) 自然科学と制度 (3) 「科学者らしくあること」と「人間らしくあること」 (4) 戦争 5. 現代社会と人間疎外 ー水俣病をめぐるー <p>ノートは、問題点を中心に要点をメモできるよう、板書を活用します。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>各自が最低一つ、何らかの自己衝突をつかまえてレポート。授業出席を大切にするとともに、思考のひらめきをも大いに期待します。</p>	

【授業科目】 近現代の文学	【担当者】 島原二郎
【開講期】	
<p>【授業目標】 文学作品など読むセマにもっと役に立つことないの？ 作家なんてホントはなにしているんだろ。 文学史なんてのやらされてアタシタメイワクなだけ！ でも基礎知識くらいはシカタナイかもね。 などと、いじ悪くホントで言ってみようではないか。</p>	
【テキスト】 特に関心はしない。	
【参考書】 展開の中で紹介する。	
授 業 計 画	
<p>(概観)</p> <p>上記の如く、「文学入門」的な狙いを含んだ作品理解、作家論、課題論、文学史等を扱います。従って、(1) 時々の社会と作品主題の持つ意味。(2) 社会に対応する作家の姿勢や思想性。この二点とひとまず踏まえた上で下記の課題順に発展させてみます。</p> <p>(a) 知識を基としてゆく上での大きな課題に読み替えてゆく試み。 (b) 作家や作品を時代的・歴史的に位置付けてゆく試み。</p> <p>(具体的な展開)</p> <p>近代日本の開化から太平洋戦争を経ての現代まで、主要な課題を掲げて作家作品を扱います。例えば、</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開化と西洋 (鴉外、漱石、荷川、光太郎) 2. 個人・ヒューマニズム・エコ (漱石、白樺派、龍之介) 3. 愛と人間性 (武郎、自然主義-私小説、太宰治) 4. 自然と人間 (独歩、武郎、賢治) 5. 社会制度と人間 (労働文学) 6. 伝統と近代 (潤一郎、康成) 7. 科学と人間 (戦争と文学) 8. 疎外と人間 (石牟礼道子) <p>(なお時々の都合では変更、省略もあり得ます) 具体的な作品は展開の中で予告しますが、予習読書は強制しません。</p>	
【評価方法】 レポート評価の予定。	

【授業科目】現代英米の文学	【担当者】中島好伸
【開講期】1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>19世紀から20世紀にかけてのイギリス、アメリカの代表的な小説を紹介し、作品の歴史的背景や文化的情報を取り込みながら、作品の解釈を試みる。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを使用</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業内で紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>イギリスの小説を6作品、アメリカの小説を6作品、1講義に1作品ずつ取り上げていく。それぞれの講義は、まずは時代背景、そしてその時代の文学的特徴、作家紹介、作品紹介、さらに、作品の解釈へと進めていく。文学作品は読まなければ意味がないので、できるだけ多くの作品を読んでほしい。少なくとも、最後にレポートを書くために、イギリスの作品を一作品、アメリカの作品を一作品、合計2作品は読むこと。次の順番で講義していく。</p> <p>イギリス第1回 J.K.ローリング『ハリー・ポッター』シリーズ イギリス第2回 エミリー・ブロンテ『嵐が丘』 イギリス第3回 トーマス・ハーディ『テス』 イギリス第4回 オスカー・ワイルド『ドリアン・グレイの肖像』 イギリス第5回 D.H. ロレンス『チャタレイ夫人の恋人』 イギリス第6回 サマセット・モーム『お菓子とビール』 アメリカ第1回 ナサニエル・ホーソン『緋文字』 アメリカ第2回 マーク・トウェイン『ハックルベリー・フィンの冒険』 アメリカ第3回 セオドア・ドライサー『シスター・キャリー』 アメリカ第4回 F.スコット・フィッツジェラルド『グレート・ギャツビー』 アメリカ第5回 ウィリアム・フォークナー『八月の光』 アメリカ第6回 アリス・ウォーカー『カラー・パープル』</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席点とレポートで評価する。</p>	

【授業科目】 世界の児童文学	【担当者】 瀧口 優
【開講期】 1 年 後期：教養教育・教養科（現代教養）	
【授業目標】 1. 世界の児童文学を紹介しながらその思想を学ぶ。 2. 子ども観を豊かに育てる。	
【テキスト】 「児童文学を英語で読む」（岩波ジュニア新書）	
【参考書】 「英米児童文学の系譜」こびあん書房	
授 業 計 画	
1. 世界の児童文学を国別にとりあげ、歴史や発展をとらえる。 2. 世界の児童文学を国別、作品別に紹介し、その一部をいっしょに読んでいく。 3. 関連する作品を読んだり、映像によって理解を深める。 4. なぜ児童文学が多く読まれるのかを考えていく。 1) 「アラビアンナイト：アラジン」（アラビア） 2) 「秘密の花園」（イギリス） 3) 「オズの魔法使い」（アメリカ） 4) 「あしながおじさん」（アメリカ） 5) 「モモ」（ドイツ）	
【評価方法】 ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行うことを原則とするが、必要に応じてテストを行う。	

【授業科目】国境を越える民俗学

【担当者】 東 喜 望

【開講期】1・2年前期

【授業目標】古来、社会の基底を支えてきたのは、名もなき民衆である。かつて、彼らの多くは文字を知らず、その生活に必要な技術や文化を口づてに肉体を通して伝えてきた。この授業では古来、民衆が大切に守り伝えてきた生活の基層の文化や民衆の精神のあり様、生活の実態などを対象にして考察を進める。特に、既に実地踏査した中国や東南アジアの島々・日本の「国境を越えて生きた人々の生活を重視したい。

【テキスト】民俗事例の資料として『沖繩・奄美の説話』(おらふう刊)を使用。

【参考書】適宜指示する。映像資料(スライド・ビデオ・グラフィック)を使用。

授 業 計 画

講義概要

1. 「伝承」「民俗」とは何か。
2. 西欧民俗学・日本民俗学の発生と展開
3. 人類の知恵と技術と生活文化(食・住・衣)
4. 国境なき人々の原初の暮らし(非定住の生活)
 - (1) 山人—日本の山人(マタギ・サンカなど)、ユーラシア大陸の遊牧民・アジアの狩猟民(中国・台湾・東南アジア)
 - (2) 海人—日本の海人と客船・アジアの海人(中国の蛋民・東南アジアの漂海民など)
5. 原初の定住生活—日本、アジアにおける焼畑農耕から稲作農耕へ。
6. ムラの形成とその基本構造
7. 村落祭祀と通過儀礼
8. 民俗社会をつなぐ「^中結い」

【評価方法】定期試験時の筆記試験(テキスト・ノート・配プリント参照可)。

【授業科目】日本とアジアの近現代史	【担当者】佐藤いづみ
【開講期】1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>近代日本は、その歩みを始めたときからアジアとの大きなかかわりを持っていました。この授業では、アジアに向けた日本のまなざしに焦点を当てて、日本とアジアの近現代史を学びます。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用しません。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業中に紹介します。</p>	
授 業 計 画	
<p>次の内容で授業を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> * 高杉晋作が見た太平天国運動下の上海・・・明治維新を醸成した植民地化への危機感 * 「征韓論」と台湾出兵・・・誕生したばかりの維新政府は、なぜ初めから対外膨張政策を採ったのか。 * 福沢諭吉の「脱亜論」・・・「脱亜論」で展開した福沢の中国観、朝鮮観とともに、台湾論に注目。 * 潘佩珠の『ヴェトナム亡国史』・・・日露戦争がベトナムとビルマに広げた波紋とその行方。 * 3.1 独立運動と関東大震災の事件・・・朝鮮植民地化と朝鮮人に向けられた市井の人々の暴力。 * 満州帝国の建設・・・大陸へ渡った青年、花嫁、家族。そして土地を奪われ「匪賊」と呼ばれた中国の人々。 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末に、レポートを提出してもらいます。</p>	

【授業科目】社会福祉の考え方	【担当者】山路憲夫
【開講期】1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>社会福祉とはなにか。ここでは広義の社会福祉を考えたい。広義の社会福祉とは、公共政策一般、社会政策、狭義の社会福祉(私的社会事業、公的社会事業)が含まれる。最近の社会福祉は多様化、複合化する一方だ。利用者の立場からとらえ直すという意味でも、広義の社会問題対策として幅広くとらえ、それぞれ制度を理解すると共に、各領域の関連を明らかにしたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>「日本の社会保障」(広井良典、岩波新書)</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<ul style="list-style-type: none"> I 広義の社会福祉とはなにか 社会福祉、社会保障、社会政策の特徴と関連性 II 社会福祉の成立の背景 III 社会福祉の各制度の現状と問題点 公的年金制度、医療保険、公的介護保険、生活保護、社会福祉制度 IV 21世紀の課題 少子高齢化と負担と給付の現代的問題 V まとめ 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席と試験(持ち込み可)</p>	

【授業科目】 地域生活と家族	【担当者】 民秋 言
【開講期】 後期	
【授業目標】 私々人間は、たいてい、家族という集団に所属し、その一員として生活する。つまり、そのなりに生まれ出、育ち、生活し、老年を送る。この家族は地域のなかにある。地域のあり方と大きくかかわっている。	
【テキスト】 講義の中で必要に応じて指示する	
【参考書】 同 上	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間にとって家族とは何か 2. 家族のほたらき(機能) 3. 家族のなかに人間関係 (1) 夫婦関係 4. 同 上 (2) 親子関係 5. 同 上 (3) 近しい関係 6. 日本の家族の特徴 (1) 「イエ」の制度 7. 同 上 (2) 核家族と直系家族 8. 地域社会の変化・都市化 9. 地域のなかに生活・コミュニティ 10. 地域生活と家族のあり方 	
【評価方法】 パーソナルテストと出席点とによる	

【授業科目】男と女・ジェンダーを考える	【担当者】富永静枝
【開講期】1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>ジェンダー概念を理解し、これまでの社会制度や性別役割意識の問題点をジェンダー視点からとらえなおし、男女共同参画社会に向けての新しい社会システムのあり方や男女の関係性をさぐり、「男らしさ」・「女らしさ」の呪縛から開放される態度を養成する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは使用しない。必要に応じて授業時に資料プリントを配布する。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>授業時に随時紹介する</p>	
授 業 計 画	
<p>今日、家族や女性を取り巻く社会的状況は大きく変化した。男女共同参画社会が志向され、男女雇用機会均等法の改正や介護・育児休業法の実施など平等に向けての法的整備は進んだが、実生活の上では多くの問題を残している。不況下での女子学生の就職は厳しく、結婚後も家事・育児と職業の両立に悩むなど、女性が能力を発揮して、一人の人間として自立して主体的に生きることは困難な状況にあり、男性もまた厳しい労働環境の中で豊かな家族関係を築くことは難しい状況にある。そこでこの授業では人生のパートナーである男性と女性が、ともに人間らしく豊かに生きるためにはどうしたら良いか、これからの望ましい男女のあり方や、社会システムのあり方について学ぶ。授業方法は講義だけでなく、ビデオや新聞記事情報なども活用し、意見発表や討論なども加えて行います。</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、ジェンダーとはー性別役割分業とその問題点ー 2、女性のライフサイクルの変化 3、ジェンダー統計に見る現状と課題 4、労働とジェンダー 5、福祉とジェンダー 6、女性と人権ードメスティックバイオレンスー 7、男女平等をめざす世界の運動と日本の動き 	
<p>【評価方法】</p> <p>筆記試験(ノート、授業中の配布資料など参照可)、平常時の提出物、出席状況の総合評価。</p>	

【授業科目】女性労働の問題	【担当者】富永静枝
【開講期】1年 後期	
<p>【授業目標】</p> <p>これからの社会は男女が互いに支え合いながら、ともに職業生活と家庭生活を両立させ、ともに自立して生きることが求められる。受講生たちが伝統的な性別役割分業意識から解放され、職業生活と家庭生活の両立をめざす努力をすることを期待したい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは使用しない。必要に応じて授業時に資料(プリント)を配布する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業時に随時紹介する</p>	
授 業 計 画	
<p>男女雇用機会均等法の改正や育児・介護休業法の施行などにより、近年女性の労働環境は大きく変化した。女性が自立して生きるためには経済的自立は不可欠である。しかしまだまだ出産・育児や介護のために退職を余儀なくされる女性は多く、仕事と家庭の両立は困難な状況にある。本講では、働く女性たちが抱える問題点を明らかにし、問題解決への方向性を探る。</p> <p>【授業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、近代日本における女性労働の歩み 2、女性労働の現状と課題 3、女性労働と法 4、女性労働の国際比較 5、家事・育児・介護と女性労働 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末のレポート、平常時の提出物、出席状況の総合評価</p>	

【授業科目】 現代社会と人権	【担当者】 武藤 健一
【開講期】 1年 後期 木曜日 1時限	
<p>【授業目標】</p> <p>1年半後に、主に女性である皆さんが実際に社会に出て行って、自分が女性であることから遭遇するかもしれない事柄・問題について検討し、自分の今後のこと・将来のことを考えるきっかけを得られるようにすることを目的とします。</p>	
<p>【テキスト】 レジユメ配布</p>	
<p>【参考書】 伊田広行「シングル単位の恋愛・家族論」(世界思想社)、山田昌弘「パラサイト・シングルの時代」(ちくま新書)、伊田広行「シングル単位の社会論」(世界思想社)、福島瑞穂「結婚と家族」(岩波新書)、落合恵美子「21世紀家族へ」(有斐閣選書)</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>現代の日本社会で女性がどのような状況におかれているかを理解するために、女性労働と恋愛・結婚・家族について、様々な統計的資料やその分野に関わる法律の内容を検討し、現代社会における女性の人権の有様を明らかにしたいと思います。</p> <p>具体的には労働では、 ① M字型雇用 ② セクシュアル=ハラスメント ③ 派遣労働 ④ 育児・介助休暇 ⑤ パート労働</p> <p>恋愛・結婚では、 ⑥ 恋愛観・結婚観 ⑦ 結婚 ⑧ 家事・育児 ⑨ 夫・恋人の暴力(DV) ⑩ 子どもの虐待 ⑪ 離婚</p> <p>という11項目の中からいくつかを取り上げていきたいと考えています。</p> <p>注1) 受講者数によってですが、講義・ディスカッション等のどの形式になるかを受講者と相談して決めたいと思います。</p> <p>2) 一方的なつまらない授業にはしたくないので、学生の皆さんの積極的な授業参加を願っています。</p> <p>3) 飲食など、授業や他の人の迷惑にならない事は、自由にしてもらって構いませんが、おしゃべり・遅刻(15分過ぎ)などは絶対に許されません。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席・平常点を重視し、試験点を加える形で成績をつけます。</p> <p>出席点：学期末試験=2：1</p>	

【授業科目】 憲法と私たち	【担当者】 武藤 健一
【開講期】 1年前期 木曜日 1・2時限	
<p>【授業目標】</p> <p>日本国憲法の人権規定の解釈論を中心にしながらも、実際の社会で人権がいかに関保障されているかという点を踏まえ、労働に関する諸権利と私的生活における権利を重視する「ジェンダー憲法学」としての人権論を展開する。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p style="text-align: center;">レジュメ配布</p>	
<p>【参考書】</p> <p style="text-align: center;">特に必要なものはないので、必要な時に紹介したいと思います。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1 人権原理 ～まずは、人権全体に関わる様々な原理・原則を検討する。</p> <p>(1) 人権保障の類型 (2) 人権の享有主体 (3) 「公共の福祉」と二重の基準論 (4) 人権規定の効力 (5) 平等</p> <p>2 基本的人権 ～人権類型論を基礎として人権規定を分類して検討する。</p> <p>① 包括的人権 ② 精神的自由 ③ 経済的自由 ④ 社会権等 ⑤ 刑事手続き ⑥ 受益権 ⑦ 参政権 ⑧ 前提的権利 ⑨ 義務 ⑩ 人権のまとめと人権体系論</p> <p>なお、1・2で述べた項目に対して、以下の3・4の様な追加・修正があります。</p> <p>3 裁判・社会問題</p> <p>(1) 女性労働 (2) 家族の多様化 (3) 教科書検定 (4) 婚外子差別 (5) 環境権訴訟 (6) 死刑廃止 (7) 夫婦別姓 (8) セクシュアル=ハラスメント</p> <p>4 ジェンダー憲法学による修正</p> <p>① 公的領域と私的領域の二元構造 ② 家族単位と個人単位 ③ 近代家族論 ④ 労働権の重視 ⑤ ジェンダー論・フェミニズムとの遭遇 ⑥ 性的自己決定権 ⑦ 子どもの人権 ⑧ ポジティブ=アクション ⑨ 社会保障と家事・育児の社会化</p> <p>* 注1) 半年で上記の項目をすべて扱えることはありえないので、その中からいくつか扱うこととなります。</p> <p>2) 授業の支障となること以外は何をやっても構いませんが、お喋りや10・15分以上の遅刻などはまったく許されません。また、積極的な授業参加を望みます。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p style="text-align: center;">ペーパー試験より、授業参加(レスポンス=シート)を重視します。</p> <p style="text-align: center;">出席点：学期末試験=2：1</p>	

【授業科目】現代世界とマイノリティー	【担当者】中島好伸
【開講期】1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>世界のマイノリティー（少数民族集団）がどのような歴史の元、現在のような分布になってきたのか、その歴史的背景を理解し、マイノリティーが絡む民族紛争を概観する。さらに、マイノリティーが複雑に絡み合うアメリカ合衆国の状況を見て、マイノリティー問題を考える。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>プリントを使用する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要に応じて紹介する。</p>	
授 業 計 画	
<p>現在、世界のいたるところで紛争が行われている。その原因には、多くの場合、19世紀のヨーロッパの大国が勝手に国境線を引いたために分断された民族が関係している。パレスチナ問題、コソボ紛争、アフガニスタン問題、という言葉聞いたことがあるだろう。この背景には、少数に分断された民族（マイノリティー）が深く関わる。このような世界の状況を、まずは概観する。さらに、多民族国家といわれるアメリカは、世界の警察と自称しながら、自国の中にマイノリティー問題を多く抱えている。ネイティヴ・アメリカンや（インディアン）やアフロ・アメリカン（黒人）は特に有名である。このようなアメリカ国内のマイノリティー問題を、それぞれの集団に即してみよう。授業は次のような順に講義していく。</p> <p>マイノリティーとは 帝国主義と植民地の遺産 民族紛争 人種の坩堝からサラダボール理論へ：アメリカのマイノリティー アメリカ黒人の歴史 ネイティヴ・アメリカン ユダヤ人</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出席点とレポートにより評価する。</p>	

【授業科目】ビジネス実務を知る	【担当者】杉浦 允
【開講期】2年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>ビジネス実務は、経営管理を支える重要な役割を果たす業務です。このビジネスには何が必要か、組織はどのように組めばよいか、そこで働く人達は、どのように行動すればよいかなど、ビジネスについての基礎知識と実務処理技術について分かりやすく講義します。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>毎時間、プリントを配布します。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. ビジネスとは、ビジネスとは何か、ビジネスの形態・種類について 2. ビジネス組織、組織とは、組織階層について、管理者の責任について 3. ビジネスの基本、システムの概念、経営管理の諸要素、計画・実施・統制について 4. ビジネス倫理と経営方針、経営理念・社是社訓、企業の社会的責任、PRについて 5. ビジネスの職場、職場とは、仕事の処理、執務について 6. 企業が必要とする人材、望まれる人柄と人格、仕事に必要な技術について 7. 仕事の基本姿勢、上役を助け、同僚との協調、仕事の基本処理について 8. 環境変化への対応、情報化時代の環境変化、人間関係の変化について 9. 命令の受け方、報告の仕方、命令の受け方と報告の仕方について 10. 報告書の作り方、報告の計画・実行・検討、報告ミスについて 11. 行動予定の管理、日程管理、予定表の種類、アポイントメントについて 12. 交際業務、交際とは、慶事とは、その御祝い、表書きの書き方について 13. ビジネスマンの問題、問題解決のステップ、手順・種類・活用について 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席条件を満たした者に対して、試験を実施し合格点に達した者について平常点を勘案して評価する。</p>	

【授業科目名】 家庭介護総論	【担当者】 関谷栄子 佐野英司 八木紘一郎 秋山治子他
【開講期】 2 年 前 期	
【授業目標】 福祉の理念を理解するとともにヒューマンケアサービス（対人援助サービス）に必要な技術、特に家庭における介護の技術を学ぶ。家庭介護技術には高齢者・障害者（児）の福祉制度、障害・疾病、心理を理解し家族を含めた相談援助も含まれる。 この授業ではこれら家庭における介護を行うに必要な知識と技術が修得できるように講義を進める。この授業と「家庭介護演習」「家庭介護実習」を修得することにより「ホームヘルパー養成講習2級課程修了証書」を得ることができる。	
【テキスト・参考書】 授業のはじめに指定する。	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 福祉理念とケアサービス 2. サービス提供の基本視点 3. 老人福祉の制度とサービス 4. 障害者（児）福祉の制度とサービス 5. ホームヘルプサービス概論 6. ホームヘルパーの職業倫理 7. 障害・疾病の理解（Ⅰ）、（Ⅱ） 8. 高齢者・障害者（児）の心理 9. 高齢者・障害者（児）等の家族の理解 10. 介護概論 <ol style="list-style-type: none"> 11. 相談援助とケア計画の方法 12. 医学の基礎知識 13. 在宅看護の基礎知識 14. 住宅・福祉用具に関する知識 15. 共感的理解と基底的態度の形成 16. リハビリテーション医療の基礎知識 	
【評価方法】 出席点及びレポートにより評価する	

【授業科目名】 家庭介護演習	【担当者】 森山千賀子、西方規恵 他
【開講期】 2 年 前 期	
【授業目標】 ヒューマンケアサービス（対人援助技術）に必要な技術、特に家庭における介護の技術を実際に学ぶ。 この授業と「家庭介護総論」「家庭介護実習」を修得することにより「ホームヘルパー養成講習2級課程修了証書」を得ることができる。	
・参考書】 授業のはじめに指定する。	
基本介護技術 <ul style="list-style-type: none"> ・ 食事や入浴などの生活の介護 ・ 肢体不自由者の移動介助 ・ 視覚障害者の歩行介助 ・ ベッドメイキング及び衣類など環境整備 ・ 緊急時の対応 ・ 援助者の健康管理 	
【評価方法】 出席点、 レポート・その他により評価する。	

【授業科目名】 家庭介護実習	【担当者】 西方規恵他
【開講期】 2 年 前 期	
【授業目標】 ヒューマンケアサービス（対人援助サービス）に必要な技術を介護施設及び在宅介護の現場で実習する。 この授業と「家庭介護総論」「家庭介護演習」を修得することにより「ホームヘルパー養成講習2級課程修了証書」を得ることができる。	
【テキスト・参考書】 授業のはじめに指定する。	
授 業 計 画	
施設などにおける実技実習の内容 1. 施設介護の現場実習 2. 在宅介護現場訪問と業務実習 要介護高齢者や障害者（児）の家庭における在宅介護の同行訪問、見学実習 3. 在宅サービス提供現場の見学 デイサービスセンター、在宅介護支援センター、訪問看護ステーション等の見学実習	
【評価方法】 出席点及びレポートにより評価する	

【授業科目】子どもの育ちと文化	【担当者】加藤 理
【開講期】2年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>みなさんは子どもの頃に出会った文化の思い出をお持ちですか?文化とはいっても、高尚な芸術や教養色豊かなものとは限りません。絵本やアニメ・おもちゃ・泥んこ遊び・替え歌・なぞなぞ・お手伝い・子ども会活動だって、すべて子どもたちが接する文化なのです。子どもたちが出会う文化をこうして挙げてみると、文化に接することなく成長したという人はいないはずです。では、誰もが成長する中で出合ったり体験したりする文化は、子どもの〈育ち〉にどのような影響を及ぼしているのでしょうか。この講義では、子どもたちの日常を取り巻くさまざまな文化を取り上げて紹介しながら、子どもの〈育ち〉と文化の関係について考えていきたいと思っています。みなさんが子どもだった頃に出会ったさまざまな文化を思い出してもらいながら、子どもにとって文化はどのような存在なのかということへの理解を深めてもらいたいと思います。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>浅岡靖央・加藤理編著『子どもの育ちと文化』相川書房</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>浅岡靖央・加藤理編著『子どもの世界』建帛社</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1 子どもを取り巻く文化 2 子どもにとって文化とは—希望としての文化 3 子どもの生活(時間・空間・仲間)と文化 4 子どもの遊び場の変遷と現状 5 児童文化と子ども文化 6 文化伝達の今と昔 6 文化の持つ可能性としての危険性 7 児童憲章とよい文化 8 アニマシオン・エデュカシオン・プロテクシオン 9 文化をめぐる大人と子どもの関係—センス・オブ・ワンダー— 10 バーチャル・リアリティと子どもの文化 11 これからの子どもの文化 12 保育者の文化と子ども文化 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席を含めた平常点と持ち込み可による試験</p>	

【授業科目】 子育て支援論	【担当者】 瀧口美智代 ・ 垣内国光
【開講期】 前期前半 ・ 前期集中	
<p>【授業目標】</p> <p>《瀧口》 1. 親が子育てを楽しいと思うとき、幸せと感じるときを知る。 2. 親が子育てに不安を抱くときを把握する。 3. 親が子育てに困っていることを把握する。 4. 親の悩みや不安について科学的な分析を学ぶ。 5. 親の悩みや不安への対応について考える。</p> <p>《垣内》 1. 子育て困難・子育て不安など子育て支援のニーズを理解する。 2. 子育て支援施策の概要を理解する。 3. 子育て支援実践事例を学ぶ。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>《瀧口》 さいたまコープ編 『子育て わたし流』 さいたまコープ(500円)</p> <p>《垣内》 垣内国光、櫻谷真理子編著『子育て支援の現在－子育てコミュニティの形成をめざして』 ミネルヴァ書房 02年 2600円</p> <hr/> <p>【参考書】</p> <p>《瀧口》 子どもの権利条約をすすめる会編 『ポケット版 子どもの権利ノート －国連「勧告」掲載－』 子どもの権利条約をすすめる会(300円)</p>	
授 業 計 画	
<p>《瀧口》 1. まず初めに、テキストなどを基にして、親が子育てにどのような悩みを持っているのかを、具体的に知る場を作ります。 2. それらの悩みの背景に何があるのか、それらを解決するためにはどのような手立てが必要なのかをグループ討議などを取り入れて考えます。 3. 親の子育ての悩み、とりわけ母親の育児不安がどのような環境によって引き起こされるのか、子どもの発達や夫婦間のあり方を問いながら、その解消の道筋を考えます。 4. 人類の誕生以来続いている子育ての営みを、歴史的な視点からとらえ直し、親子関係、とりわけ母子関係のあり方を考えます。 5. 海外において子育てがどのような形で行われているのかを学び、その視点から日本における子育て支援を考えます。</p> <p>《垣内》 1. 少子化問題と子育て支援 1) 子育て支援はなぜ始まったか 2) 子育て支援が必要な本当の理由</p> <p>2. 主な子育て支援政策 1) 子育て支援の柱 ー 医療、教育、住宅、児童手当、保育、相談援助</p>	

※次ページへ続く

※前ページより続く

- 2)ビデオ 『NHKナビゲーション少子化対策医療費無料化の試み』20分時間内レポート
3. 乳幼児の生活と子育て支援のニード
 - 1)育児実態調査を読む
 - 2)子育て支援のニードを考える
4. エンゼルプランと日本の子育て支援の現状
 - 1)国と自治体のエンゼルプラン
 - 2)日本の子育て支援何が問題か
5. スウェーデンに学ぶ子育て支援
ビデオ『スウェーデンの子育て』50分 時間内レポート
6. 子育て支援の実践事例
 - 1)こぐま保育園の子育て支援
 - 2)CAPNAの電話相談
 - 3)吹田市の街ぐるみの子育て支援
7. 子育て支援の課題
 - 1)政策的課題
 - 2)実践上の課題

試 験

【評価方法】

《瀧口》平常点と必要に応じてレポートを提出してもらいます。

《垣内》教科書に関するレポート及び授業中に提出していただくミニレポートを40%程度、テストを60%程度の総合点で評価します。

【授業科目】 多文化社会と子ども	【担当者】 瀧口 優
【開講期】 2 年 後期：教養科	
<p>【授業目標】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子ども達が様々な文化の中で生活していることを理解する。 2. とりわけ日本において外国籍の子どもがどのようにアイデンティティを保持していくのか考える。 	
<p>【テキスト】</p> <p>『多文化子どもの歌集』（明石書店）</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>必要に応じて紹介する</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 様々な国と文化について触れる。 2. それぞれの国における子どもの歌を手がかりに文化を考える。 3. 歌を学ぶ中で、多文化の子ども達が共生する姿を実践的に理解する。 4. それぞれの国の言葉について理解を深める。 <p>* 日本の子どもの歌も取り上げ、それぞれの言葉でどのように表現されるかも考えてみたい。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>ふだんの学習状況などの平常点（出欠、予習、質問、意見発表など）とレポートで行うことを原則とするが、必要に応じてテストを行う。</p>	

【授業科目】生涯学習概論	【担当者】中嶋みさき
【開講期】 2年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>教育の荒廃がいわれる現代では、改めて「教育」と「学習」との関係が問われている。この講義では、生涯学習とは何か、という問題を、教育思想の歴史的展開をおいながら、生活スタイルの歴史的変化などとあわせて検討し、生涯学習に関する基本的考え方を学ぶことにする。また生涯学習の具体的な課題として、現在すすめられている教育政策をとりあげ、日本の現代社会における生涯学習の現状を明らかにし、参加者とともに生涯学習のあり方について考えていきたい。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>特になし。</p>	
<p>【参考書】</p> <p>E. ジェルピ、海老原治善編『生涯教育のアイデンティティ』エイデル研究所 藤田秀夫編著『ユネスコ学習権宣言と基本的人権』教育史料研究会</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>1, 生涯学習とは何か。</p> <p> a) 「学習」概念の成立とその歴史的展開</p> <p> b) 生活スタイルの変化と人間形成</p> <p>2, 生涯学習の具体的な課題</p> <p> a) 教育基本法の理念と生涯学習</p> <p> b) 生涯学習の機会と制度</p> <p> c) 男女共同参画社会と生涯学習</p> <p>3, 「教養」の形成と生涯学習</p> <p>講義計画は、大きなテーマを中心としており、小項目については変更もありうる。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>評価は、学期末のレポートを基本にするが、出席、講義内での小レポートを参考にする。</p>	

【授業科目】庶民の生活文化	【担当者】高橋徹
【開講期】1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>私たちの親の世代や、祖父祖母の世代の人々は、どのような暮らしをして、どのようなものに感動し、どのような感じ方や考え方をしてきたのでしょうか。この授業では、第二次世界大戦後の日本人の生活の歴史を理解し、また、みなさんが自分自身の生活についても、考えるきっかけを得ることを目的としています。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>テキストは使いません。資料を配布する予定です。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>授業の中で紹介していきますが、とりあえず『暮らしの世相史』（加藤秀俊、中公新書、2002年）をあげておきます。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>生活文化といっても、「衣食住」に限るのではなく、もう少し広く考えていきたいと思っています。例えば、映画や音楽を楽しむことも、私たちの生活の一部でしょう。この、広い意味での生活文化の歴史を理解するために、時代をたどりながら、テーマに沿った、古い映画やドキュメンタリーなどをビデオで見て、それについて議論したり、考えたことを小レポートにまとめたりしながら、授業を進めていく予定です。</p> <p>テーマとしては、次のようなものを予定しています（資料の関係で、変更になることもあります）。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 生活史をつくる (2) 『映像の世紀』で見る 20 世紀の日本 (3) 第二次世界大戦の時代 (4) 戦後復興と闇市 (5) 戦後民主主義と女性 (6) 太陽族と「新しい」若者文化 (7) 家電製品の普及 (8) 高度経済成長時代のサラリーマン (9) 東京オリンピックがもたらしたもの (10) ビートルズ現象 (11) 旅行の時代 (12) 歌謡曲で聴く昭和 	
<p>【評価方法】</p> <p>授業内の小レポート、期末試験をあわせて評価します。</p>	

【授業科目】 現代の文化と風俗	【担当者】 先川 直子
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>わが国の文化や風俗には、若者たちがその中心的な役割を担ったものが少なくない。特に、昭和30年代の高度成長期以降は、生活が豊かになるとともに、消費とマスメディアに結びついた若者文化が誕生し、若者たちが風俗やファッションを創り出していくようになった。</p> <p>本講義では、その中でも特に若い女性たちが主導権を持って関わったものに焦点を当てて、時代を追いながら見ていき、現在直面している問題点についても考える。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>使用しない。必要に応じてプリント資料を配付する。</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p> <p>佐々井啓・篠原聡子・飯田文子編著『生活文化論』（朝倉書店） 小池三枝・柴田美恵『日本生活文化史—近現代の移り変わり—』（光生館）他</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>時代順に次のようなテーマを設定し、各テーマについて順次講義をおこなう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ハイカラさん—洋風の導入と和風との折衷— 2. モダンガール 3. あこがれのアメリカ文化—自由で豊かな生活の象徴— 4. 昭和30年代の生活文化革新 <ul style="list-style-type: none"> 団地の誕生と核家族の増加 家庭裁縫から既製服へ 3種の神器と3C—家電製品の普及— インスタント食品の登場 5. 女性の高学歴化と女子学生亡国論 6. 「若者」がつくる新しい文化 <ul style="list-style-type: none"> ミニスカート—街角から生まれた若者のファッション— ジーンズ—労働着から反抗・反体制のシンボルへ— 新人類文化とDCファッション ディスコ文化とボディコン・ギャル コギャル文化と携帯電話の普及 7. 大量生産・大量消費への反省—「もの」とどう向き合うか— 8. 高度情報化社会のもたらしたものと問題点 	
<p>【評価方法】</p> <p>学期末の試験・授業時の課題レポート類・出席状況・授業態度などによる総合評価</p>	

【授業科目】 現代社会と教育	【担当者】 民 杖 言
【開講期】 前期	
<p>【授業目標】</p> <p>現代社会は、多様な相をみせ、大きく変化してきている。その ために私たちは生活する、充実した毎日を送るためには「教育」は欠か せない。本講では幼児教育(保育)に限って、社会とのわらわらを考えていく。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>平成14年版 ハトブック 教育・保育・福祉関係法令集 北大路書房</p>	
<p>【参考書】</p> <p>講義の中で、必要に応じて指示する</p>	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間にとって「教育」はどのような意味をもつか 2. 乳幼児期の「教育」としての保育の意味 3. 現代社会の特徴 (1) 家族生活 4. 同 上 (2) 地域生活 5. 現代社会における保育の課題 (1) 幼稚園 6. 同 上 (2) 保育所 7. 同 上 (3) 学童保育所 8. 現代社会における「教育」 (1) 福祉と教育 9. 同 上 (2) 国際化と教育 	
<p>【評価方法】</p> <p>ペーパーテストと出席点による</p>	

【授業科目名】 心理学入門Ⅰ	【担当者】 心理学科専任教員
【開講期】 1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>心理学という学問の歩みやそれぞれの分野でのトピックを通して、人間を心理学的な視点から見る態度を養います。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>【参考書】</p> <p>個々の授業の中で紹介します。</p>	
授 業 計 画	
<p>1. 心理学の歴史と基本的立場-----金子</p> <p>2. 知覚心理学-----金子</p> <p>3. 実験心理学-----多喜乃</p> <p>4. 学習心理学-----荻野</p> <p>5. 発達心理学(青年心理学)-----林</p> <p>6. 人格心理学-----金</p> <p>7. 臨床心理学-----林</p> <p>8. 健康心理学-----金</p> <p>9. 生理心理学-----多喜乃</p> <p>10. 社会心理学-----倉澤</p> <p>11. 心理学の研究法-----荻野</p> <p>12. 心理学と社会-----倉澤</p> <p>※授業の順序は多少入れ替えられることがあります。</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>出欠席と期末試験(マークシートによる客観テストを予定)により評価します。</p>	

【授業科目】 心理学入門Ⅱ [性格と人間関係]	【担当者】 林 潔
【開講期】 教養教育1年前期	
<p>【授業目標】</p> <p>サブタイトル <性格について></p> <p>併せて今日の心理学の基本的な考え方について紹介します。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>なし</p>	
<p>【参考書】</p> <p>随時紹介します。</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>いろいろなタイプの人がありますね。 同じ事についても受け取り方は、人によってさまざまです。 どうしてなのでしょう。 なぜ人は、その人なりのやり方で行動するようになるのでしょうか。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 行動についての心理学の見方 <ol style="list-style-type: none"> (1) 経験を重視する (2) ものの見方を重視する (3) 過去の経験、特に幼児期の経験を重視する 2. 「血液型と性格」は？ 3. 今日の性格についての考え方 4. 人間関係について考える <p>質問歓迎です。Mailも使ってください。 hayashi@shiraume.ac.jp</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>平常点、指定図書レポート、期末試験で評価します。</p>	

【授業科目】 体の不思議	【担当者】 村田 務				
【開講期】 1年後期					
<p>【授業目標】</p> <p>1) 人間の身体と生命活動に対する知的探求心を喚起し、身体の特徴的なしくみと働き、外界との繋がりに関する基礎知識について理解させる。</p> <p>2) 自らの体の不思議さと巧みさを知ることによって、「生命活動の主体」として自分自身を認識する基盤を形成させる。</p>					
<p>【テキスト】 使用せず</p>					
<p>【参考書】</p> <p>菊池俊英：人間の生物学、理工学社、1976年。 香原姿勢：人類生物学入門、中公新書、1975年。 佐藤方彦：人間と気候、中公新書、1987年。 藤田紘一郎：共生の意味論、講談社ブルーバックス、1997年。 宮城重二：女性はなぜ長生きか、講談社ブルーバックス、1996年。ほか</p>					
<p>授 業 計 画</p>					
<p>今日、いじめや児童虐待、自殺、薬物使用、買春、売春など、他人や自分自身の生命及び健康、人権に関わる諸問題が社会的問題としてクローズアップされてきている。これらの背景には様々な事柄が考えられている。その1つとして「自他の体に対する尊厳の念が希薄で、自他の体や命を大切にするという意識が薄れているのではないか」という指摘もされている。</p> <p>教科目「体の不思議」では、人間の体の仕組みと働きの理解を通して、「ヒトの体の不思議さ」や「人間のからだのすばらしさ」に触れる。そして、人間の、自分自身や他人の生命や健康、人権の大切さについて考える契機とする。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="vertical-align: top; width: 50%;"> <p>1 温度に対する恒常性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜゾウは水浴びをするか ・なぜヒトは汗をかくか ・なぜヒトは鳥肌が立つか </td> <td style="vertical-align: top; width: 50%;"> <p>2 気候と人類の適応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜラクダは砂漠で強いのか ・なぜヒトの体温は37℃か ・なぜヒトは人種によって体型が違うか </td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: top;"> <p>3 外敵から体を守るしくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜヒトはばい菌の中で生きていけるか ・なぜ寄生虫が減るとアレルギーが増えるか ・なぜ心配事があると胃が痛むのか </td> <td style="vertical-align: top;"> <p>4 男女の不思議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ女性は長生きか ・なぜ男と女がいるの ・なぜヒトは異性を求めるか </td> </tr> </table>		<p>1 温度に対する恒常性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜゾウは水浴びをするか ・なぜヒトは汗をかくか ・なぜヒトは鳥肌が立つか 	<p>2 気候と人類の適応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜラクダは砂漠で強いのか ・なぜヒトの体温は37℃か ・なぜヒトは人種によって体型が違うか 	<p>3 外敵から体を守るしくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜヒトはばい菌の中で生きていけるか ・なぜ寄生虫が減るとアレルギーが増えるか ・なぜ心配事があると胃が痛むのか 	<p>4 男女の不思議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ女性は長生きか ・なぜ男と女がいるの ・なぜヒトは異性を求めるか
<p>1 温度に対する恒常性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜゾウは水浴びをするか ・なぜヒトは汗をかくか ・なぜヒトは鳥肌が立つか 	<p>2 気候と人類の適応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜラクダは砂漠で強いのか ・なぜヒトの体温は37℃か ・なぜヒトは人種によって体型が違うか 				
<p>3 外敵から体を守るしくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜヒトはばい菌の中で生きていけるか ・なぜ寄生虫が減るとアレルギーが増えるか ・なぜ心配事があると胃が痛むのか 	<p>4 男女の不思議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ女性は長生きか ・なぜ男と女がいるの ・なぜヒトは異性を求めるか 				
<p>【評価方法】 平常試験（レポート又はペーパーテスト。学習意欲と出席を重視する。）</p>					

【授業科目】 生物の世界と人間	【担当者】 近藤正樹
【開講期】 1年後期	
<p>【授業目標】</p> <p>人間は生き物（生物）の一種にすぎません。パスカル（哲学者）が言ったように「考える」ことのできる生物です。生物としての共通点とヒト（生物の一種）としての特異点を再確認した上で私たち「人間」の生き方を見直していくことを主な目標としています。その中で科学的な考え方、態度にふれて頭の使い方の練習（思考訓練）も上達するようにします。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>なし</p>	
<p>【参考書】</p> <p>なし</p>	
授 業 計 画	
<p>1. 生物と無生物</p> <p style="padding-left: 2em;">気体の世界、流体の世界、流体という考え方、固体と結晶、ポーリング説を展開して</p> <p>2. 生物の紀元</p> <p style="padding-left: 2em;">①流体の中での変性、高分子化への道、solとgel、表面膜の特化</p> <p style="padding-left: 2em;">②単純から複雑へ、未分化から分化へ、発達と退化</p> <p>3. 生物の種類と分類</p> <p style="padding-left: 2em;">分類すること、系統分類法、世界共通の名称（学名）世界で繁栄した生物とその原因</p> <p>4. 個体維持と種族維持</p> <p>5. 集団（個体群）としての人間集団</p> <p>6. 集団（群集）の中の人間の位置と役割</p> <p>7. 昆虫の社会と高等動物の社会</p> <p>8. 動物の社会と人間の社会</p> <p>9. 「考える」動物としての長所と限界</p> <p>10. 人間はこれから何を努力しなければならないか</p>	
<p>【評価方法】</p> <p>レポートと定期試験</p>	

【授業科目】 人間と環境	【担当者】 吉川 研二
【開講期】	
【授業目標】 35億年前の海の中で最初の原始生物が誕生したといわれている。以後、地球環境の全体システムは、様々な生物と密接に関係しながらいく度かの大変革を経て現在の姿を作りあげてきた。私たち人間を含めた地球上のあらゆる生物は、周囲の大気や水や土壌といった環境と微妙な均衡を保ちながら生活しているのである。 様々な環境汚染、自然破壊、種の消滅などは、このシステム全体の単純化につながり、ヒトの生存をも危うくする。私たちひとりひとりの生活のあり方が問われている。	
【テキスト】 プリントなど	
【参考書】 授業中に適宜紹介する	
授 業 計 画	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 宇宙の中の地球 宇宙のこと 銀河系のこと 太陽系のこと そして地球 2. 地球環境の変遷 原始地球の姿 生命の誕生 生物の進化と地球環境 3. 地球環境系と生命 生命を育む天体地球 地球を作る物質 太陽エネルギー 大気の働き 水の働き 二酸化炭素やオゾンなど化学物質の働き 4. 生態系の構造と機能 生態系とは 非生物的要素と生物の群集 物質の循環とエネルギーの流れ 5. 地球環境悪化と生態系 地球温暖化 温室効果ガス・温暖化の影響 森林の現象 熱帯雨林の破壊と生物の多様性の崩壊 様々な人工化学物質の氾濫 環境ホルモン 水の汚染・大気の汚染・土壌の汚染 オゾン層の破壊 紫外線と生物 6. 生活の中の環境問題 資源 消費 廃棄 自然生態系でのリサイクル 人工生態系でのリサイクル 7. ふたつのエコ 環境倫理 	
【評価方法】 平常点＋筆記試験	

【授業科目】生活と健康	【担当者】明渡陽子
【開講期】後期	
<p>【授業目標】</p> <p>健康の概念理解と健康であることの意義（個人のレベル・社会の一員としてのレベルなどで）を考える。さらに、加齢と言う生理現象を背景として、一生健康である（健康維持・健康増進）ために必要な知識の習得と健康な生活設計の方法の習得をめざす。また、最近の健康問題についても、その背景・原因の理解とその対策を学ぶ。</p>	
<p>【テキスト】</p> <p>栄養、健康科学シリーズ 健康管理概論（南江堂）とプリントを使用</p>	
<p>-----</p> <p>【参考書】</p>	
<p>授 業 計 画</p>	
<p>以下の内容についての講義を行う予定。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 健康の概念 <ol style="list-style-type: none"> ① 健康の定義 ② 個人・集団の健康指標 ③ 健康成立条件（vs 疾病とは＝疾病の成り立ちと疾病予防の段階・対策など） 2. 高齢社会とわが国の健康水準 3. 最近の健康問題 <ol style="list-style-type: none"> ①生活習慣病（癌・脳血管障害・虚血性心疾患・糖尿病など） ②アレルギー疾患 ③その他（エイズ・狂牛病・環境ホルモン・フロンとオゾン層の破壊・精神ストレス問題等） 4. 健康管理法（健康生活設計法の習得） <ol style="list-style-type: none"> ① 食事 ② 運動 ③ 休養とストレス ④ 飲酒・喫煙の健康への影響について 5. 女性の医学（加齢と性機能・月経のしくみとホルモン・性病などの主な婦人科疾患の理解・人工妊娠中絶と避妊について） 6. わが国の保健医療体制 	
<p>【評価方法】</p> <p>出席状況と筆記テスト</p>	

【授業科目】 生と死を考える	【担当者】 嶋根 久子
【開講期】 1年 前期	
<p>【授業目標】 人は死に直面した時、生きているという実感を一層強くもつと言われている。しかしながら、核家族化が進行する中で、寿命が飛躍的に延び、加えて病院で死を迎える昨今、我々は死を体験する機会が非常に減少している。従って、この講義では、人のもつ「追体験」という能力をフルに活用して、より充実した生を目指して、様々な角度から、死について考えてみたいと思います。</p>	
【テキスト】	
<p>-----</p> <p>【参考書】『死の社会学』副田義也編、岩波書店、『死ぬ瞬間』キューブラ・ロス、読売新聞社、『生と死を考える』アルフォンス・デーケン、春秋社など。</p>	
授 業 計 画	
<p>(1) 死の諸相 ①病死②事故死③災害における死④自死⑤自然死</p> <p>(2) 家族と看護、あるいは死の看取り ①死の諸相による家族の影響②子供の死③親の死④高齢者の死⑤配偶者の死</p> <p>(3) 死者の年齢別に見た、残された家族の問題 ①配偶者の死②子供の死③親の死</p> <p>(4) 死の受容の諸形態 ①死にゆく人②残された家族</p> <p>以上のことを主なテーマとするが、その際、より一層の理解を深めることを目的として、視聴覚教材を援用しながら、講義を進める。</p>	
<p>【評価方法】 評価はレポートとする。授業期間中に見たビデオについて、そのつどレポートを提出し、それらと最終レポートとを合わせて評価を決める。</p>	

【授業科目】	人間の生と性	【担当者】	浅井 春夫
【開講期】	1年 後期		
【授業目標】	性を明るく、おおらかに、そして科学的に語れる基礎的な力をつけてもらいたいと願っている。具体的には、①人間の性に関するミニマム・エッセンスを学ぶことを通して、性的自立と性的共生能力をはぐくんでいくことを大切にする。私たちが自分らしく、そしてお互いを大切に生きる上でどのような性行動を選択するかが問われているからである。②セクシュアル・マイノリティの人権の現実を学ぶ。性に関する偏見をなくしていくことは共生の重要な条件であるからである。③タイムリーな性に関する問題を討論できる場を設けたい。この時代に生きる一人ひとりの生と性を見つめ直す機会としたいからである。人間の生と性の科学的な理解と性をめぐる人間関係を真摯に学んでほしい。		
【テキスト】	浅井春夫『セクシュアル・ライツ入門』（十月舎、2000年、2500円＋税）		
【参考書】	浅井春夫・伊藤悟・村瀬幸浩共編『日本の男はどこから来て、どこへ行くのか』（十月舎、2001年、2500円＋税） 浅井春夫『子ども虐待の福祉学』（小学館、2002年、1700円＋税）		
授 業 計 画			
<p>テキストをもとに以下のような計画をたてているが、タイムリーな問題をとりあげて講義することもある。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 本授業での問題意識と授業の運営についての共通確認 ② セクシュアリティに関する基本的な用語の説明 ③ マイノリティ（ゲイ、トランス・ジェンダー、インターセックス etc）のセクシュアル・ライツ—いまも平然と行われる差別と偏見、それは性と政をめぐる問題 ④ 子どものセクシュアル・ライツの現状—わが国と世界の現実から— ⑤ 子どもの性的発達の特徴と性をはぐくむ課題—とくに男性形成の問題を考える ⑥ 避妊を学ぶ—妊娠と避妊のしくみ、女性用コンドーム、ピル ⑦ 恋愛のススメ—恋愛を発展させる方法、グループ討論「こんな場合、どうする？」 ⑧ 性器の生理学—男と女の性器はもとは同じだった！性器の構造を学ぶ ⑨ 性交の人間学—性交は人間にとって、二人の関係にとってどのような意味をもっているのか。二人の関係性を反映した性交の現実を考える ⑩ 生殖医療の最前線（体外授精、代理母など）をめぐる討論—あなたは賛成？反対？ ⑪ エイズの政治学—その南北問題としての側面 ⑫ セクシュアリティの過去・現在・未来—性の主体者として生きるために 			
<p>キーワード</p> <p>セクシュアル・ライツ（性的人権）、セクシュアリティ（その人らしい性のあり方）、性の多様性、セクシュアル・オリエンテーション（性的指向）、同性愛（ゲイ、レズビアン）、トランス・ジェンダー、Aセクシュアル、インターセックス、避妊、ピル</p>			
【評価方法】	定期試験		

学籍番号・

氏名・

〒187-8570 東京都小平市小川町1-830

教務課 042(346)5619